

NEC

投映型フルカラーLCDプロジェクタ

LT157J

取扱説明書



ViewLight® LT157J
ビューライト
Mobile

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

ビューワを使う

お知らせとお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- （１）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- （２）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- （３）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- （４）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（３）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- （５）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

このたびはNEC モバイルプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。
ご使用前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」
を最後までお読みください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してく
ださい。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

LT157Jは日本国内向けモデルです。

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あ
なたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を
しています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大け
がをするなど人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをした
り周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）
が描かれています。

必ず守ってください

警告

水場や水にぬれるような所には置かない

次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

- 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
- 風呂やシャワー室で使用しない
- プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない
- プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一、プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のようなところでは使用しない



次のようなところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- 暖房の近くや振動の多い所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湿気の当たるような場所
- 調理台や加湿器のそば

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置につきましては販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

プロジェクタのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクタのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

内部に物をいれない



異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

万一、異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、開けたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。



警告

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因になります。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグを
コンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り1分間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。

電源コードの取り扱いは大切に



電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- コードの上に重いものをのせない
- コードをプロジェクタの下敷きしない
- コードの上を敷物などで覆わない
- コードを傷つけない、加工しない
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- コードを加熱しない
- 添付されているもの以外の電源コードは使用しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

本機は日本国内専用です



交流100ボルト
以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。添付の電源コードは国内使用専用です。日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。詳細に関してはビューライトフリーダイヤルまでお問い合わせください。



注意

通風孔をふさがない



- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

移動するときは電源コードを抜く

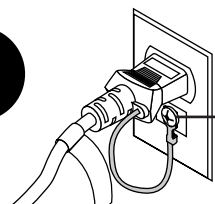


電源プラグを
コンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認の上、行ってください。

注意

機器のアースは確実にとってください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は33ページをご覧ください。

コンセントのアース端子

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

動作中にレンズキャップをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 動作中にレンズの前に金魚鉢、凸レンズ（虫眼鏡）などを置かないでください。火災の原因になることがあります。

電池の取り扱いについて



電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示通りに入れる
- ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管する

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

点検・工事について



内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

キャリングケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクタを入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。プロジェクタやキャリングケースが落下して、けがの原因となることがあります。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください**
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください**
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- **スクリーンへの外光対策をしてください**
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- **持ち運びについて**
本機を持ち運ぶときは、添付のソフトキャリングケースを使用してください。その際、レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクタ本体には強い衝撃を与えないでください。
- **投写レンズ面は素手でさわらないでください**
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- **たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用**
たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、あるいは長時間連続して（5時間/日または260日/年を超えて）使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
- **スクリーンについて**
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- **廃棄について**
本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

■ランプ取扱上の注意

- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至までの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を越えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクタの通風口から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉を開けるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、速やかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラス片が散乱している可能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず当社指定のサービス拠点、または販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。

機器が故障する恐れがあります。

- 砂時計アイコンが出ているとき
- 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき（電源を切るとこのメッセージが出ます。）
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後（POWERインジケータがオレンジ色に点灯しないとき）
- POWERボタンOFF後の1分間ファン回転終了直後
- POWERインジケータとSTATUSインジケータが交互に一瞬点滅しているようなとき

はじめに

ご使用の前に.....	3
●必ず守ってください.....	4
●本書の説明について.....	10
●特 長.....	11
●梱包品の確認.....	12
●本体各部のはたらき.....	13
レンズキャップの取り付けかた.....	13
盗難防止用ロックについて.....	14
本体操作部.....	15
接続端子部.....	16
●リモコン各部のはたらき.....	17
ボタン電池の入れかた.....	18
リモコンの有効範囲.....	18
●プレゼンテーションリモコンキットを使う [別売品].....	19
プレゼンテーションリモコン各部のはたらき.....	19
プレゼンテーションリモコンの有効範囲.....	21
電池の入れかた.....	21
レーザーポインターの使いかた.....	22
レーザーの発光を禁止する場合.....	22
マウスレシーバの使いかた.....	23
パソコンとの接続.....	23
プロジェクタモードとパソコンモードの切り換えかた.....	24
ドラッグモードについて.....	24

接続とセッティング

●セッティングの手順.....	25
●投写距離と画面サイズ.....	26
(1.スクリーンとプロジェクタを置く)	
●接 続.....	
(2.パソコンやビデオデッキなどプロジェクタで映す機器を接続する)	
PC98-NXシリーズ、DOS/V、IBM PC/AT互換機	
のパソコンとの接続.....	28
PC-9800シリーズのパソコンとの接続.....	29
(ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種)	
Macintoshのパソコンとの接続.....	30
DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続.....	31
ビデオ機器や書画カメラとの接続.....	32
●電源について.....	
(3.電源コードを接続し電源を入れる)	
1.電源コード(添付)を接続する.....	33
2.プロジェクタ電源の入/切.....	34
電源を入れたときスタート画面が表示された場合.....	35

●投写画面の調整.....36

(4.投写画面を調整する)	
プロジェクタ角度調整のしかた.....	37
画面の傾き調整.....	37
パソコンの投写画面がうまく映らない場合.....	39

基本操作

入力を選択.....	40
画像を自動調整する.....	40
音量の調整.....	41
画像と音声を消去する.....	41
プロジェクタの操作説明を見る.....	41
ポインタを表示/非表示/移動する.....	42
画像の拡大と移動.....	42
投写画面の上下方向の台形歪みを調整する.....	43
動画を静止画にする.....	43

メニュー操作

●メニュー機能を使う前に.....	44
オンスクリーンメニューの基本操作.....	44
メニュー選択のしかた.....	44
メニューを表示しているときの	
〈CANCEL〉ボタンと〈ENTER〉ボタンの働き.....	45
設定・調整のしかた.....	46
調整/設定画面を表示しているときの	
〈CANCEL〉ボタンと〈ENTER〉ボタンの働き.....	47
オンスクリーンメニュー一覧.....	48
●入力選択.....	
入力信号の選択.....	50
ビューワツールバーの名称とはたらき.....	50
●映像調整・音量調整.....	
映像の調整.....	52
音量の調整.....	52
●画像調整.....	
上下方向台形歪みの調整.....	53
ランプモードの選択.....	53
表示モードの選択.....	54
ノイズを低減する.....	54
画像の表示位置と周波数の調整.....	55
アドバンスド・アキュブレンドの選択.....	56
映像フィルタの設定.....	56
調整データのリセット.....	57

● カラーマネージメント	
ガンマ補正の選択	58
カラーマトリクスの選択	58
ホワイトバランスの調整	58
● メニュー設定	
表示させるメニューモードの選択	59
ベーシックメニューを編集する	59
メニューの表示言語を選択	61
ポインタの種類を選択	61
メニューの表示時間の選択	62
入力端子表示のOn/Off	62
無信号表示のOn/Off	62
フィルタ清掃時間の表示選択	63
音量調整表示のOn/Off	63
台形補正表示のOn/Off	63
● セットアップ	
プロジェクタの投写方法を選択	64
シネマモード時の画面位置を選択	64
無信号時の背景色を選択	64
マウスの設定	65
ビューワ機能を設定する	65
キャプチャの画像圧縮度を設定する	66
信号モードの選択	67
画像の自動調整	68
自動で立ち上げる	68
RGB入力端子無信号時に電源を切る	68
電源を切るとき確認表示を出す	69
台形補正データを保存する	69
ランプ使用時間をクリアする	70
フィルタ使用時間をクリアする	70
通信速度の設定	71
初期入力の設定	71
本体操作ボタンをロックする	72
● ツールの機能	
キャプチャ機能	73
PCファイルを映す	73
バックグラウンドロゴ変更のしかた	75
チョークボードの選択	76
● ヘルプ	
ヘルプを見る	77
入力信号情報と機器情報を見る	78
ランプ残量／ランプ使用時間の表示について	78
● USBマウスの使いかた	
USBマウスの接続	79
USBマウスでメニューを操作する	79
チョークボードの使いかた	80

—— ビューワを使う ——

● ビューワを使う前に	
こんなことができます	82
ビューワで映るようになるには	82
コンパクトフラッシュカードの出し入れ	84
添付ソフトウェアのインストール	85
インストールをする	85
添付ソフトウェアの内容	85
添付ソフトウェアの起動	86
ビューワ専用ソフトウェア	
[PC Card Viewer Utility 1.0] の起動	86
PowerPoint変換ソフトウェア	
[PC Card Viewer PPT Converter 1.0] の起動	86
● ビューワを使う	
スライドを映す	87
スライドを映す基本操作	87
ビューワツールバーを使って操作する	88
自動再生でスライドを切り換える	89
手動再生でスライドを切り換える	90
プロジェクタの表示画像をキャプチャ(保存)する	91
表示画像をコンパクトフラッシュカードに保存する	91
キャプチャされた画像を見る	92
キャプチャされた画像を削除する	93
キャプチャされた画像をパソコンで削除・保存する	94
デジタルカメラで撮影した画像を見る	94
ファイル選択のしかた	95
—— お知らせとお願い ——	
● 性能維持	
ランプ交換のしかた	97
フィルタの交換と清掃	99
フィルタの交換	99
フィルタの清掃	99
インジケータ表示一覧表	100
温度プロテクタについて	100
● 故障かな?と思ったら	101
● お手入れについて	
キャビネットのよごれは	102
レンズのよごれは	102
● 仕 様	103
● 付 録	
投写距離と画面サイズ一覧	104
対応解像度一覧	106
RGB INPUT端子のピン配列と信号名	107
関連商品	107
外観図	108
● 保証と修理サービス (必ずお読みください) ..	109
● 海外でご使用になる場合:トラベルケア	
(Travel Care) のご紹介	110
● ViewLight CLUB	裏表紙

■説明書に記載の本体やリモコンの操作ボタン名とメニュー項目名の区別

説明文中に〈MENU〉ボタンや〔機器設定〕など操作ボタン名称やメニューの名称にカッコを付けています。

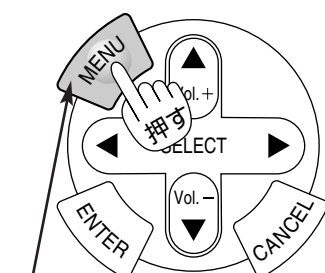
〈 〉 ……プロジェクト本体やリモコンの操作ボタンを表しています。

[] ……メニュー表示の項目名や調整・設定名を表しています。

【記載例】

■メニュー選択のしかた

1 メニューを表示する



ベーシックメニュー	
信号選択	▶
映像調整	
音量	
画像設定	▶
機器設定	▶
ツール	▶
ヘルプ	▶
アドバンスドメニューへ	

〈MENU〉ボタンを押してから45秒間（工場出荷時）操作をしないとメニューが閉じます。

時間は〔機器設定〕→〔メニュー設定〕の設定画面の〔表示時間〕で選択できます。（62ページ参照）

本機は添付のカードリモコンと別売品のプレゼンテーションリモコンを併用して説明しています。

同じボタン名称は同じ働きをしますが、プレゼンテーションリモコン特有のボタン説明はプレゼンテーションリモコンのマークを表記します。添付のカードリモコンでは操作できません。

また、市販のUSBマウスでの本機の操作説明はUSBマウスマークを表記しています。



プレゼンテーションリモコンのマーク



市販のUSBマウスのマーク

軽量小型の液晶モバイルプロジェクト

キャビネットにはマグネシウム合金を使用。軽さ約2.2kgとコンパクト化を実現したプロジェクトです。

パソコン入力信号を自動調整

アナログRGB出力のDOS/V対応機やMacintoshなど他社パソコン入力信号も自動調整。(調整しきれない機器もあります。)

アドバンスド・アキュブレンド機能によりUXGAまでの解像度に対応

XGA (1024×768ドット) にフル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりUXGA (1600×1200ドット) の入力信号までカバー。

動画もきれいに再生できるコンポーネント入力に対応

RGB入力端子に別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ (型名 ADP-CV1) を接続すると、自動判別機能によりコンポーネント信号に自動切り換え。DVDやハイビジョン放送など16:9のワイドサイズ映像もクリアなデジタル映像で再生 (アドバンスド・アキュブレンド機能により表示可能)。

わかりやすいメニューとオンラインヘルプでらくらく調整

各種設定は、パソコンライクでわかりやすいプルダウンメニュー。アドバンスドメニューとよく使う機能だけを表示させるベーシックメニューの2モードメニュー。いつでも操作説明が見られるオンラインヘルプのヒューマンインターフェース。

- * IBM, ATは米国International Business Machines, Corporation.の登録商標です。
- * Macintoshは米国Apple Computer Inc.の商標です。
- * Microsoft, Windows, PowerPointは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- * その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

アドバンスド・アキュブレンドについて

アドバンスド・アキュブレンドとは、パソコンの出力信号のドット数とプロジェクトの液晶パネルのドット数が一致しない場合 (例: パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクトが1024×768ドット) や拡大表示する場合に、NEC独自のデジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示する技術です。

従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけでしたので、表の罫線が数本完全に消えてしまう・斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい点がありましたが、アドバンスド・アキュブレンドにより、そのような点が解消・軽減されました。

プロジェクトに必須の台形歪補正には上下方向を採用

設置時に画面が台形になった場合、リモコン (メニュー) を使って台形補正ができる上下方向台形歪補正機能を搭載。

プロジェクトだけでプレゼンテーションができるビューフ搭載

コンパクトフラッシュカードに記録したプレゼンテーション資料 (パソコンで作成)、デジタルカメラで撮影した画像のメモ리카ード再生*など、その場にパソコンが無くてもプレゼンテーションが行えます。

(*再生できないメモ리카ードもあります。)

プレゼンテーションに威力を発揮する様々な機能を搭載

部分拡大のデジタルズーム機能、数種類の矢印カーソルを用意したポインタ機能、市販のUSB対応マウスで本機のメニュー操作や画面に簡単な図が書けるUSB対応端子付。

(*USBマウスによっては使用できないものもあります)

マイクロレンズアレイ (MLA) 付液晶パネル

マイクロレンズアレイ付液晶パネルの採用により、高輝度を実現。

ランプ出力にエコモード切換機能を搭載

省電力とランプ寿命の延長で維持費の節約。

梱包品の確認

梱包品の内容をご確認ください。万一、添付品などが不足している場合はお買いあげの販売店にご連絡ください。

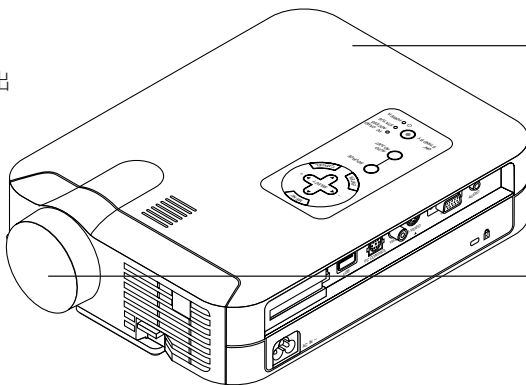
リアフットスペーサ

水平位置固定用のスペーサです。工場出荷時はリアフットに取り付けています。
(37ページ参照)



レンズキャップ用ヒモ (プッシュリベット付)

レンズキャップをなくさないようにプロジェクトに取り付けるヒモです。
(13ページ参照)



プロジェクト

パソコンやDVDプレーヤなどを接続して大画面をスクリーンに映す本体です。

レンズキャップ

プロジェクトのレンズに装着しています。

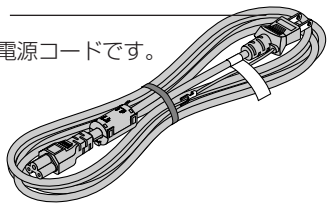
リモコン (ボタン電池付)

プロジェクトを操作するリモコンです。初めてのご使用時はボタン電池の輸送用絶縁シートを電池ケースから外してください。(18ページ参照)



電源コード

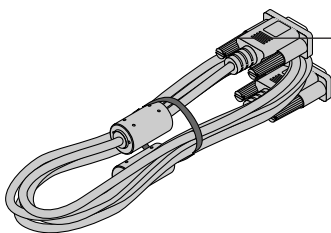
電源を接続する電源コードです。



RGB信号ケーブル

(ミニ D-Sub 15ピン)

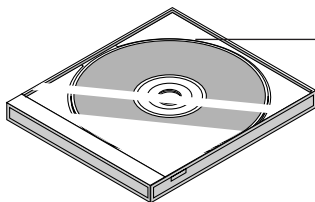
パソコンの画面をプロジェクトで映すときに接続します。



CD-ROM

ご使用に便利な次の内容が入っています。

- ・ビューワ専用ソフトウェア
- ・PowerPoint用コンバータ
- ・PCコントロールユーティリティ



ソフトキャリングケース

プロジェクト本体や添付品を入れるバッグです。移動や保管時にご使用ください。



クイックガイド

セッティングの手順と操作内容が簡単に書かれています。

取扱説明書 (本書)

プロジェクトの使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて書かれています。

NECフィールディング株式会社 支店・営業所所在地一覧表

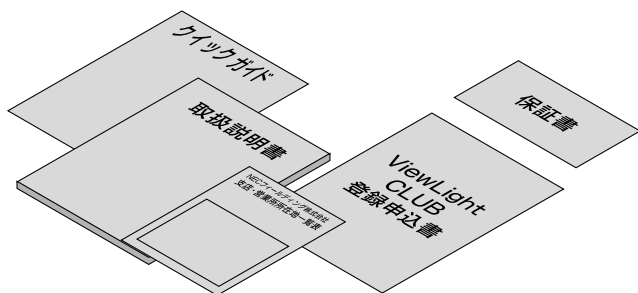
お客様が修理を依頼されるときに相談窓口が書かれています。

保証書

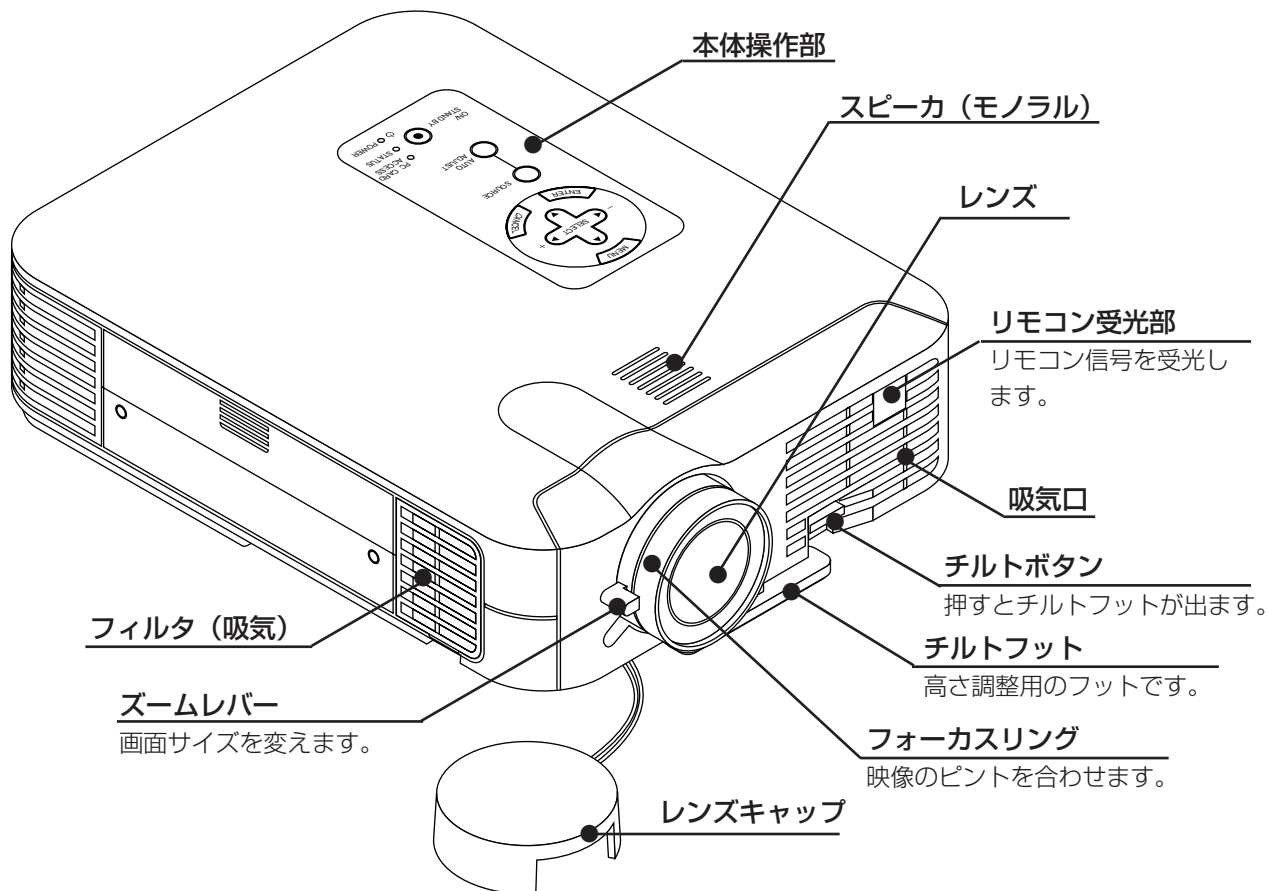
プロジェクトの保証内容・条件が書かれています。

ビューライトクラブ申込書

会員ならではのサービスが受けられます。

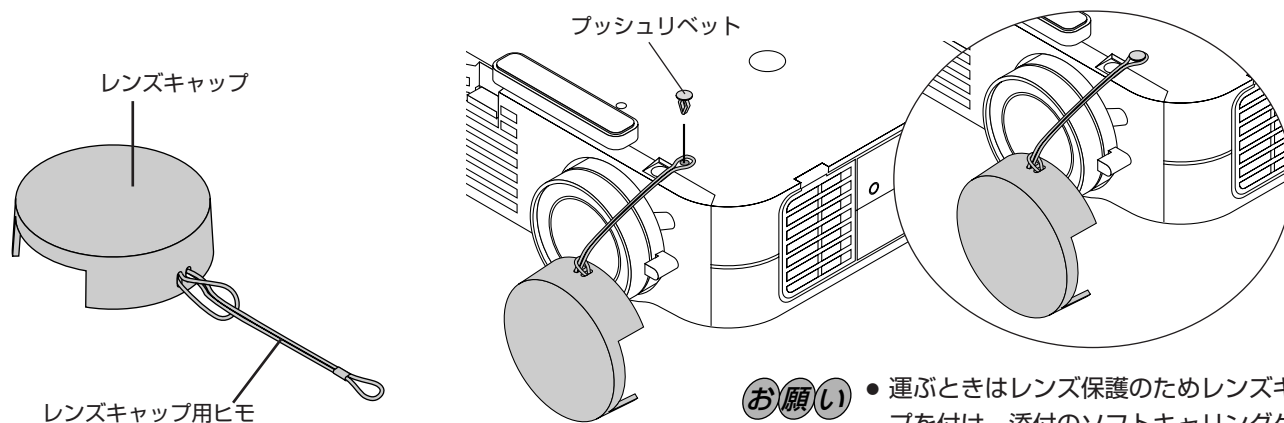


本体各部のはたらき



■レンズキャップの取り付けかた

- (1) 添付のレンズキャップ用ヒモを図の様にレンズキャップの穴に通します。
- (2) 添付のプッシュリベットで本体底面にあるレンズキャップ用ヒモ固定用穴に差し込みます。



- お願い**
- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付け、添付のソフトキャリングケースに入れてください。

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

ビューワを使う

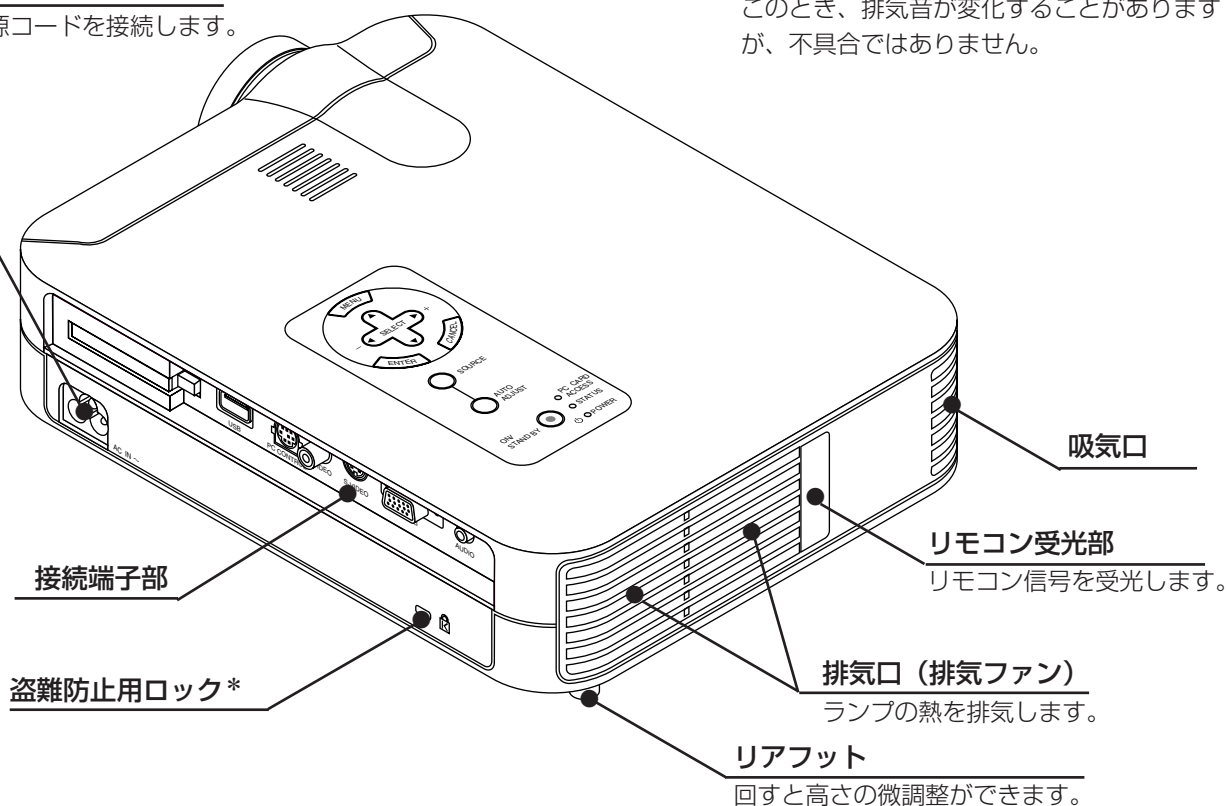
お知らせとお願い

お知らせ

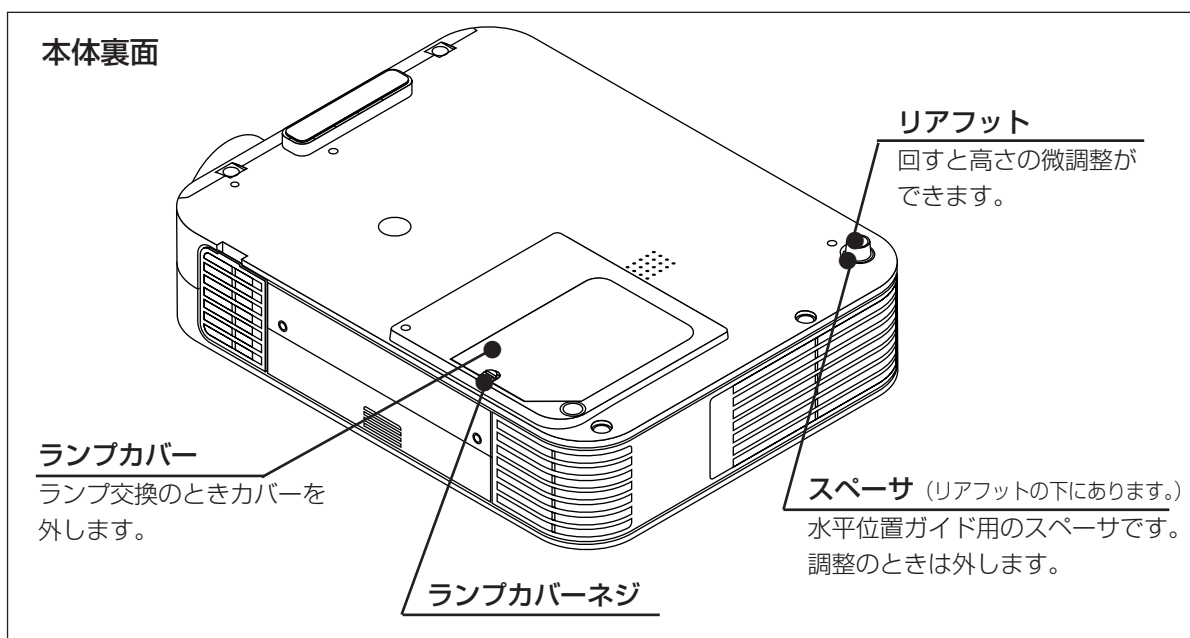
- 本機には内部温度センサーがついています。この温度センサーにより適切な速度でファンが回転します。ただし、内部の温度が上昇すると自動的にファンが高速で回転します。このとき、排気音が変わることがありますが、不具合ではありません。

AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。



本体裏面



お知らせ

盗難防止用ロックについて

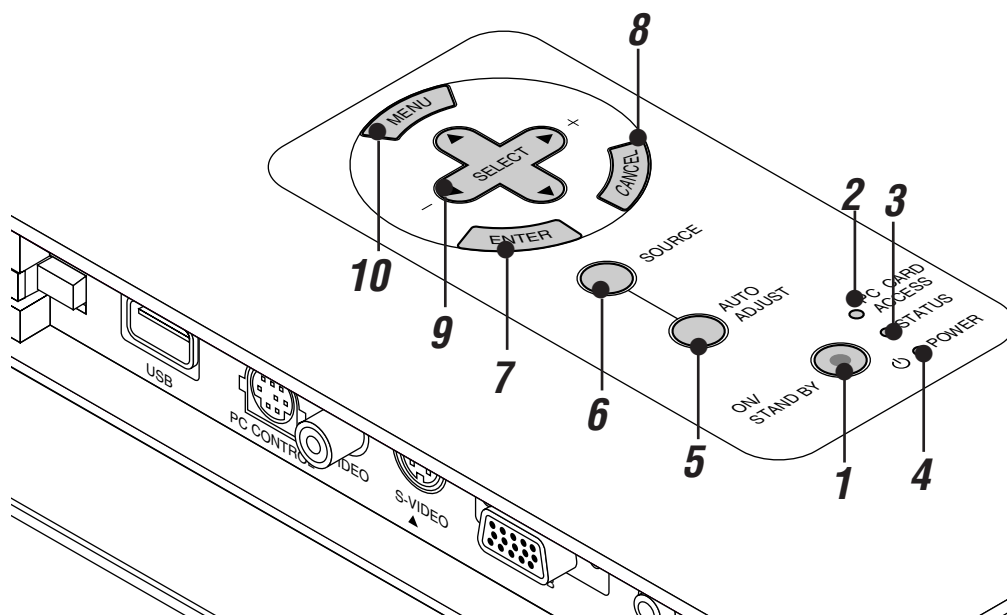
盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。この製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。



日本パラデジタル株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071



1 POWER 〈ON / STAND BY〉 ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を切るときは、2秒以上押してください。

2 PC CARD ACCESSインジケータ

コンパクトフラッシュカードへのアクセス(データの読み込み または 書き込み)中に点灯します。

3 STATUSインジケータ

光源ランプの交換時期がきたり、本機をエコモードで使用しているとき、また本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは100ページ「インジケータ表示一覧表」をご覧ください。

4 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。
詳しくは34ページ「プロジェクタ電源の入／切」をご覧ください。

5 〈AUTO ADJUST〉 ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。(38ページ参照)

6 〈SOURCE〉 ボタン

RGB、ビデオ、Sビデオ、ビューワの入力を切り換えます。
押すごとに →RGB→ビデオ→Sビデオ→ビューワ←

と切り換わります。

入力されていない信号は飛び越します。

7 〈ENTER〉 ボタン

メニューを表示しているときは、項目を決定します。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

8 〈CANCEL〉 ボタン

メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

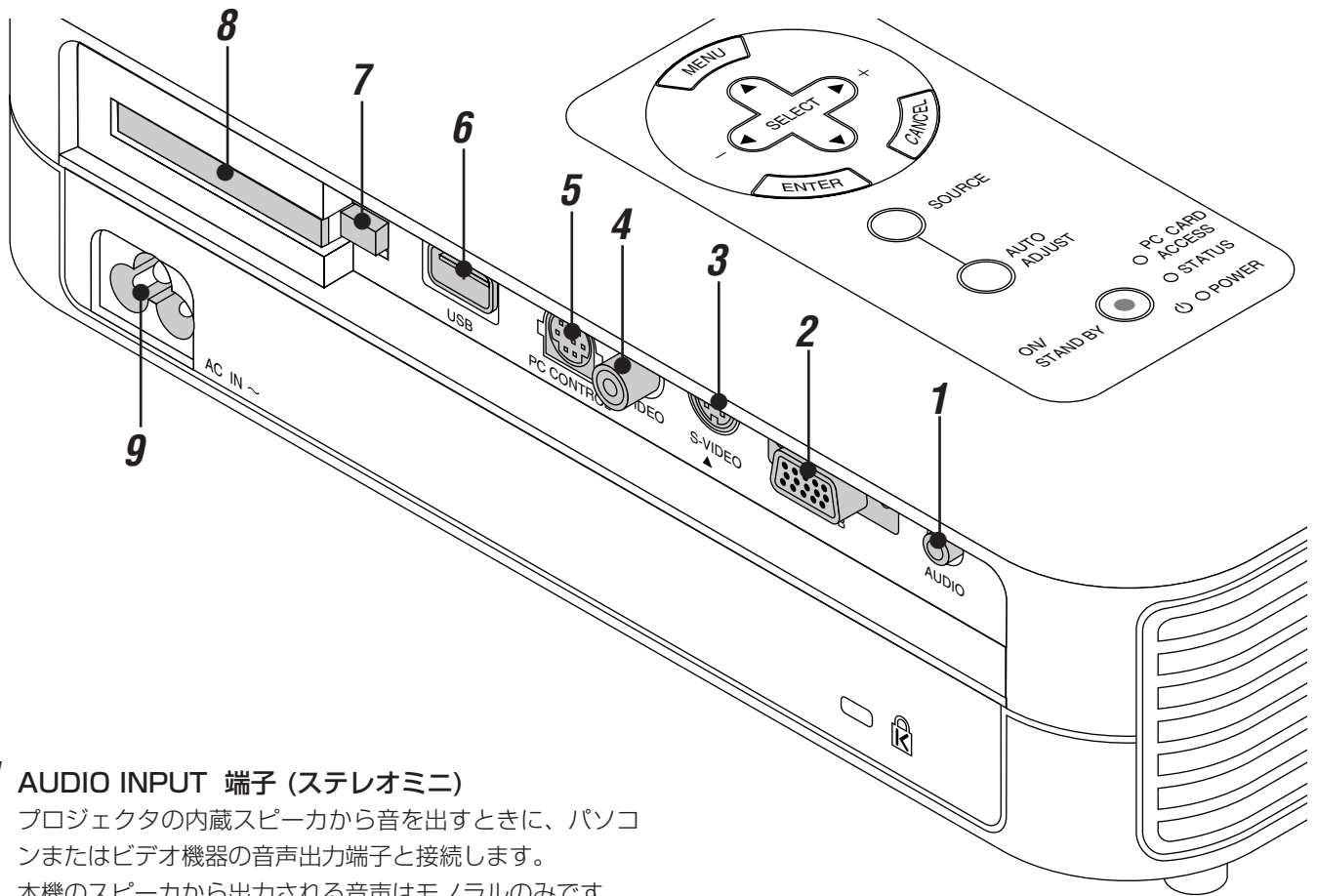
9 〈SELECT ▼▲◀▶〉／音量調整ボタン

メニューを表示しているときは、設定・調整したい項目を選択します。
ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使います。
メニューやポインタなどを表示していないときは、〈▼▲〉ボタンで音量が変わります。
また、ビューワ表示中は〈◀▶〉ボタンでスライドを切り換えたり、フォルダ／スライド一覧のカーソルを移動します。

10 〈MENU〉 ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します。

接続端子部



1 AUDIO INPUT 端子 (ステレオミニ)

プロジェクタの内蔵スピーカから音を出すときに、パソコンまたはビデオ機器の音声出力端子と接続します。
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

2 RGB INPUT 端子 (ミニD-Sub 15ピン)

パソコン本体のアナログRGB出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。

3 S-VIDEO INPUT 端子 (ミニDIN-4P)

ビデオデッキなど映像機器のS映像出力端子と接続します。

4 VIDEO INPUT 端子 (RCA-フォノ)

ビデオデッキなど映像機器の映像出力端子と接続します。

5 PC CONTROL 端子 (ミニDIN-8P)

パソコンで本機をコントロールするときに使用します。(工場出荷時にキャップが付いています。)

6 USB 端子

市販のUSB対応のマウスでプロジェクタを操作するときに接続します。
(マウス以外のUSB機器は接続しないでください。)

7 PCカード取り出しボタン

コンパクトフラッシュカードを出すときに押します。

8 PCカードスロット

コンパクトフラッシュカードをセットするところです。

9 AC IN端子

添付の電源コードを接続します。

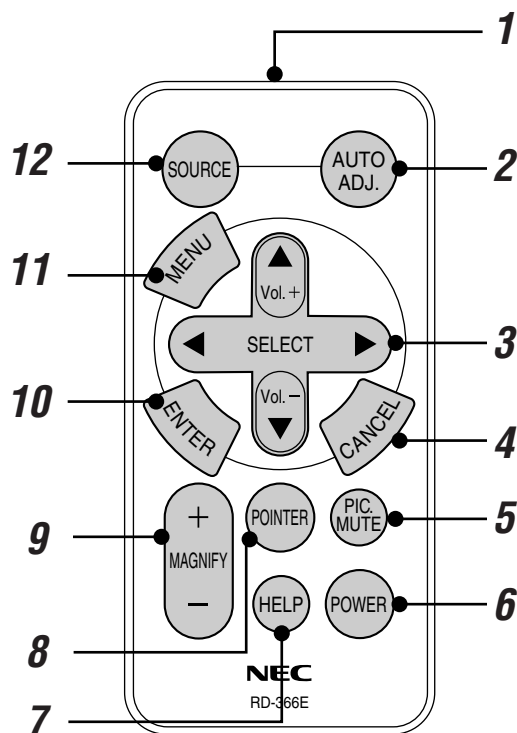
お知らせ

● 音声の接続について

ビデオ機器などステレオ信号(右・左)を本機に入力する場合は市販のRCAフォノタイプのステレオ→モノラル変換ケーブルをご使用ください。

- 市販のケーブルには、プラグの外形が大きいため挿入できないものもあります。
別売のRGBケーブル(VL-CA02MD)のご使用をおすすめします。

リモコン各部のはたらき



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 〈AUTO ADJ.〉ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。(38ページ参照)

3 〈SELECT ▼▲◀▶〉／音量調整ボタン

メニューを表示しているときは、設定・調整したい項目を選択します。

ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使います。

メニューやポインタなどを表示していないときは、

〈▼▲〉ボタンで音量が変わります。

また、ビューワ表示中は〈◀▶〉ボタンでスライドを切り換えたり、フォルダ／スライダー一覧のカーソルを移動します。

4 〈CANCEL〉ボタン

メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

5 〈PIC-MUTE〉ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

(メニュー表示中に押した場合は、映像と音声は消えますが、メニューは消えません。)

6 〈POWER〉ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を切るときは、2秒以上押してください。

7 〈HELP〉ボタン

ヘルプを表示します。(41ページ参照)

各種調整・設定画面を表示しているときは、選択している項目のヘルプを表示します。

8 〈POINTER〉ボタン

ポインタを表示します。

画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置の調整ができます。(42ページ参照)

9 〈MAGNIFY + / -〉ボタン

映している画面の拡大・縮小(元に戻す)をします。
(42ページ参照)

10 〈ENTER〉ボタン

メニューを表示しているときは、項目を決定します。

各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

11 〈MENU〉ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します。

12 〈SOURCE〉ボタン

RGB、ビデオ、Sビデオ、ビューワの入力を切り換えます。
押すごとに

→RGB→ビデオ→Sビデオ→ビューワ→

と切り換わります。

入力されていない信号は飛び越します。

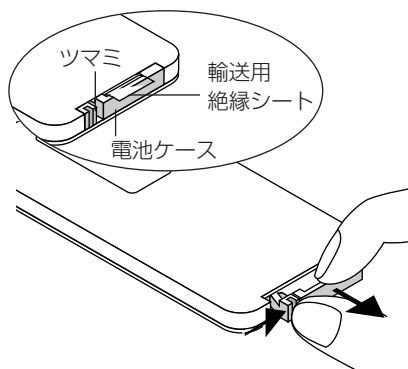
■ボタン電池の入れかた

はじめてご使用になる場合

出荷の際に輸送用絶縁シートを挟んでいますので、電池ケースを開けて取り外し電池を元に戻してください。

電池を交換するときは CR2025 をお買い求めください。

- 1** 電池ケースのツマミを右側に押したまま、引いて外します。

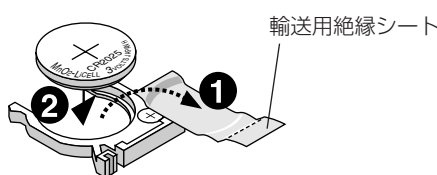


- 2** はじめて使用する場合

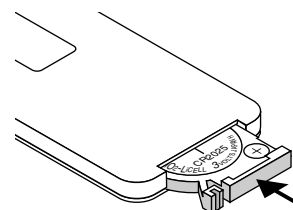
1. 輸送用絶縁シートを外し、2. ボタン電池の+面を上にして電池ケースに入れます。

電池交換の場合

古いボタン電池を外し、新しいボタン電池の+面を上にして、電池ケースに入れます。

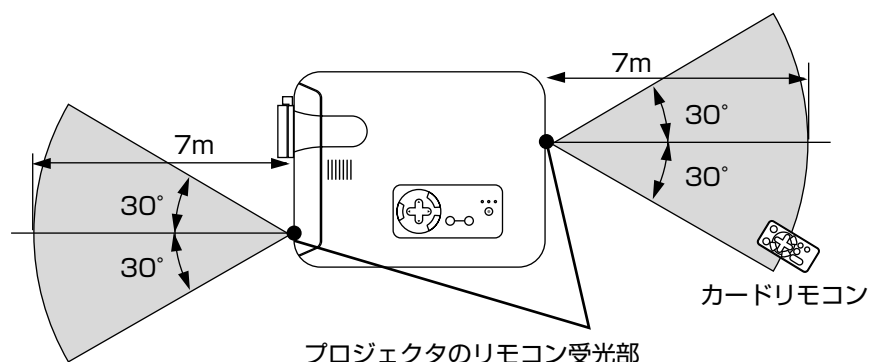


- 3** 「カチッ」とはまるまで電池ケースを押します。



■リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。



【水平方向の受光範囲】

有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

お願い

リモコン使用上のお願い

- 本体のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号がさざぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの取扱について

- 輸送用絶縁シートを外さないとリモコンは動作しません。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気の少ないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、ボタン電池を取り出してください。
- ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師の診断を受けてください。

プレゼンテーションリモコンキットを使う [別売品]

別売品のプレゼンテーションリモコンキット [PR51KIT] の機能説明です。

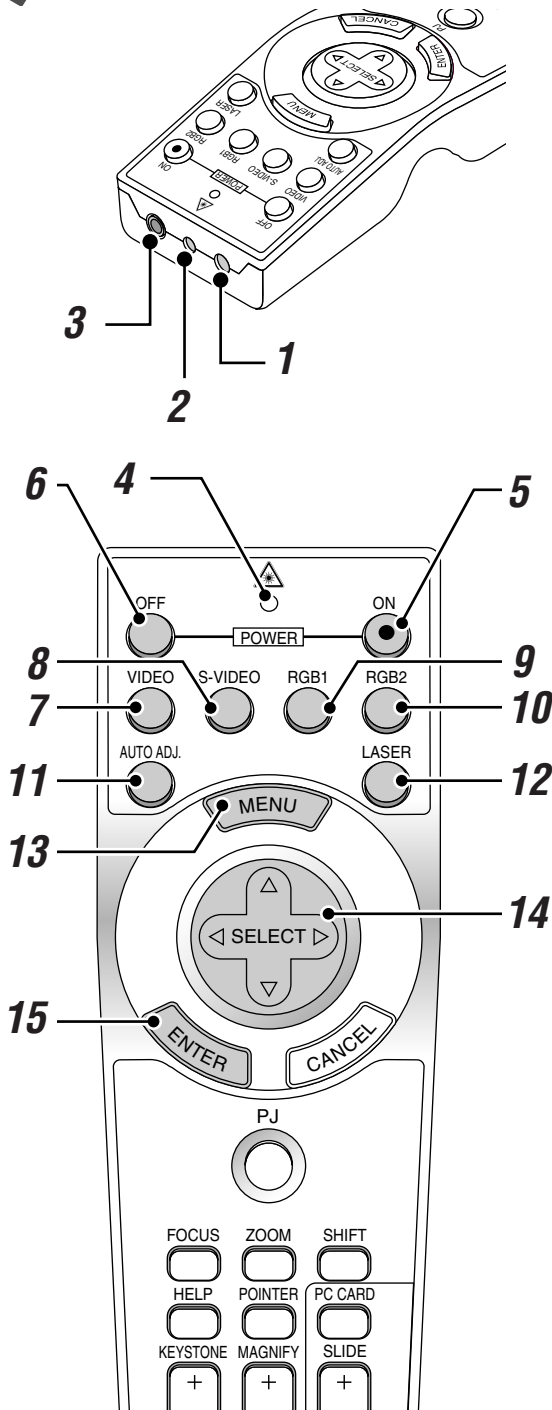
- 主要操作がダイレクトにできる機能ボタン、パソコンのマウス操作ができるマウスコントロール機能、ピンポイントでスクリーンの説明箇所を指すことができるレーザーポインタ機能のついたプレゼンテーションに便利なりモコンキットです。

PR51KITの内容物

- リモコン (送信機) RD-382 1個
- 乾電池 (単三) 2本
- 取扱説明書 (保証書含む) 1枚
- PS/2アダプタ 1個
- マウスレシーバ (受信機) 1個

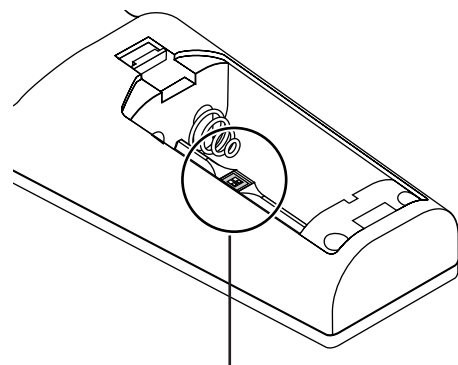
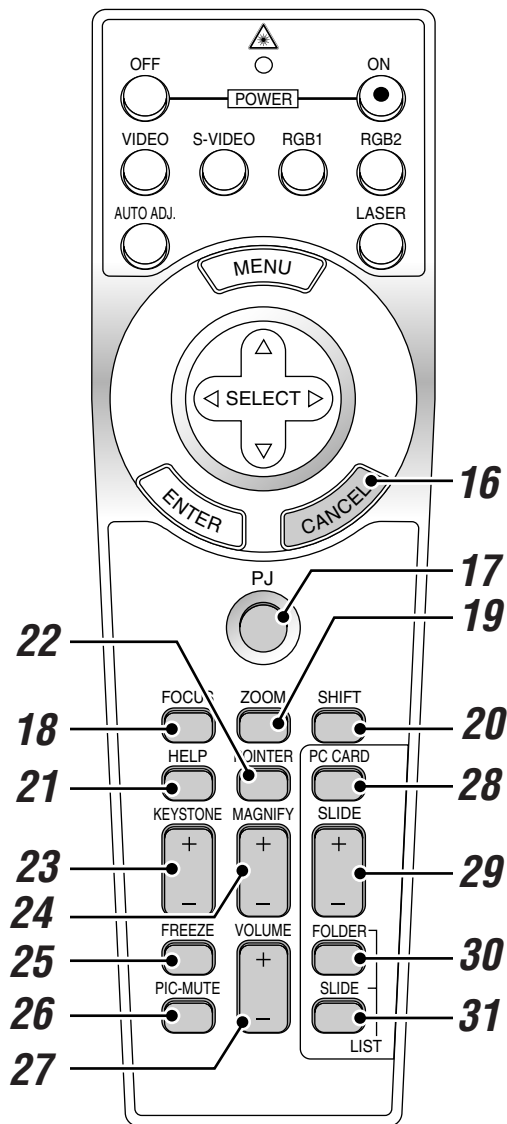


プレゼンテーションリモコン各部のはたらき



Apple社製Macintoshを使用している場合は、
〈CANCEL〉 (右クリック) と 〈ENTER〉 (左クリック) は同じ動きをします。

- 1 リモコン送信部**
リモコン信号を赤外線で送信するところです。
- 2 レーザー発光部**
レーザーポインタの光を出すところです。
- 3 リモコンケーブル接続端子**
本機では使用できません。
- 4 リモコン送信中ランプ**
赤外線送信中、またはレーザー発光中は赤いランプが点灯します。
- 5 POWER 〈ON〉 ボタン**
スタンバイ時 (POWERインジケータがオレンジ色に点灯) に本機の電源を入れます。
- 6 POWER 〈OFF〉 ボタン**
本機の電源を切ります (スタンバイ状態)。2秒以上押してください。
- 7 〈VIDEO〉 ボタン**
ビデオ入力を選択します。
- 8 〈S-VIDEO〉 ボタン**
Sビデオ入力を選択します。
- 9 〈RGB 1〉 ボタン**
RGB入力 (または コンポーネント) を選択します。
- 10 〈RGB 2〉 ボタン**
本機では使用できません。
- 11 〈AUTO ADJ.〉 ボタン**
映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。
(40ページ参照)
- 12 〈LASER〉 ボタン**
レーザーポインタが発光します。
- 13 〈MENU〉 ボタン**
各種設定・調整のメニューを表示します。
- 14 〈SELECT ▼▲◀▶〉 (マウス) ボタン**
パソコンモードのとき……パソコンのマウスとして動作します。
(24ページ参照)
プロジェクタモード (〈PJ〉ボタン 17が赤く点灯) のとき……
メニュー操作やポインタ移動、〈MAGNIFY〉ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。
- 15 〈ENTER〉 (左クリック) ボタン**
パソコンモードのとき……マウスの左ボタンの動作をします。
2~3秒押すとドラッグモードになります。(24ページ参照)
プロジェクタモードのとき……メニューを表示しているときは、項目を決定します。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。



32 リモコンモードスイッチ

レーザー光の有効/禁止を設定します。
リモコンの電池ケースフタを開けるとあります。(22ページ参照)

16 〈CANCEL〉 (右クリック) ボタン

パソコンモードのとき……マウスの右ボタンの動作をします。
プロジェクタモードのとき……メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

17 〈PJ〉 ボタン

〈SELECT ▼▲◀▶〉ボタン、〈CANCEL〉ボタン、〈ENTER〉ボタンの動作をプロジェクタモードに切り換えます。プロジェクタモードのときは赤く点灯します。
もう一度押すとパソコンモードに戻ります。(24ページ参照)

18 〈FOCUS〉 ボタン

本機では使用できません。

19 〈ZOOM〉 ボタン

本機では使用できません。

20 〈SHIFT〉 ボタン

本機では使用できません。

21 〈HELP〉 ボタン

ヘルプを表示します。(41ページ参照)
各種調整・設定画面を表示しているときは、選択している項目のヘルプを表示します。

22 〈POINTER〉 ボタン

ポインタを表示します。画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置の調整ができます。(42ページ参照)

23 〈KEYSTONE +/−〉 ボタン

画面の台形歪みを調整します。(43ページ参照)

24 〈MAGNIFY +/−〉 ボタン

画面の拡大・縮小(元に戻す)をします。(42ページ参照)

25 〈FREEZE〉 ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。

26 〈PIC-MUTE〉 ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。
(メニュー表示中に押した場合は、映像と音声は消えますが、メニューは消えません。)

27 〈VOLUME +/−〉 ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。

28 〈PC CARD〉 ボタン

ビューワを表示します。

29 〈SLIDE +/−〉 ボタン

ビューワのスライド画面の切り換えや、フォルダ/スライド一覧表示のカーソル送りに使います。(87ページ参照)

30 〈FOLDER LIST〉 ボタン

コンパクトフラッシュカードに保存されたフォルダー一覧を表示します。

31 〈SLIDE LIST〉 ボタン

コンパクトフラッシュカードに保存されたスライド一覧を表示します。(89ページ参照)

お知らせ

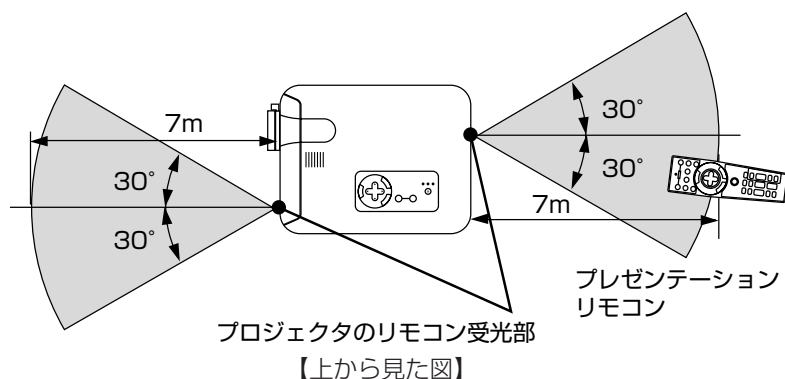
- 〈SELECT ▼▲◀▶〉ボタン、〈CANCEL〉ボタン、〈ENTER〉ボタンは通常パソコンモードになっていますが、POWER 〈ON/OFF〉ボタン、〈MENU〉ボタン、〈POINTER〉ボタン、〈HELP〉ボタン、〈MAGNIFY〉ボタン、〈PC CARD〉ボタン、〈FOLDER LIST〉ボタン、〈SLIDE LIST〉ボタンを押すと、自動的にプロジェクタモードになります。その後、約10秒間ボタン操作をしないとパソコンモードに戻ります。(24ページ参照)

■プレゼンテーションリモコンの有効範囲

プロジェクタを操作するとき

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

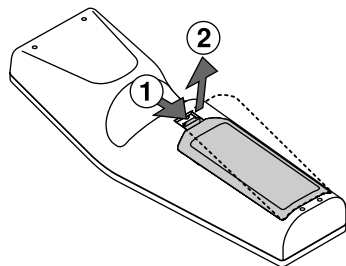
リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



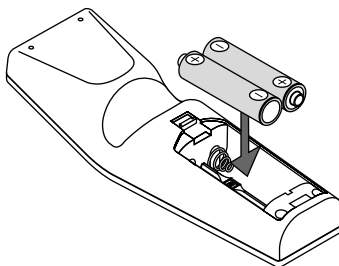
【上から見た図】

■電池の入れかた

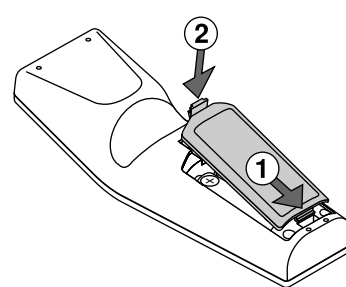
1 図のようにリモコン裏面の電池ケースのふたをはずします。



2 ケース内部の表示通りに+, -の向きを合わせて入れます。



3 もと通りふたを戻します。



電池を交換するときは2本とも同じ種類の単三乾電池をお買い求めください。



〈SELECT▼▲◀▶〉(マウス) ボタンを押しながら電池を入れると、リモコンの動作がおかしくなったり動作しなくなったりする場合があります。その際は、いったん電池を外し、入れ直してください。



リモコン使用上のお願い

- 本体のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの取扱について

- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気の少ないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

■ レーザーポインタの使いかた

⚠ 警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあたると視力低下・視覚障害の原因となります。

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない
- レーザー光を人に向けない
- 子供には使用させない

クラス2レーザー製品 最大出力：1mW

波長：650nm

JIS C 6802 (1998)

製造者：F & T

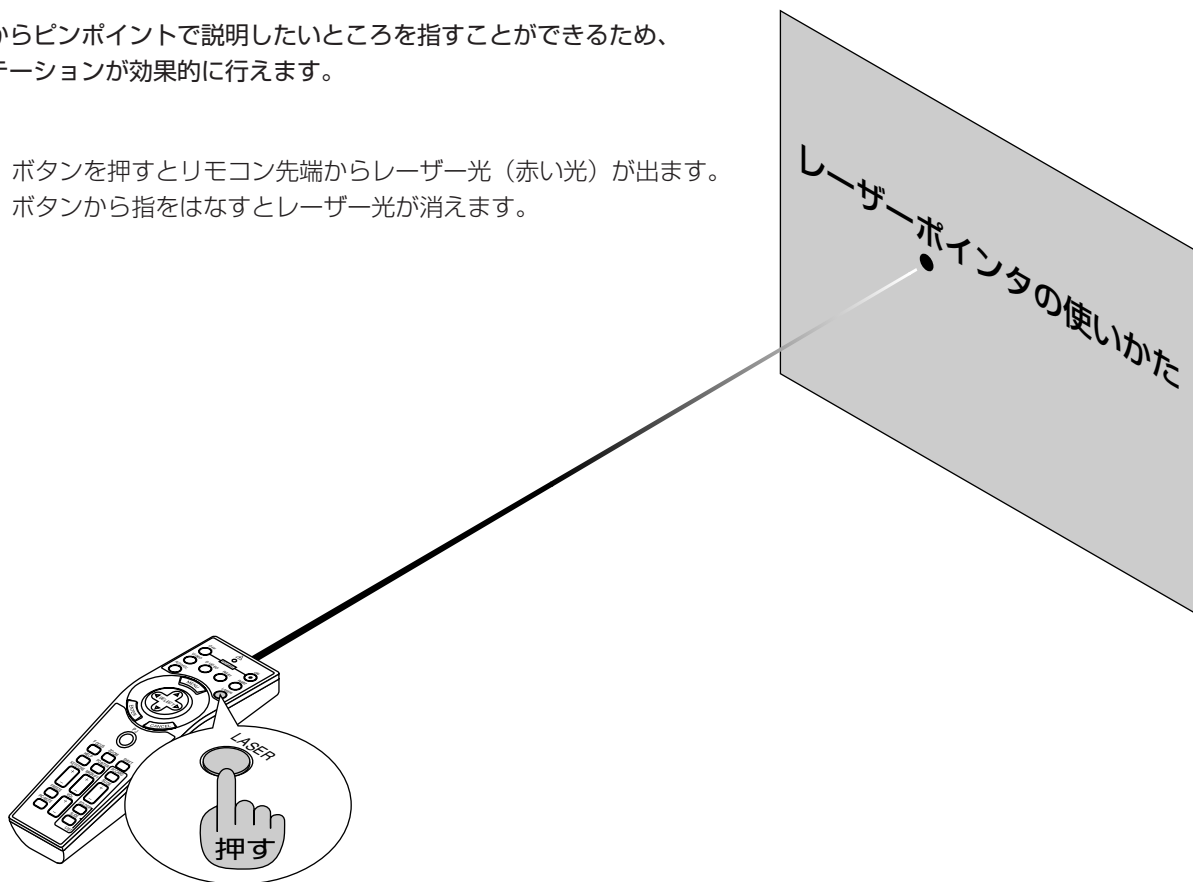


JQA

※リモコン側面および底面に上記内容が記載されています。

リモコンからピンポイントで説明したいところを指すことができるため、プレゼンテーションが効果的に行えます。

〈LASER〉 ボタンを押すとリモコン先端からレーザー光（赤い光）が出ます。
〈LASER〉 ボタンから指をはなすとレーザー光が消えます。



■ レーザーの発光を禁止する場合

電池ケースの底に、レーザー光の有効／禁止スイッチがあります。レーザーを禁止するかをお決めの上、必要に応じて「2のスイッチ」を細いボールペンの先などを使って設定してください。

工場出荷時は有効に設定されています。

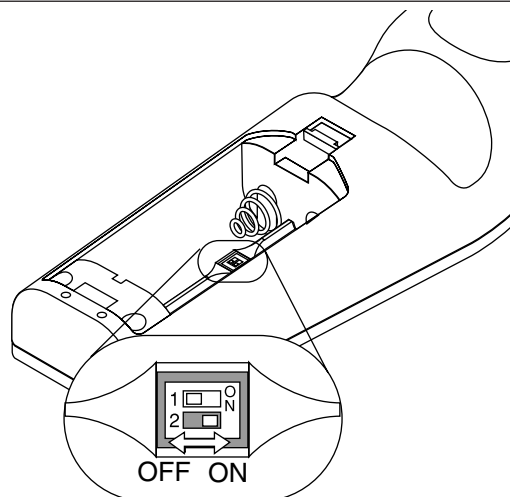
なお、スイッチ1は適応プロジェクタの設定ですので切り換えないでください。

ON側……有効（LASERボタンを押すとレーザーが発光します。）

【工場出荷時設定】

OFF側 …禁止（LASERボタンを押してもレーザーは発光しません。）

- 子供が使用できる環境に置かれる場合、レーザーを禁止に設定してください。



マウスレシーバの使いかた

■パソコンとの接続

マウスレシーバをパソコンに接続するとプレゼンテーションリモコンの一部のボタンがパソコンのマウス機能のボタンになります。プロジェクタのボタンに戻すには〈PJ〉ボタンを使います。(24ページ参照)



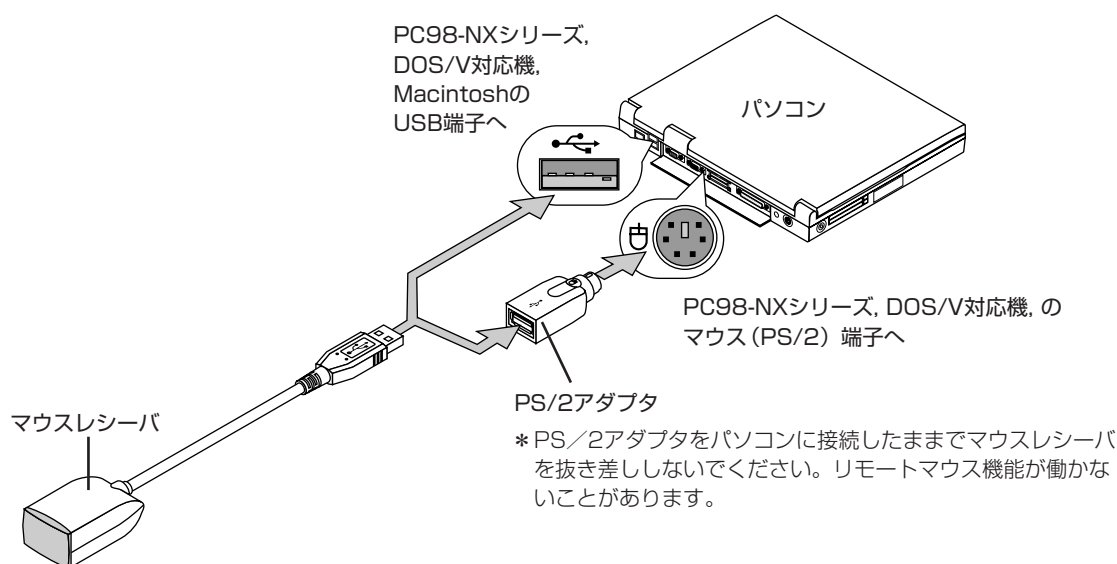
- 接続の際は、パソコンの電源が切れていることをご確認ください。
- ケーブルは確実に差し込んでください。
- 接続の種類、パソコンのOSなどによっては、接続後に設定の変更や再起動が必要な場合もあります。
- パソコンとプロジェクタの両方をプレゼンテーションリモコンで操作するときは、マウスレシーバをプロジェクタの近くに置いてください。

リモートマウス機能を使う場合は、マウスレシーバとパソコンを接続します。

USB端子に接続の場合は直接パソコンに接続します。

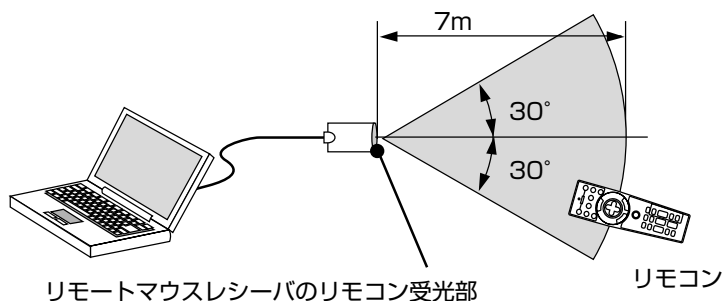
マウス (PS/2) 端子に接続の場合はPS/2アダプタを介してパソコンに接続してください。

(接続端子、パソコンのOS等によっては、接続後に設定の変更や再起動が必要な場合もあります。)



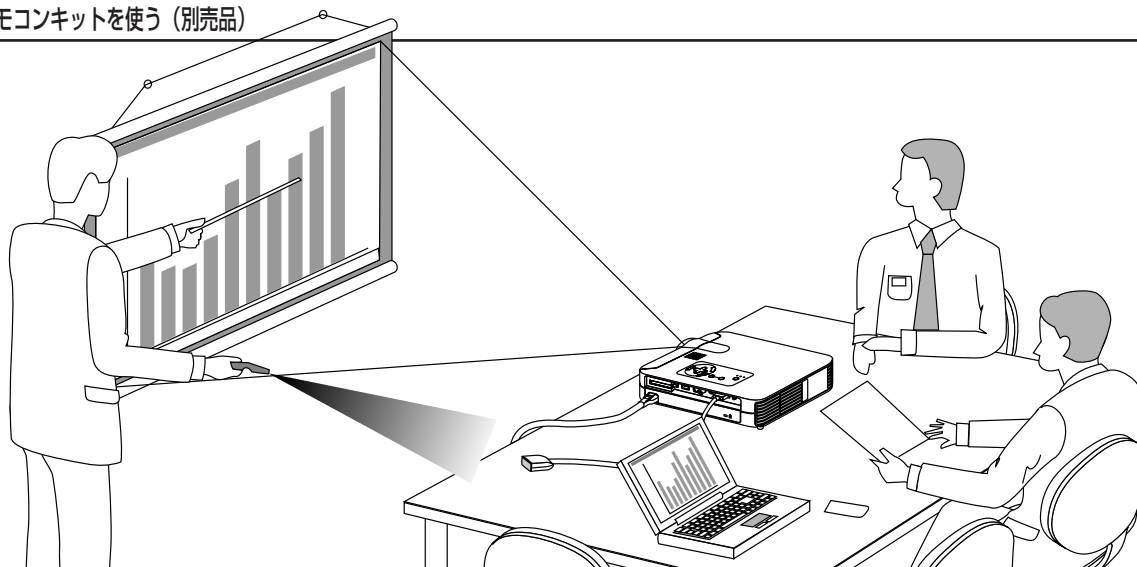
パソコンを操作するとき

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。



USB端子に接続の場合

- PC98NXシリーズ、DOS/V対応機の場合はWindows98/Me/2000以外のOSではご使用になれません。
- マウスレシーバの抜き差しは、5秒以上間隔をおいて行ってください。瞬間的な抜き差しを繰り返すと、パソコンがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。



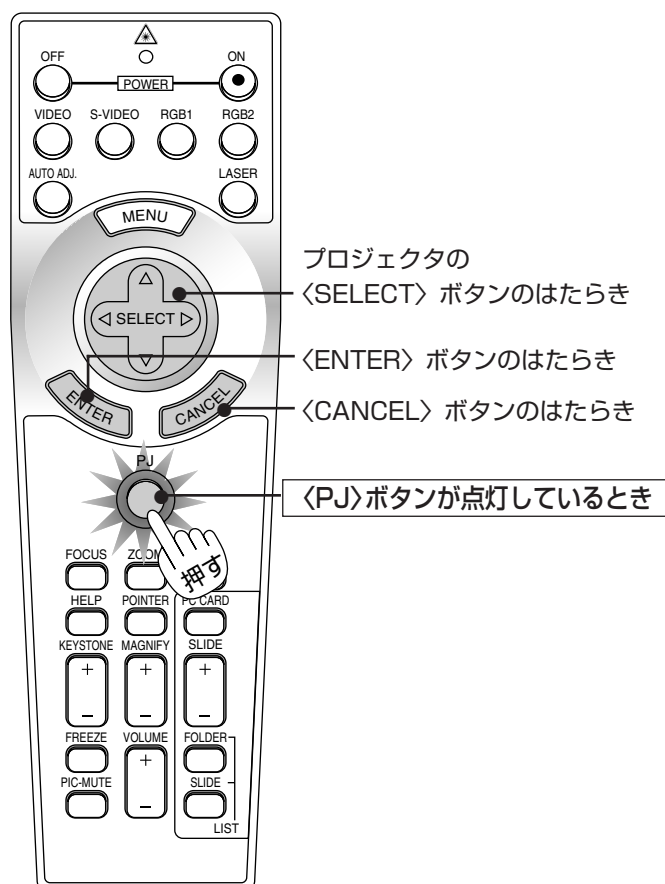
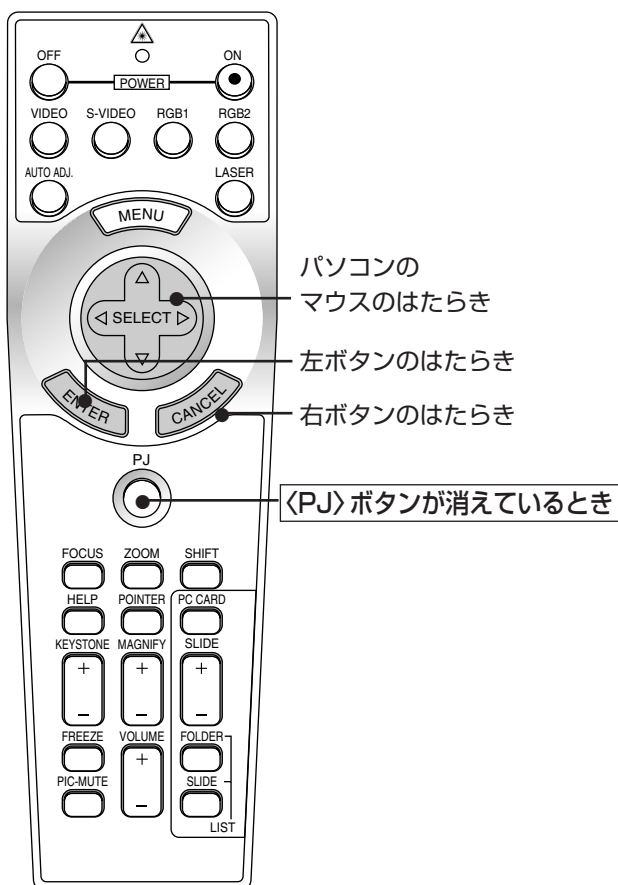
■プロジェクタモードとパソコンモードの切り換えかた

〈PJ〉 ボタンを押すとボタンが赤く点灯して、マウス機能ボタンがプロジェクタのメニュー選択などで使うSELECT, CANCEL, ENTERボタンのはたらきになります。……プロジェクタモード

〈PJ〉 ボタンが消えているときや再び押して消したときはマウス機能ボタンのはたらきになります。……パソコンモード

マウス機能ボタン以外のボタンはプロジェクタ/パソコンモードには関係なくプロジェクタの操作ボタンになります。

- 〈PJ〉 ボタンを押して10秒間ボタン操作をしないとランプが消えマウス機能ボタンになります。
- POWER 〈ON〉 〈OFF〉 ボタン、〈MENU〉 ボタン、〈POINTER〉 ボタン、〈HELP〉 ボタン、〈MAGNIFY〉 ボタン、〈PC CARD〉 ボタン、〈FOLDER LIST〉 ボタン、〈SLIDE LIST〉 ボタンを押したときは自動的に 〈PJ〉 ボタンが点灯しマウス機能ボタンがプロジェクタモードになります。



■ドラッグモードについて

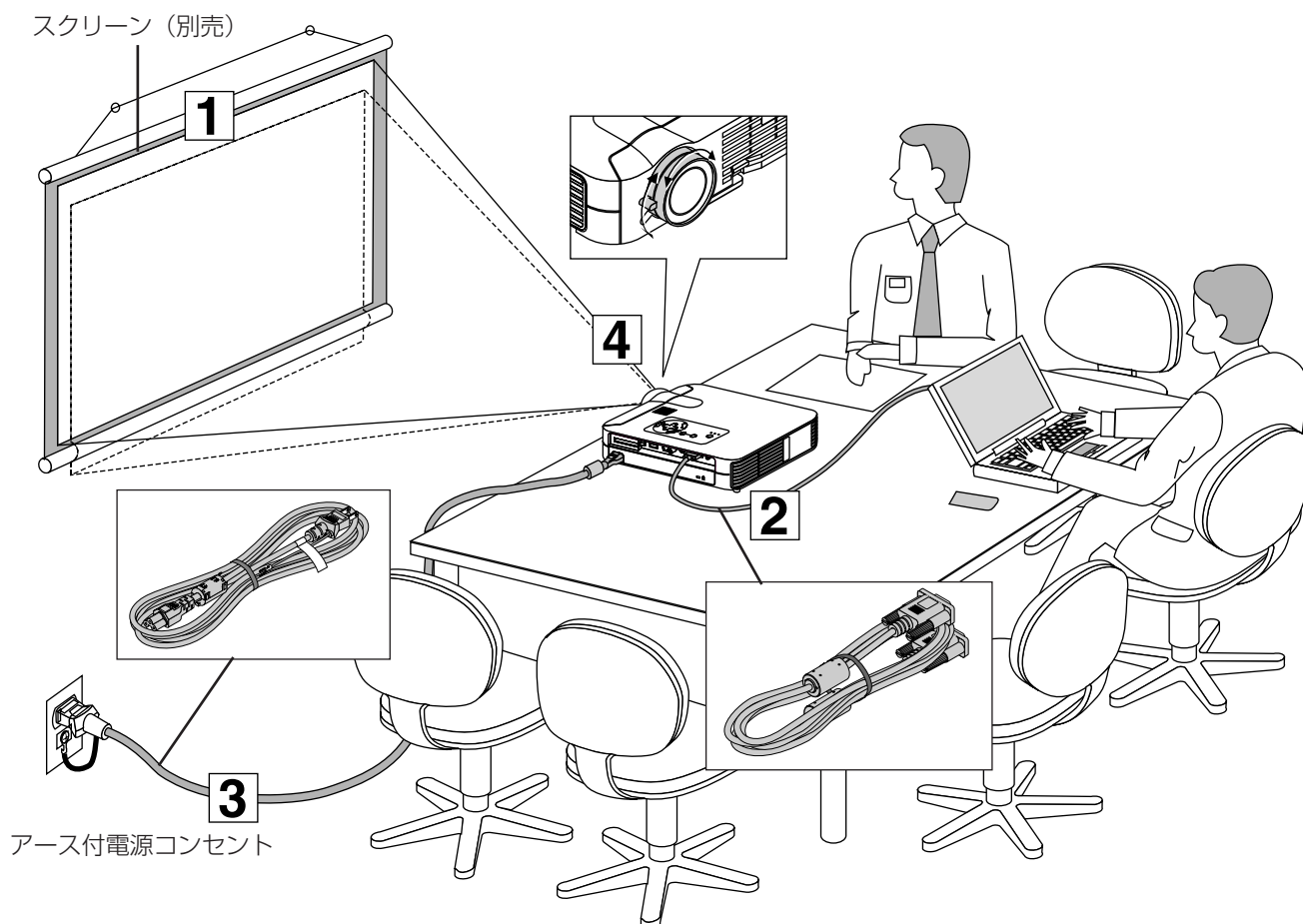
パソコンモードのとき 〈ENTER〉（左クリック） ボタンを2～3秒押し続けてから離すとドラッグモードになります。

そのまま 〈SELECT ▼▲◀▶〉（マウス） ボタンを押すとドラッグ操作ができます。

ドラッグモードを解除するには、〈ENTER〉（左クリック） ボタンか 〈CANCEL〉（右クリック） ボタンを押します。

セッティングの手順

プロジェクタはスクリーンに映像を映します。このため、スクリーンの位置決めをし、映像を出力する機器をプロジェクタに接続する必要があります。



1 スクリーンとプロジェクタを置く（「投写距離と画面サイズ」26ページ参照）

スクリーンの大きさはプロジェクタとスクリーンの距離に関係します。プロジェクタのレンズ面はスクリーンに向けて置いてください。（詳しい投写距離と画面サイズ一覧は104ページをご覧ください。）

2 パソコンやビデオデッキなどをプロジェクタに接続する

迫力ある音声を聞くとときは、パソコンやビデオデッキの音声出力をお手持ちのオーディオアンプと接続してください。

PC98-NXシリーズ、DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続（28ページ参照）

PC-9800シリーズのパソコンとの接続（ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種）（29ページ参照）

Macintoshのパソコンとの接続（30ページ参照）

DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続（31ページ参照）

ビデオ機器や書画カメラとの接続（32ページ参照）

3 電源コードを接続しプロジェクタの電源を入れる（「電源について」33ページ参照）

メニュー表示などの言語を選択する（ご購入後はじめて電源を入れたときのみ 35ページ参照）

4 投写画面を調整する（「画面調整」36ページ参照）

パソコンやビデオデッキなどの電源を入れ、スクリーンに映して投写画面の大きさや位置、フォーカス（ピント）を調整します。

投写距離と画面サイズ

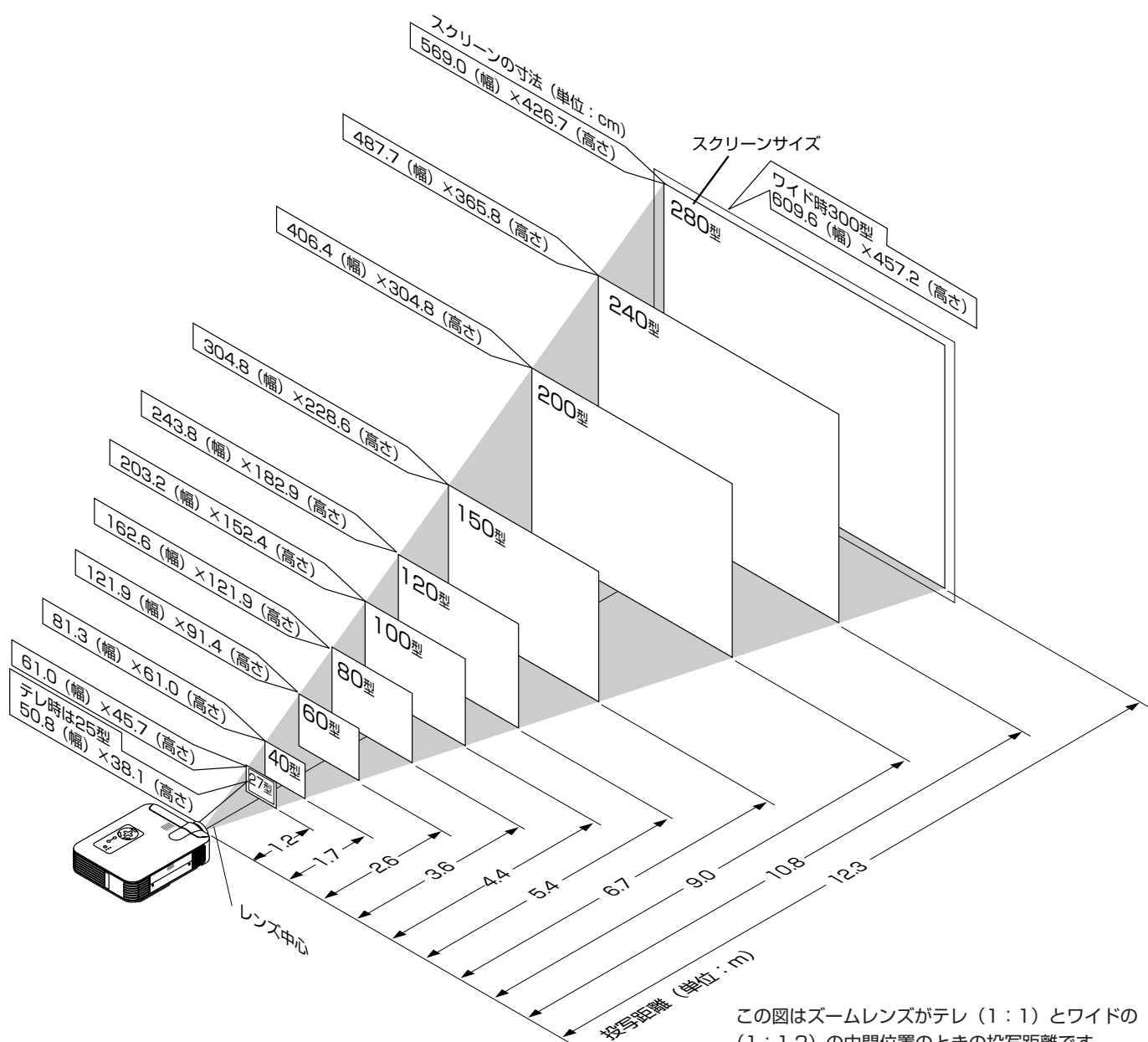
1 スクリーンとプロジェクタを置く

1 図を参照して画面の大きさとプロジェクタの置く位置を決めます。

使用するスクリーンとプロジェクタとの位置関係の目安は下図を参照してください。

【例1】100型のスクリーンに投写したい場合は図より4.4m離して置きます。

【例2】5m離してスクリーンを設置する場合は図より約120型となります。

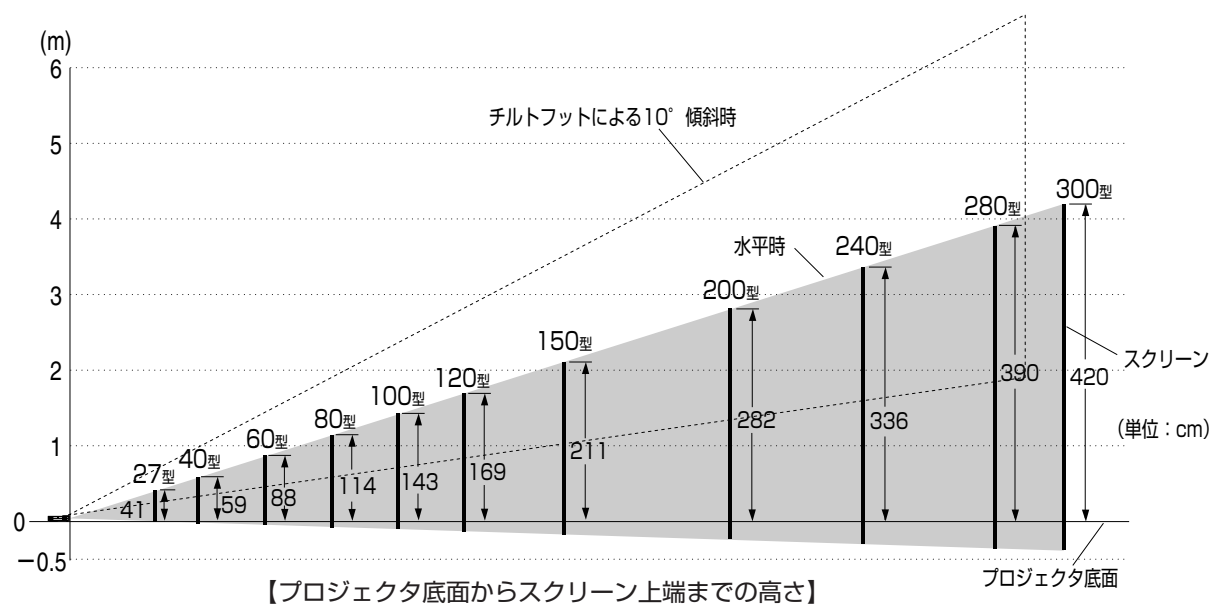


この図はズームレンズがテレ（1：1）とワイドの（1：1.2）の中間位置のときの投写距離です。ズームレンズをテレ（画面が小さくなる）またはワイド（画面が大きくなる）に回して画面の大きさが約±10%調整できます。

2 スクリーンを置く高さを決めスクリーンを設置します。

【例1】 プロジェクタを100型のスクリーンに投写したい場合のスクリーンを設置する位置は、
図より、プロジェクタ底面からスクリーン上端までの高さが約143cmの位置が最適となります。

【例2】 天井の高さが240cmの場合は150型のスクリーンに映せることになります。



- 図はチルトフットを縮めてプロジェクタを水平にしたときの寸法です。なお、プロジェクタのチルトフットの調整により上に10° の調整ができます。（「プロジェクタ角度調整のしかた」 37ページ参照）
- 投写角度を大きくすると投写画面が台形になります。このときは「台形補正」で調整してください。（「上下方向台形歪みの調整」 53ページ参照）



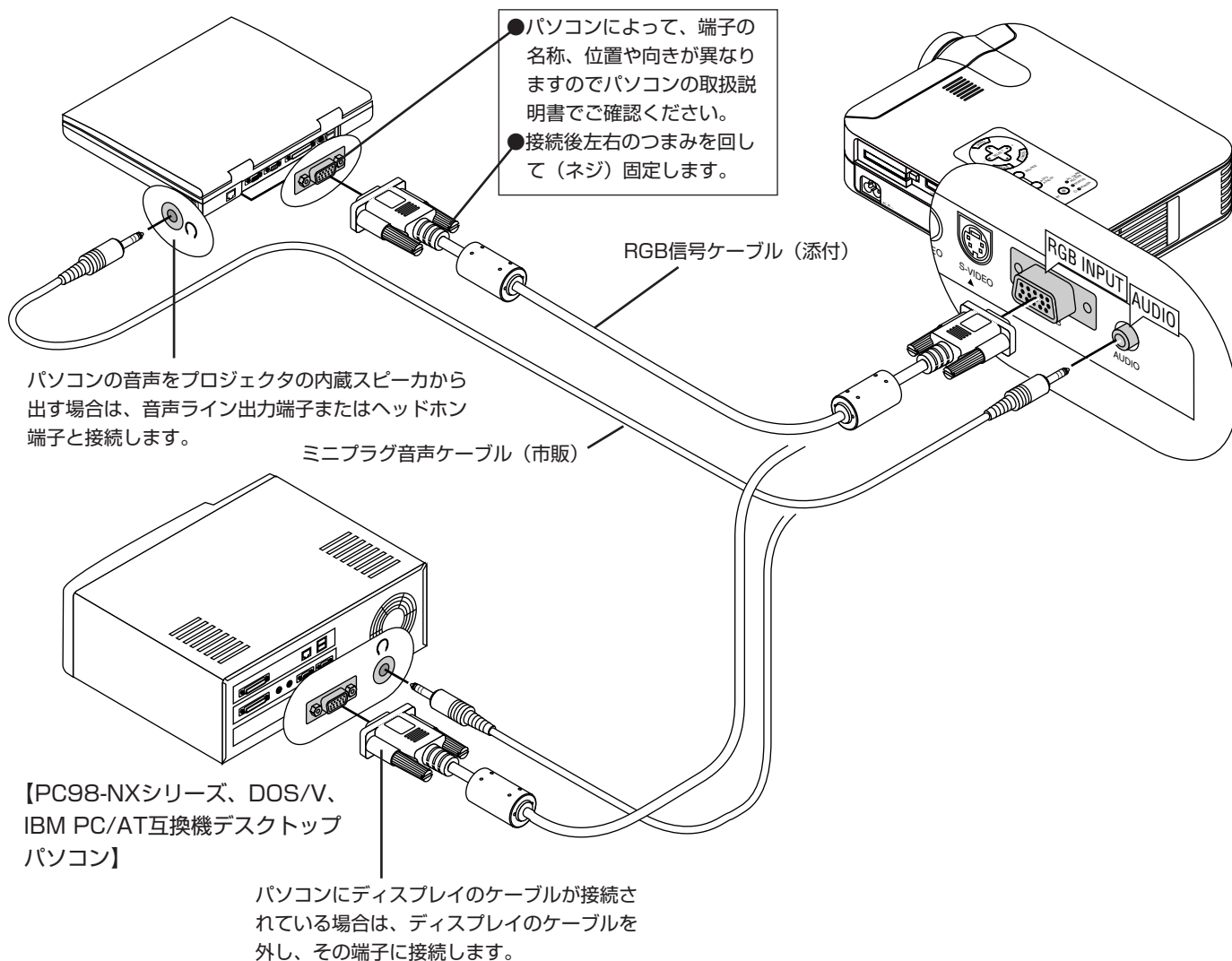
- 常時設置する場合は、104ページの「付録・投写距離と画面サイズ一覧」を参照してください。

2 パソコンやビデオデッキなどプロジェクタで映す機器を接続する

■ PC98-NXシリーズ、DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続

パソコン側のディスプレイ出力端子（ミニD-Sub15ピン）とプロジェクタ側のRGB INPUT端子とを添付のRGB信号ケーブルで接続します。

【PC98-NXシリーズ、DOS/V、
IBM PC/AT互換機ノートパソコン】



お願い

パソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。

お知らせ

音声をヘッドホン端子と接続する場合

接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンにミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

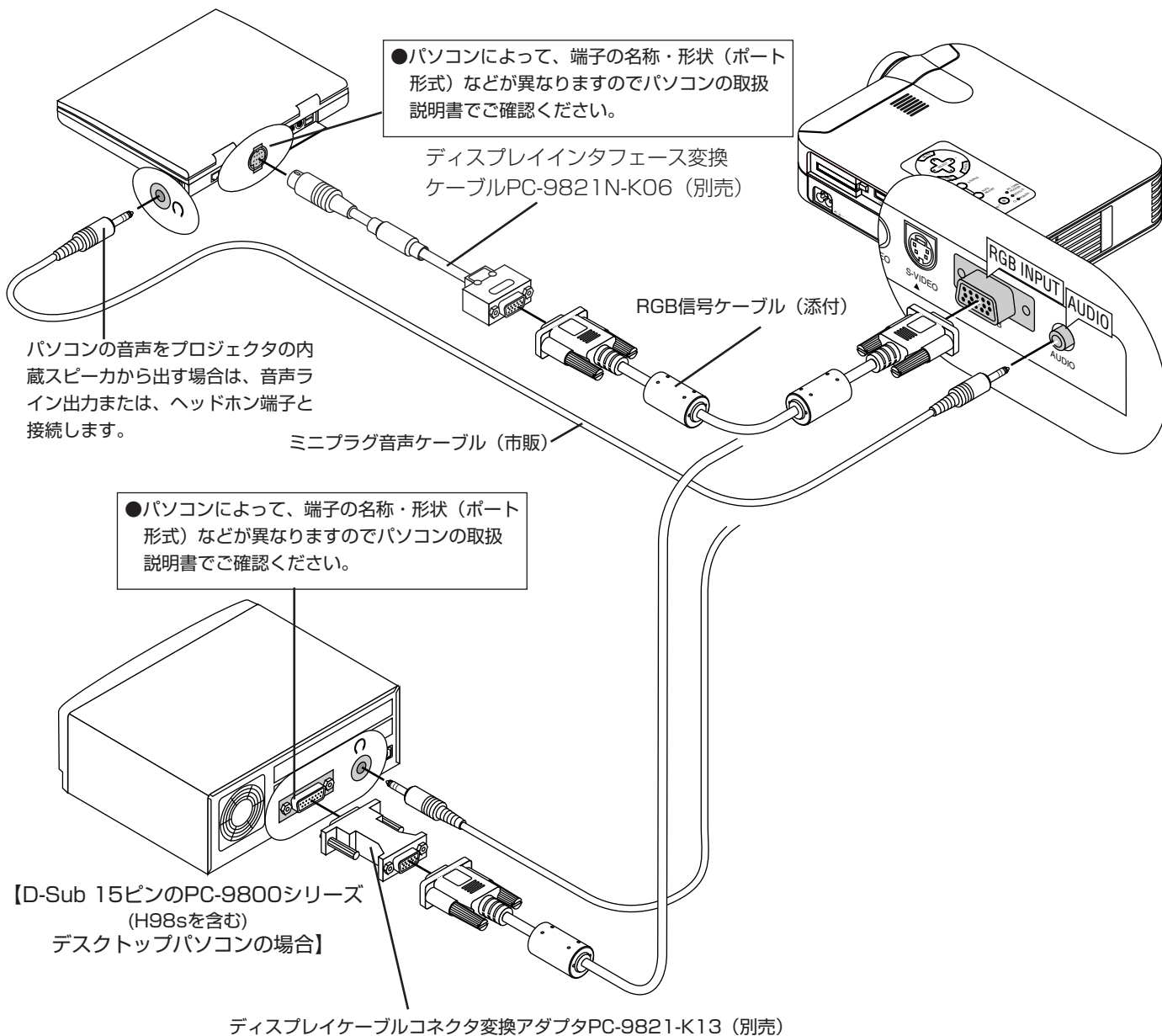
プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合

別売のマルチシンク10mケーブル（型名 VL-CA10MD）をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信号分配器（型名 VL-DA102）の使用をおすすめします。

■ PC-9800シリーズのパソコンとの接続 (ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種)

パソコン側のアナログRGB出力端子がミニD-Sub 15ピンでない場合はPC-9800シリーズの別売品が必要となります。

【ミニDIN 10ピンCRTインタフェースを持つ98NOTEシリーズの場合】



お知らせ

PC-9800シリーズノートパソコンの場合

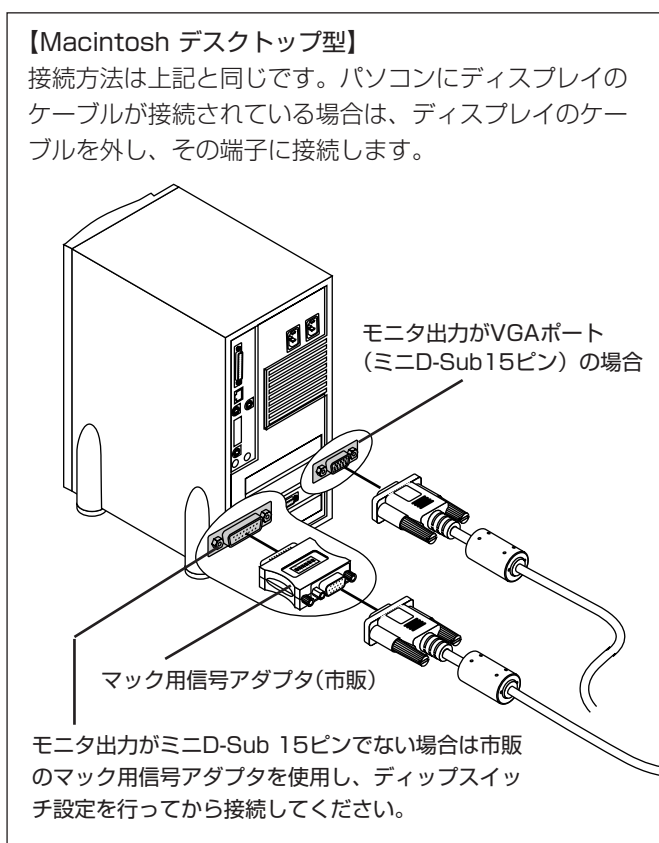
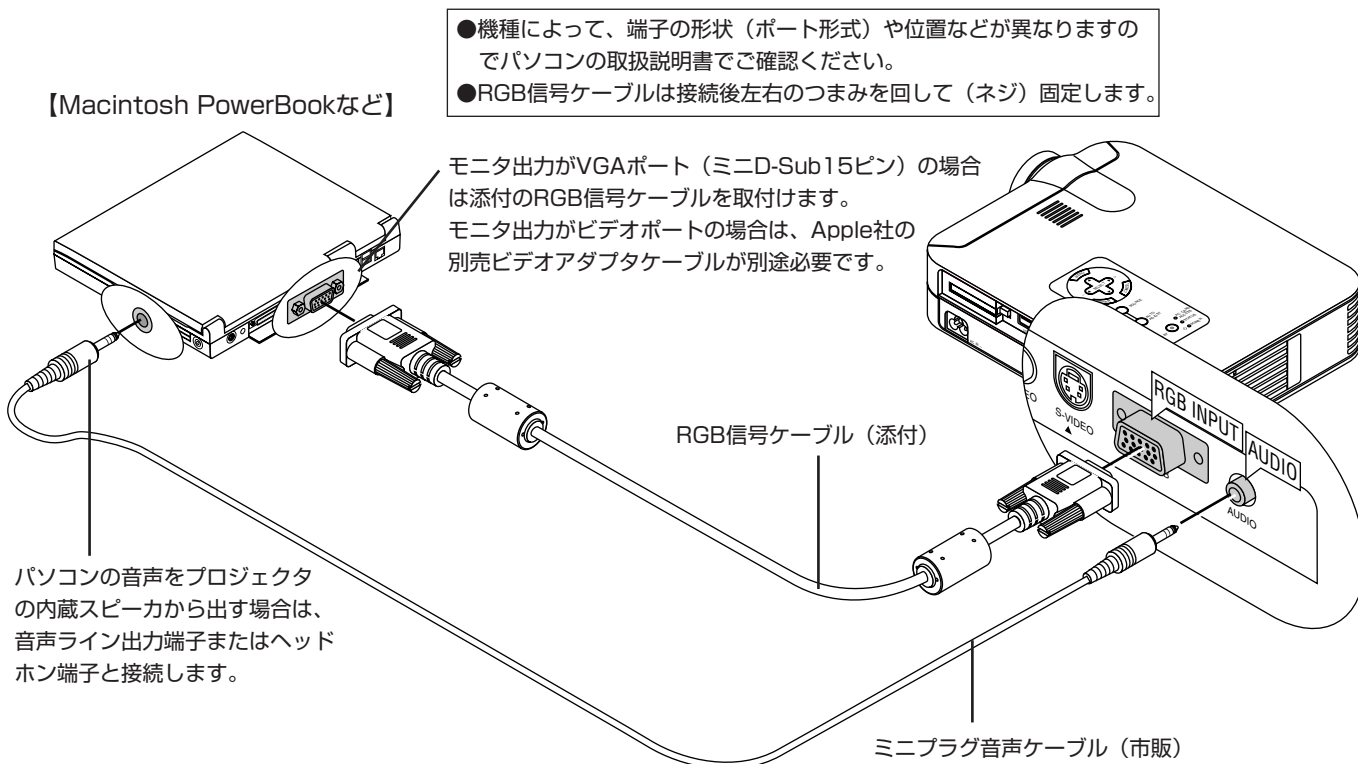
- PC-9821Nrシリーズ以降のノート型パソコンの場合、機種によってはミニD-Sub 15ピンのアナログRGB出力端子を持つポートバー、またはファイルベースなどを接続する必要があります。
- ミニDIN 10ピンCRTインタフェースを持つ98NOTEシリーズの場合は、ディスプレイインタフェース変換ケーブルPC-9821N-K06（別売）を使用してください。

PC-9800シリーズデスクトップパソコンの場合

- D-Sub 15ピンのPC-9800シリーズと接続する場合は、旧9800シリーズ用ディスプレイケーブルコネクタ変換アダプタPC-9821-K13（別売）を使用してください。（H98sを含む）
- H98s以外のPC-H98シリーズを接続する場合はこの他、マルチシンクアダプタPC-H98-U03（別売）がさらに必要です。

■ Macintoshのパソコンとの接続

- Macintoshを接続する場合、プロジェクタに適したモードはVGA/SVGAモードの1024×768ドットの設定です。Macintosh側がこのモードに対応している場合、Macintosh側の表示解像度をこの設定にすることを推奨します。Macintoshの表示解像度の設定はパソコンの取扱説明書をお読みになるか、メーカーへお問い合わせください。



お願い

パソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。

お知らせ

音声をヘッドホン端子と接続する場合

接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンにミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合

別売のマルチシンク10mケーブル（型名 VL-CA10MD）をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信号分配器（型名 VL-DA102）の使用をおすすめします。

PowerBookとプロジェクタを同時に表示させる場合

PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を“切”にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

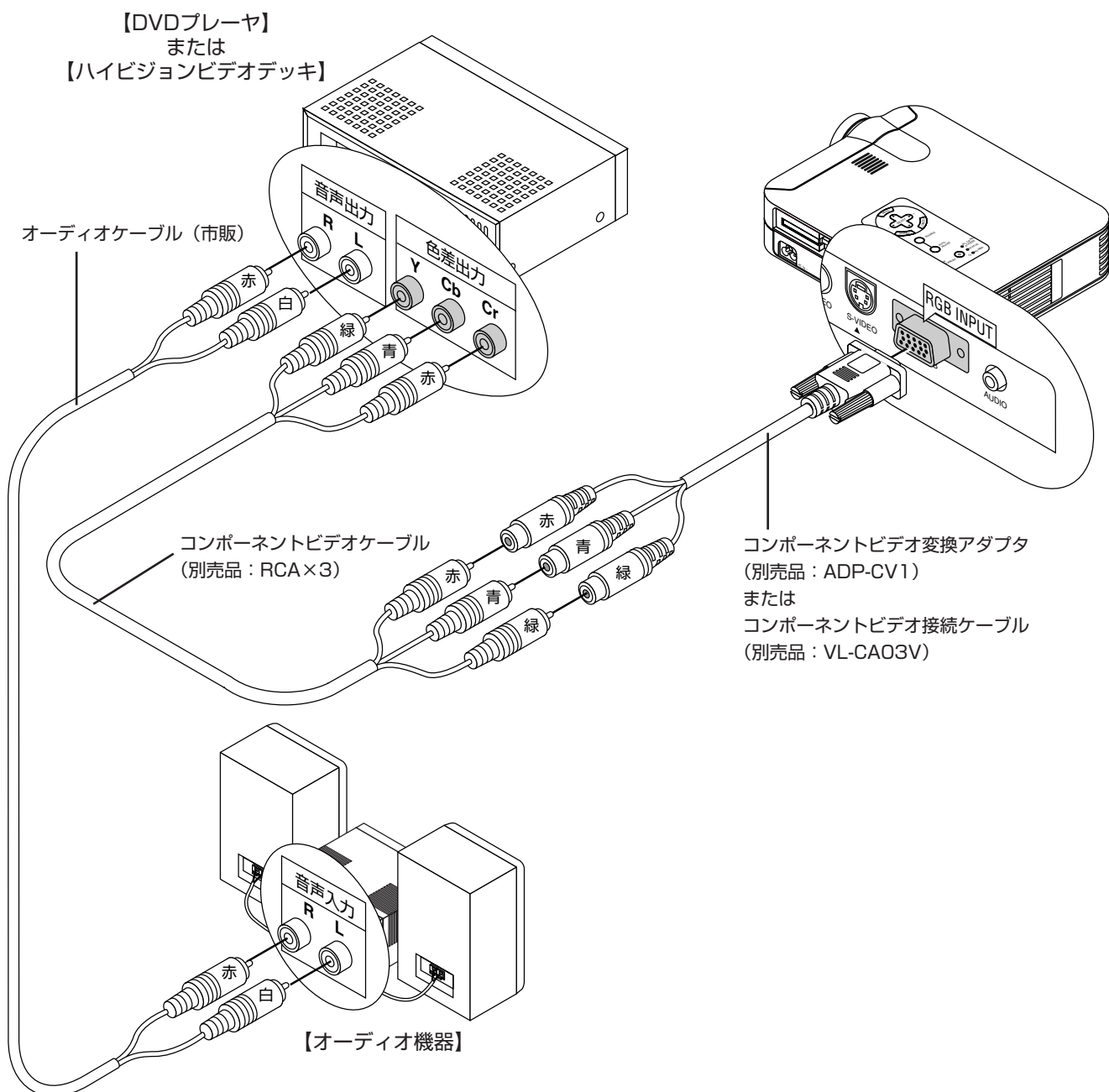
■ DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

DVDプレーヤの色差出力端子（DVD映像出力）やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子（HD映像出力）を使って本機で映すことができます。

通常は自動でRGBとコンポーネントを判別して切り換えますが、判別できない場合は、本機のメニューから〔セットアップ〕→〔ページ3〕→〔信号選択〕の設定画面でRGB信号を〔コンポーネント〕に設定してください。（67ページ参照）

DVDプレーヤの音声はオーディオ機器と接続してください。

ハイビジョンビデオを映す場合は、メニューの〔カラーマトリクス〕の設定画面でマトリクス選択を〔HDTV〕に、マトリクスタイプを〔Pb/Pr〕に設定してください。

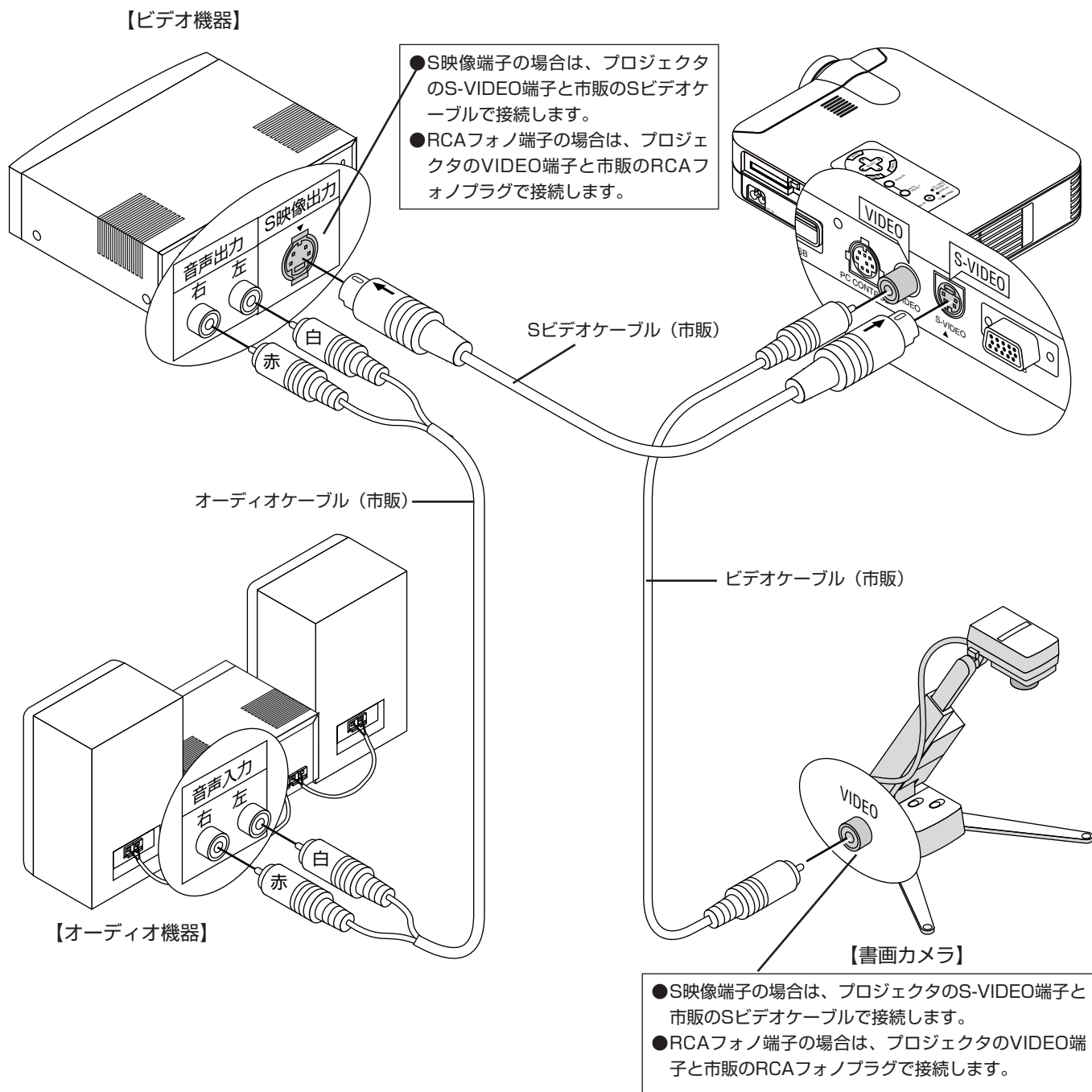


お知らせ

D端子出力付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ（型名 ADP-DT1）をお使いください。

■ ビデオ機器や書画カメラとの接続

DVDプレーヤ、ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映します。市販のケーブルをご使用ください。
また、市販の書画カメラをVIDEO端子またはS-VIDEO端子に接続すると、会議場でのプレゼンテーションなど手もとの資料を画面表示することができます。



ビデオ機器の音声をプロジェクトの内蔵スピーカから出す場合

市販のフォノピン（2プラグ） ↔ ミニプラグ変換ケーブルをお求めください。

お知らせ

- 当社製のISS-6020JとISS-6010Jのビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

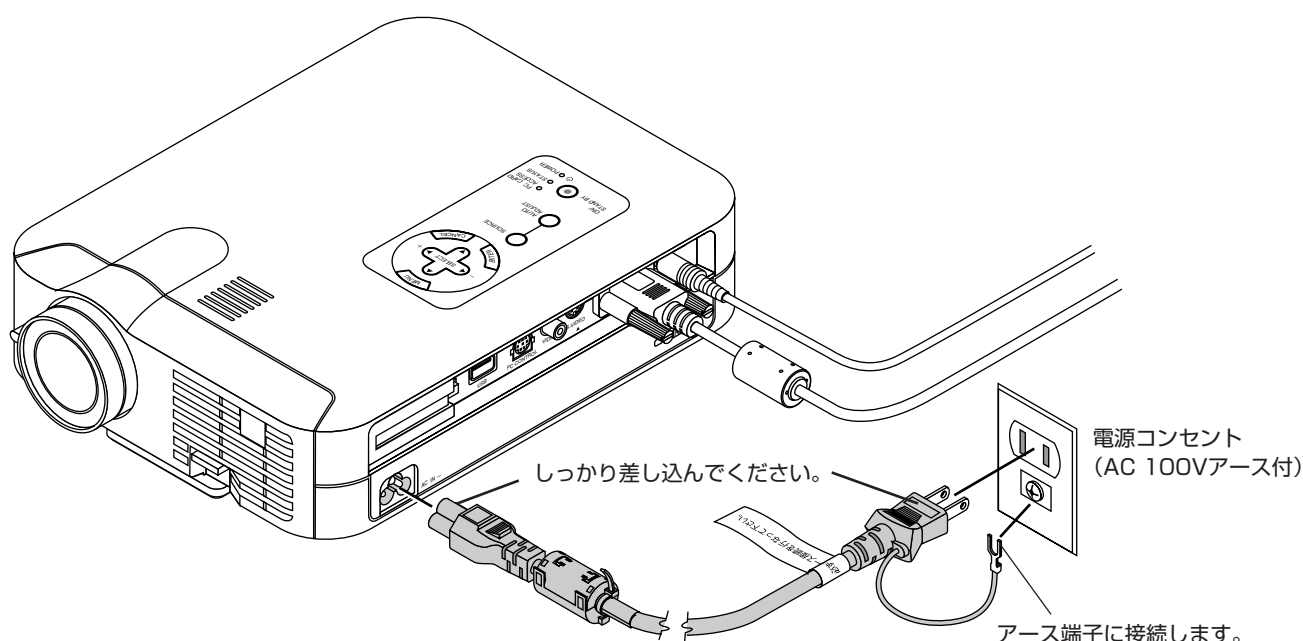
3 電源コードを接続し電源を入れる

1 電源コード（添付）を接続する

プロジェクタのAC INとAC 100V アース付のコンセント（アース工事済み）と添付の電源コードで接続します。
電源コードを接続するとプロジェクタのPOWERインジケータがオレンジ色に点灯します（スタンバイ状態）。



機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。
感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。
アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アースをはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



お願い

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。
機器が故障する恐れがあります。

- 砂時計アイコンが出ているとき
- 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき（電源を切るとこのメッセージが出ます。）
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後（POWERインジケータがオレンジ色に点灯しないとき）
- POWERボタンOFF後の1分間ファン回転終了直後
- POWERインジケータとSTATUSインジケータが交互に一瞬点滅しているようなとき

また、PC CARD ACCESSインジケータが点灯しているとき（ビューワ機能を使用中）に電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜くとコンパクトフラッシュカードが破損します。

電源を入れる前にレンズキャップを外してください。

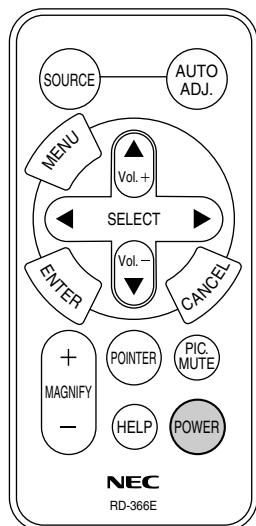
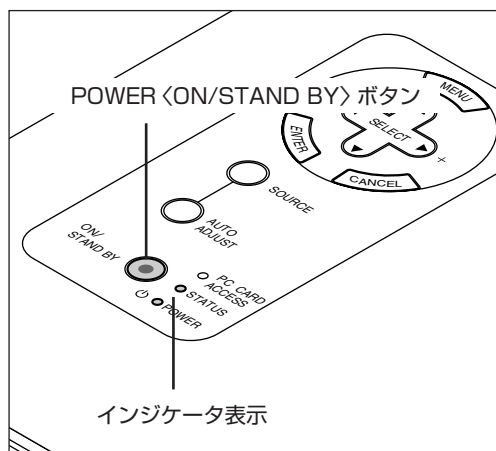
2 プロジェクタ電源の入／切

プロジェクタのPOWER〈ON/STAND BY〉ボタンとリモコンの〈POWER〉ボタンは同じはたらきをします。

電源を入れるとき

プロジェクタのPOWER〈ON/STAND BY〉ボタンを押すと電源が入ります。しばらくすると（約30秒）スクリーンが明るくなります。信号が入力されていないとき工場出荷時は青い画面が表示されます（ブルーバック）。

- ご購入後はじめて電源を入れた場合はスタート画面が表示されます。詳しくは次ページをご覧ください。



【電源ON時のインジケータ表示の流れ】



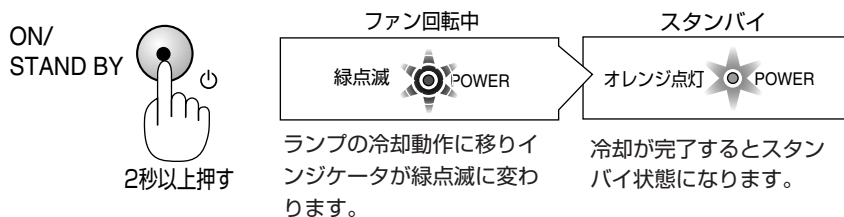
お知らせ

- 電源ON後、ランプが安定して点灯するまで（3～5分）に映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので、故障ではありません。
- ランプモードは「ノーマルモード」「エコモード」の設定に関係なく、電源ON後はノーマルモードで起動します。エコモードに設定している場合は、POWERインジケータが1分間緑色に点滅した後、エコモードに切り換わります。

電源を切るとき

プロジェクタのPOWER〈ON/STAND BY〉ボタンを2秒以上押し続けると「しばらくお待ちください」というメッセージが表示され、しばらくすると電源が切れPOWERインジケータがオレンジ点灯に変わります。

【電源OFF時のインジケータ表示の流れ】



電源コードを抜くときは、POWERインジケータがオレンジ色に点灯していることをご確認ください。

インジケータ表示が上記以外の点滅をしている場合は100ページをご覧ください。

お知らせ

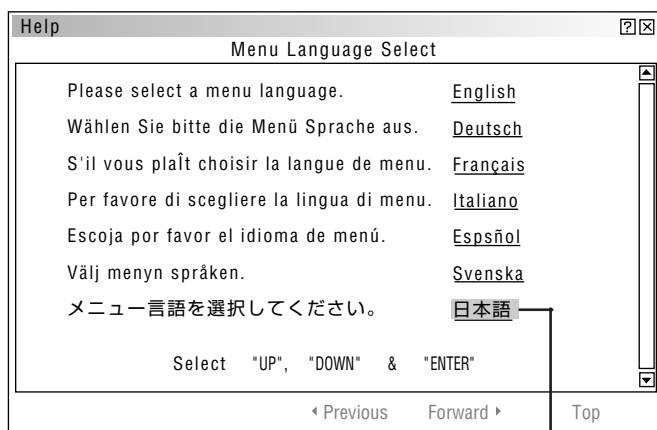
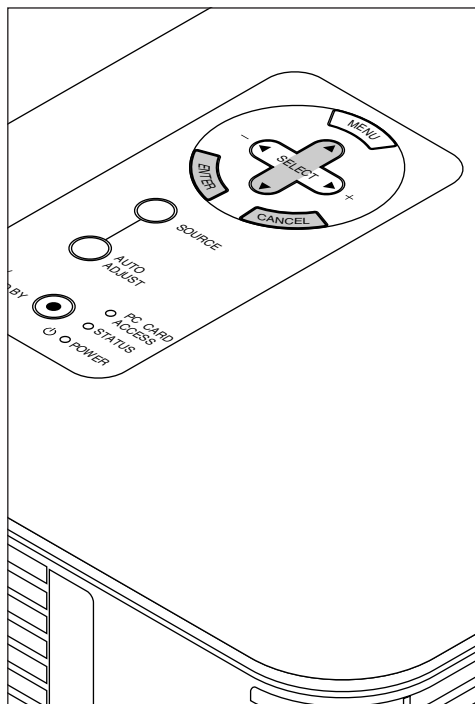
電源が入らないとき

- 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。
- ランプの寿命に到達後100時間を超えて使用した場合は電源が入りません。
- STATUSインジケータが赤点滅（6秒点灯／6秒消灯）、POWERインジケータがオレンジ点灯している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。

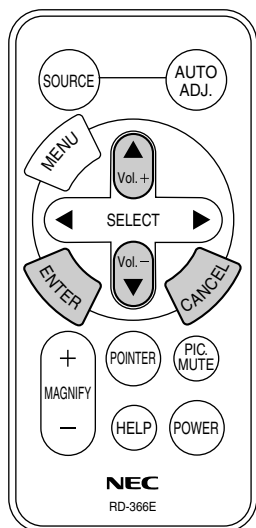
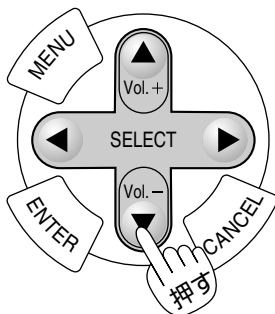
■ 電源を入れたときスタート画面が表示された場合

ご購入後、はじめて電源を入れたときはスタート画面が表示されます。以下の手順に従って、プロジェクトの表示言語を選択してください。

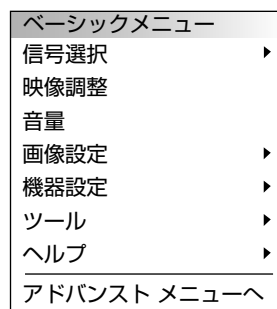
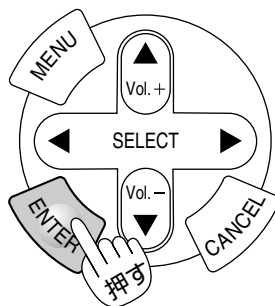
- (1) 本体またはリモコンの〈SELECT ▼〉ボタンを押して緑色のカーソルを【日本語】に合わせます。



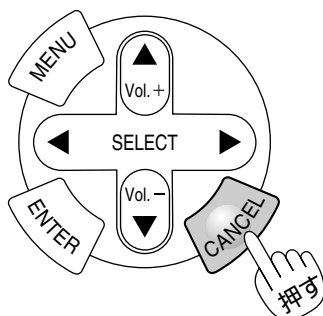
カーソル



- (2) 〈ENTER〉ボタンを押して決定します。
選択した言語でメニューが表示されます。



- (3) メニューを消すには〈CANCEL〉ボタンを押します。

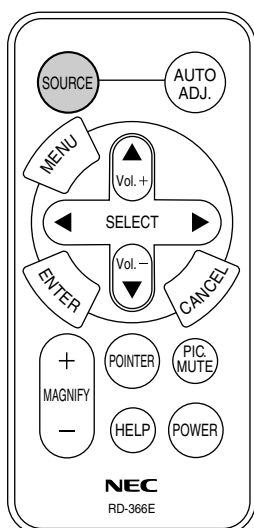
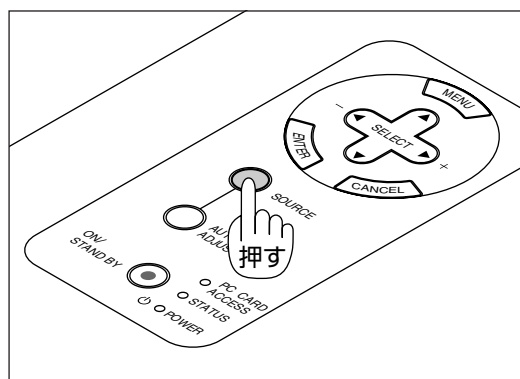


これで、表示言語の選択が完了しました。

投写画面の調整

4 投写画面を調整する

準備：レンズキャップを外し、プロジェクタの電源を入れます。(34ページ参照)
スクリーンに映し出されるまで約30秒かかります。(ランプ照度が安定するまで)



1 パソコンやビデオデッキなど映したい機器の電源を入れる

2 入力を選択する

〈SOURCE〉ボタンをゆっくり押していきます。
押すごとに RGB→ビデオ→Sビデオ→ビューフ と入力が切り換わります。



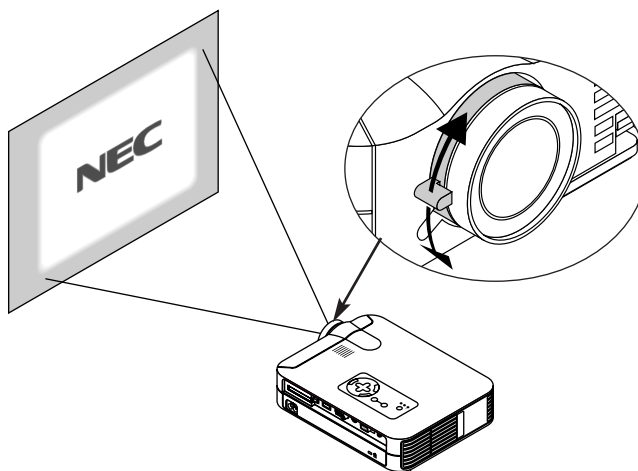
〈VIDEO〉〈S-VIDEO〉〈RGB1〉〈PC CARD〉のボタンから直接入力を選択します。

投写画面になにも映らない

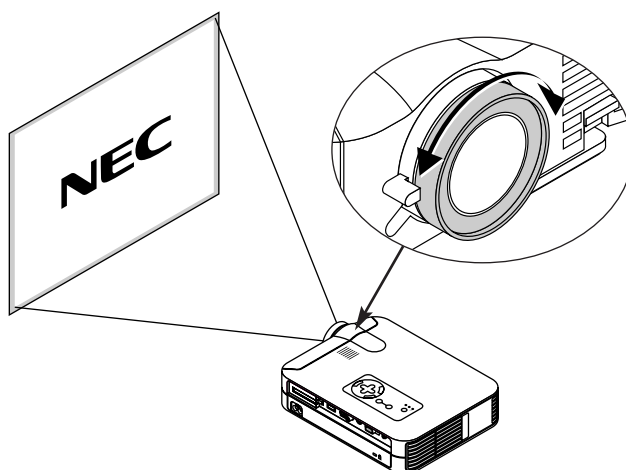
- 入力信号がないとき工場出荷時は青い画面が表示されます(ブルーバック)。ビデオデッキなどは再生操作をしてください。
- パソコンの投写画面が映らない場合は39ページを参照してください。

3 投写画面の位置と画面の大きさを調整する

1. ズームレバーを回して画面の大きさを調整します。

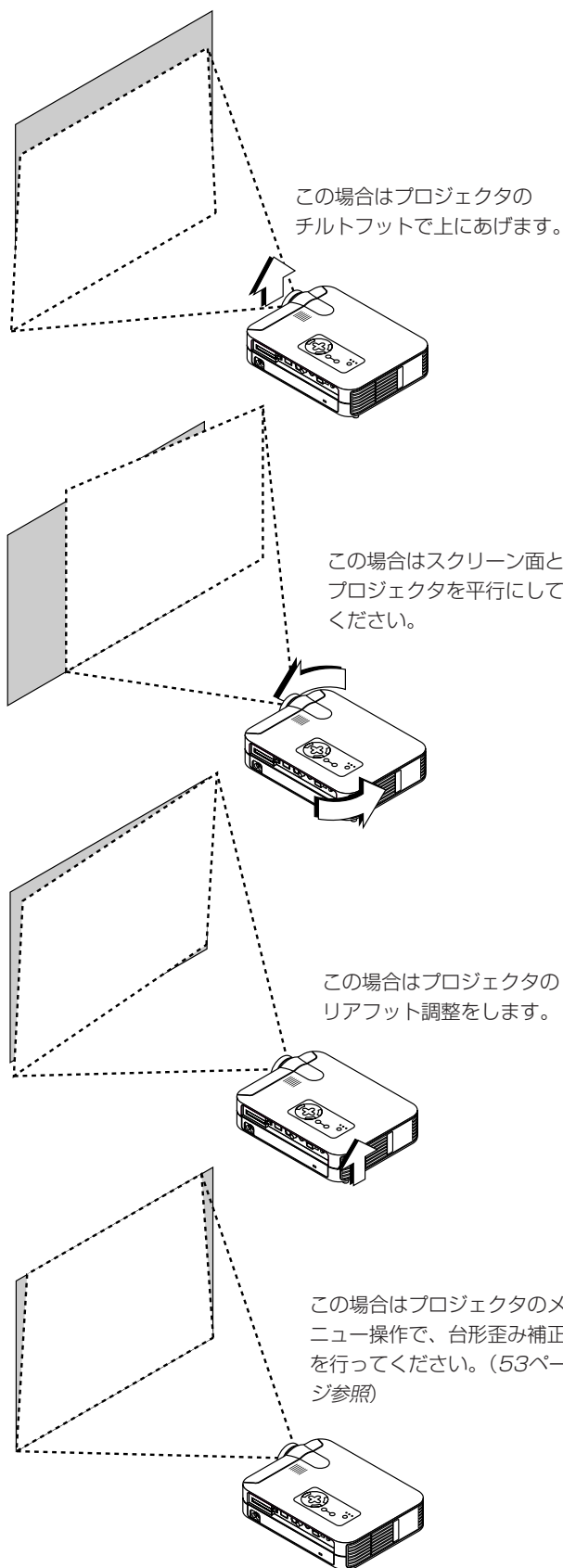


2. フォーカスリングを回して画面のピントを合わせます。



画面の歪みを調整する場合

スクリーンがよじれていたりそっていると投写画面が歪みますので平らに設置されていることをご確認ください。

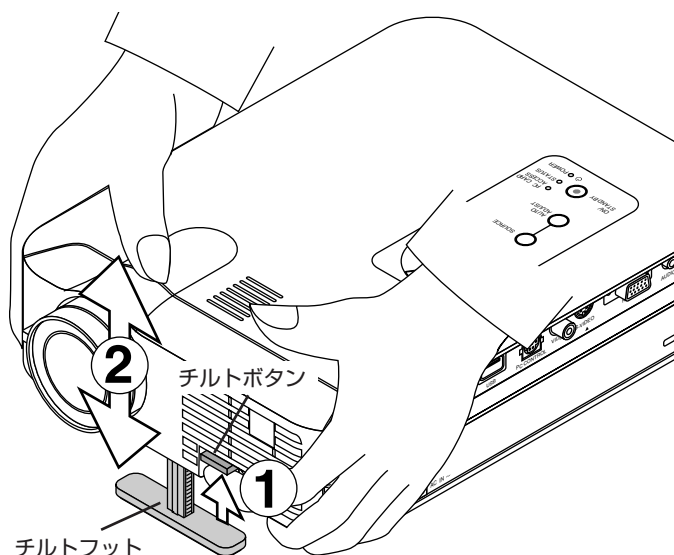


お願い

チルトフットは、プロジェクタの角度調整をする以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり壁にかけて使用などの誤った取り扱いをすると、機器が破損する恐れがあります。

プロジェクタ角度調整のしかた

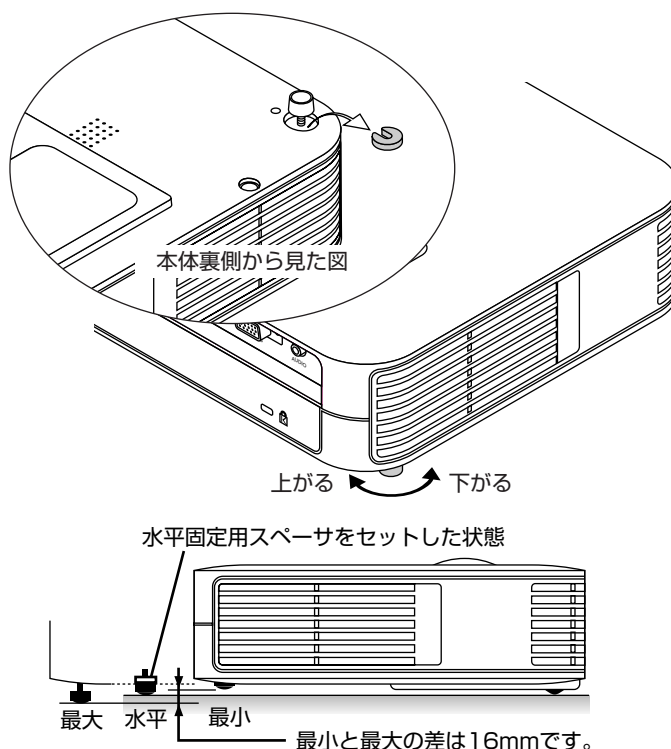
- ①チルトボタンを押した状態（ロックが外れます）で
- ②プロジェクタ前面を持ちあげます。チルトフットが出ます。正しい角度のときにボタンから離します。（ロックされます。）



画面の傾き調整

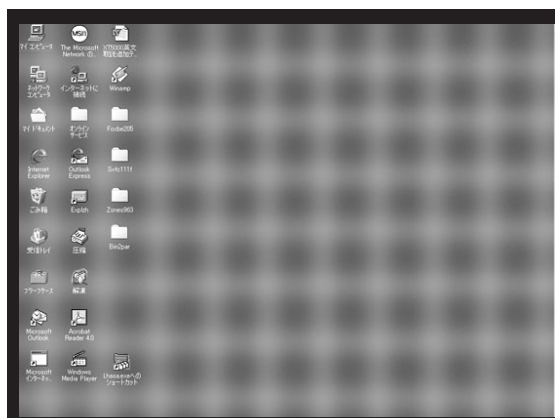
工場出荷時はレンズ正面から見て右側のリアフットに水平固定用スペーサをセットしています（プロジェクタを水平にセットしています）。リアフットを縮めるときは、微調整の前にリアフットを時計方向に回してゆるめ、水平固定用スペーサを外してください。

その後、リアフットを回して調整してください。

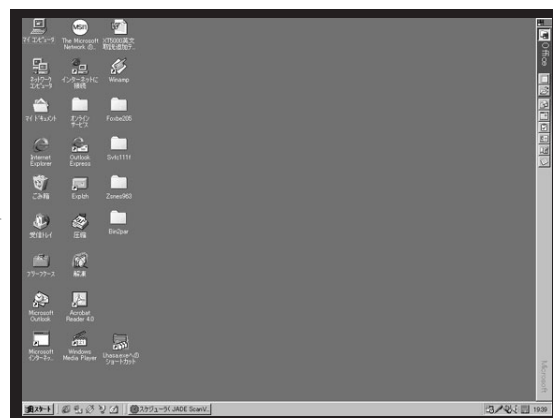
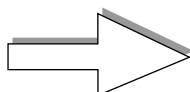


4 パソコンと接続している場合で画面が切れていたり映りが悪い場合表示解像度などを調整します。

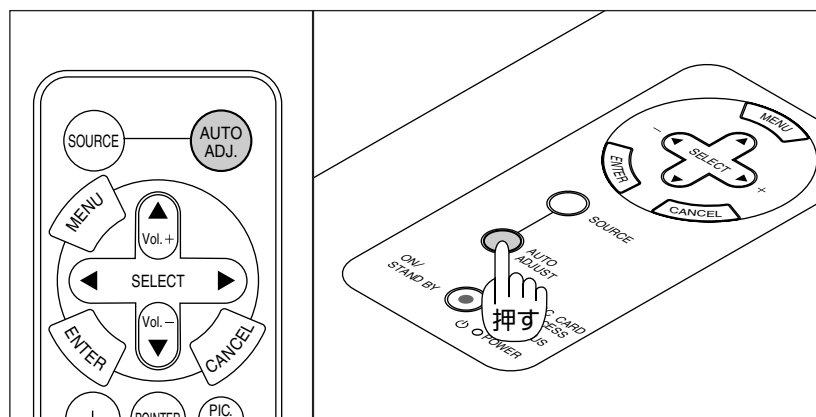
〈AUTO ADJUST〉ボタンを押します。[] アイコンが表示され、しばらくするとパソコンの画面の大きさなどがプロジェクタの投写画面におさまるように自動調整されます。



【映りが悪い画像例】



【正常画像の例】

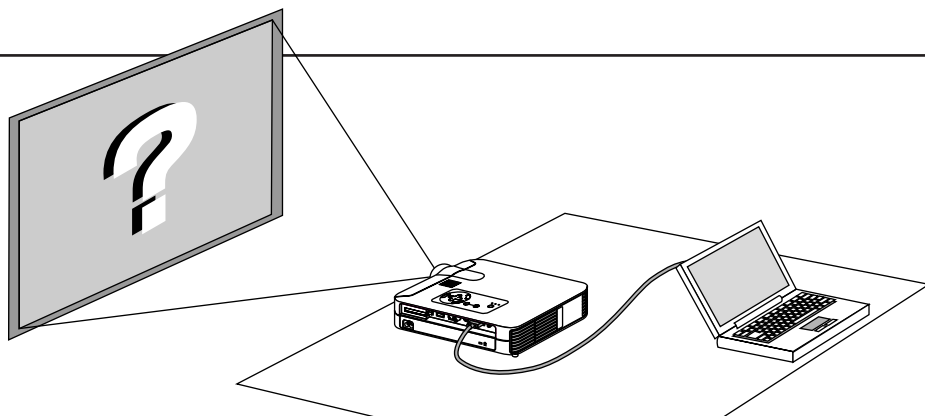


〈AUTO ADJUST〉ボタンで調整しても表示位置がずれていたり、画面に縦じまがでたり映りが悪い場合は、手動で画像調整を行ってください。(55ページ参照)

パソコンの投写映像がうまく映らない場合は39ページをご覧ください。

これでプロジェクタのセッティングが終わりました。

電源を切る場合は34ページの「電源を切るとき」をご覧ください。



■パソコンの投写画面がうまく映らない場合

パソコンを接続して投写する際の、ケーブル接続とパソコン起動の手順や、パソコン起動後の操作など、あらかじめ必要な知識について説明します。うまく映らないという場合にチェックしてみてください。

●パソコンの起動は……

パソコンとプロジェクタを接続してからパソコンを起動してください。

特にノート型パソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

【参考】プロジェクタのメニューの[ヘルプ] → [情報]の水平同期周波数が「0 KHz」表示の時は、パソコンから外部出力信号が出ていません。(78ページ参照)

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノート型パソコンの場合、起動しても、外部出力信号を出力させるために更に操作が必要な場合があります。(ノート型パソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)

【参考】外部出力させる操作の例

- ・ PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機(PC/AT 100%互換機)の場合：
[Fn]キー+「[F1]～[F12]キーのいずれか(機種によって異なります)」を押す。
- ・ Nrシリーズ以降のPC-98ノートの場合：「サスペンドレジューム」スイッチを押す。

●ノート型パソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノート型パソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。多くの場合、ノート型パソコンの制約により同時表示(パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合)の際は、周波数などが標準的規格に合った信号を出力できない場合があります、この際の外部出力信号が、プロジェクタで対応できる範囲の信号から大きくはずれている場合、調整を行っても正常に表示がされない場合があります。そのようなときはノート型パソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする(または液晶パネルを閉じると、このモードになる場合が多い)操作を行うと外部出力信号が標準的規格に合った信号になる場合があります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintoshおよびプロジェクタがサポートしている表示モード以外の設定を、ディップスイッチで設定した場合、表示が乱れたり、なにも表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshをリスタートしてください。その後表示可能なモードに変更して、再度リスタートさせてください。

●PowerBookとプロジェクタを同時に表示させる場合

PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を“切”にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

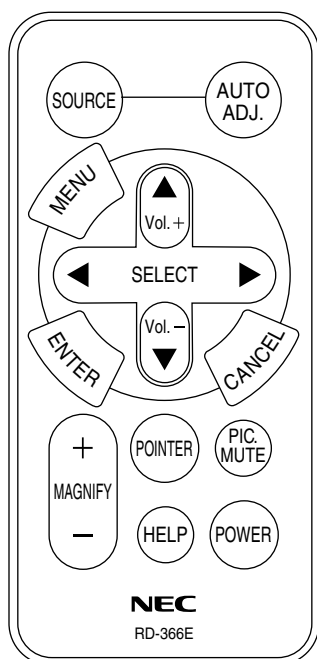
●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

以前に接続していたディスプレイがプロジェクタより高い解像度で使用し、フォルダなどが隅にあった場合は切れたり隠れたりします。このような場合はMacintoshのファインダー画面で「option」キーを押した状態で「ウインドウの整頓」を選択してください。隠れたフォルダが画面内に移動します。

基本操作

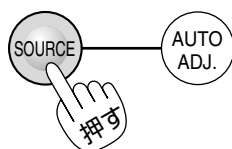
プロジェクタの電源が入っている状態でのボタン操作説明です。

電源のON/OFFは34ページ「プロジェクタ電源の入／切」をご覧ください。



■ 入力を選択

プロジェクタに映す機器の選択で、プロジェクタの入力端子が選択されます。



押すごとに

ビデオ → Sビデオ → ビューワ → RGB と
くり返し変わります。

設定により入力端子表示をしばらく表示します。(62ページ参照)



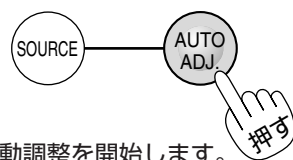
〈VIDEO〉〈S-VIDEO〉〈RGB1〉〈PC CARD〉のボタンから直接入力を選択します。

(プレゼンテーションリモコンのRGB2ボタンは本機では使用しません。また、PC CARDはビューワ選択のことです。)

- 信号が入力されていない場合は、飛び越します。
- DVDプレーヤなどコンポーネント信号の機器をRGB INPUT端子に接続していて正常に映らない場合は、67ページ「信号モードの選択」をご覧ください。

■ 画像を自動調整する

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。



押すと自動調整を開始します。

自動調整する症状は……

表示位置がずれているとき(水平／垂直位置の調整)、縦帯状の明暗が出ているとき(クロック周波数の調整)、極端に色ズレやチラツキが出ているとき(位相、ビデオ帯域フィルタの調整)。

- 画像によっては正しく表示されない場合や信号を切り換えたとき表示までに時間がかかる場合があります。このような場合は手動で画像調整を行ってください。(55ページ参照)
- RGB INPUT端子にコンポーネントを入力している場合は動作しません。

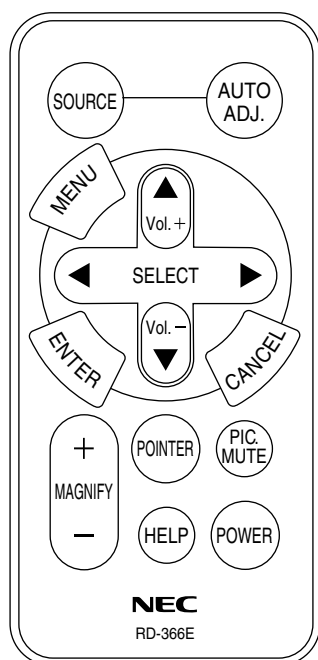
お知らせ

バックグラウンドについて

- 接続機器の電源が切れているときや入力信号がないときは「バックグラウンド」で選択されている画面(ブルーバック／ブラックバック／ロゴ)が映ります。(64ページ参照)

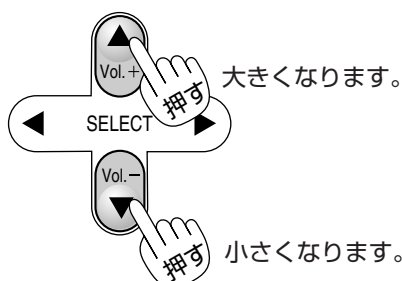
パソコン接続時に画面が映らなくなったとき

- 「パワー・マネージメント」がONに設定されているとき、5分間RGB信号入力がないと自動的にスタンバイ状態になります。
- パソコン接続時、画面に何も映らなくなったときは、パソコンのスクリーンセーバーかパワー・マネージメント機能が働いている可能性もあります。



■ 音量の調整

プロジェクタ内蔵スピーカの音量調整です。
 オンスクリーンメニューやポインタを表示しているときは音量が変わりません。



音量調整表示



メニューやポインタを表示していても〈VOLUME +/−〉ボタンで音量が変わります。

音量調整表示は3秒間ボタン操作がないと閉じます。
 [メニュー設定] の「音量調整バー」が非表示に設定されているときは表示が出ません。
 (63ページ参照)

■ 画像と音声を消去する

画像と音声を一時的に消すときに使用します。(メニュー表示は消去しません)



画像と音声が消えます。
 もう一度押すと画像と音声が出ます。

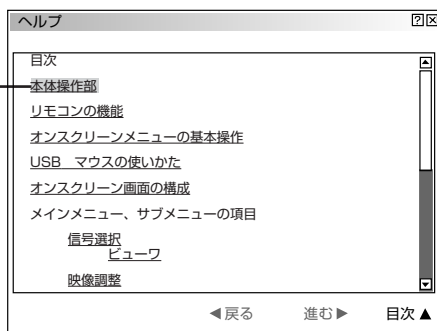
■ プロジェクタの操作説明を見る

メニューの操作方法やプロジェクタの調整/設定方法が書かれています。



目次を表示します。
 各種調整・設定画面を表示しているときは、
 選択している項目のヘルプを表示します。

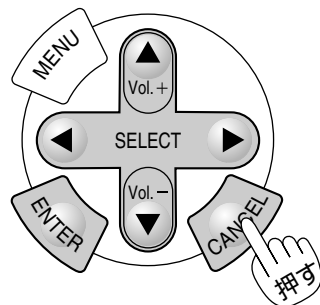
カーソル



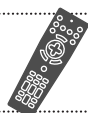
SELECT 〈▲/▼〉ボタンでカーソルが移動し〈ENTER〉ボタンを押すとカーソル位置の項目のページに変わります。

SELECT 〈◀/▶〉ボタンでたどってきたページに戻したり進めたりします。

(詳しくは「ヘルプを見る」77ページをご覧ください。)



ヘルプ表示を終了するには
 〈CANCEL〉ボタンを押します。



〈HELP〉ボタンを押すと、マウス機能のボタンは自動でプロジェクタモードになります。
 10秒間操作をしないとパソコンモードに戻ります。



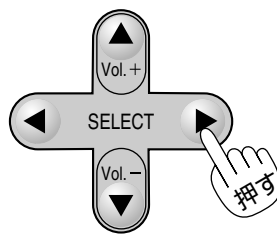
〈POINTER〉ボタンを押すと〈PJ〉ボタンが点灯し、パソコンのマウス機能ボタンがプロジェクタ操作の〈SELECT〉〈CANCEL〉〈ENTER〉に変わります。10秒間ボタン操作をしないと、パソコンのマウス機能のボタンに戻ります。(24ページ参照)

■ポインタを表示／非表示／移動する

投写画面の説明したいところを指すときにポインタを使います。



ポインタを表示します。
もう一度押すと消えます。



ポインタが移動します。

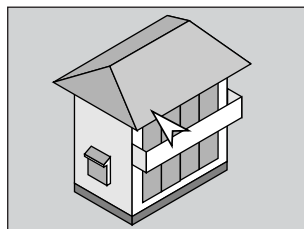


- ポインタの形状はメニューの [メニュー設定] の設定画面で選択できます。(61ページ参照)

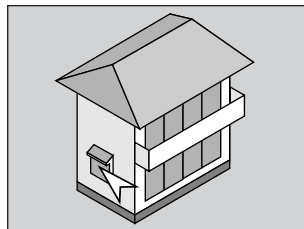
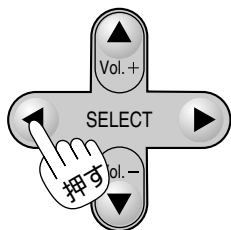
■画像の拡大と移動

目的の部分を最大4倍まで拡大表示できます。

1 ポインタ表示を出す



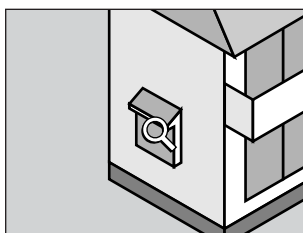
2 拡大したい部分へポインタを移動する



3 拡大する

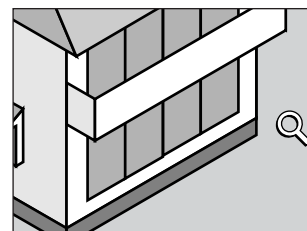


押すごとに画像が拡大します。
ポインタが [Q] に変わりポインタの位置を中心に拡大します。

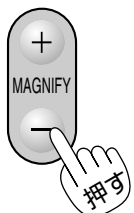


移動するときは……

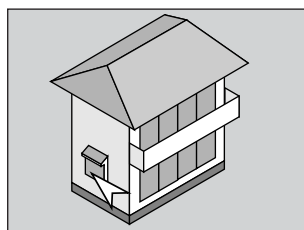
〈SELECT〉ボタンで拡大画像が移動できます。



4 戻す



押すごとに画像が縮小(元に戻す)します。





■投写画面の上下方向の台形歪みを調整する

プロジェクタとスクリーンが斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが生じます。この歪み調整に使用します。

KEYSTONE



+ または - 側を押して
左右が平行になるように
調整します。



- 台形歪補正値を保存しておくことができます。（69ページ参照）
- プロジェクタを水平な面に置いた状態で、 -20 度から $+40$ 度までの範囲で台形補正できます。
（投写角を中心として、デジタル補正 ± 30 度）
ただし、本機の表示画素数より上の解像度の信号を表示した場合、補正可能範囲が狭くなることがあります。
- 台形補正表示は3秒間ボタン操作がないと閉じます。
[メニュー設定] の [台形補正バー] が非表示に設定されているときは表示が出ません。（63ページ参照）



■動画を静止画にする

ビデオ映像などの動画を止めてじっくり見るときに使用します。

FREEZE



静止画になります。
もう一度押すと動画に変わります。

- 〈FREEZE〉 ボタンを押すと静止画メモリに記録した画像を映しますので動画はそのまま進みます。

メニュー機能を使う前に

プロジェクトの調整や設定項目はたくさんあります。目的の調整や設定がすばやくできるように目次を設けて、その中からしぼりこんで探して行く方法をメニュー操作と呼び、画面上に表示しているメニューをオンスクリーンメニューと言います。本機は2モードメニューです。

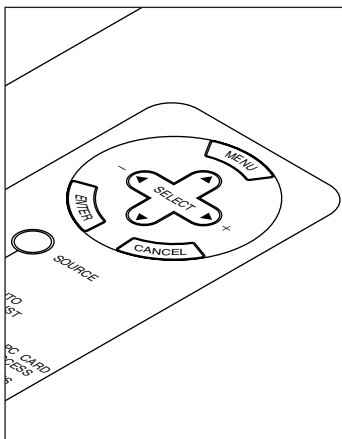
- アドバンストメニュー ……全てのメニュー項目を表示します。
- ベーシックメニュー ……お客様独自のメニュー項目を表示します。工場出荷時は基本的なメニュー項目が登録されています。登録内容を変えるには、59ページ「ベーシックメニューを編集する」をご覧ください。

オンスクリーンメニューの基本操作

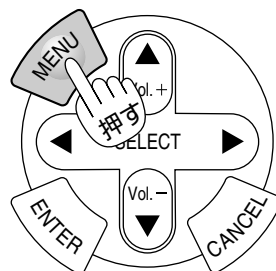
メニュー操作の選択や確定などのしかたを説明しています。ここではベーシックメニュー（工場出荷時状態）で説明しています。

■メニュー選択のしかた

1 メニューを表示する



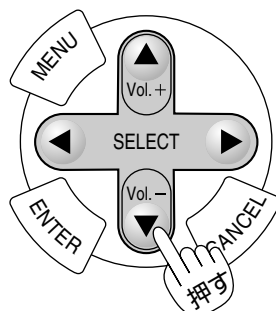
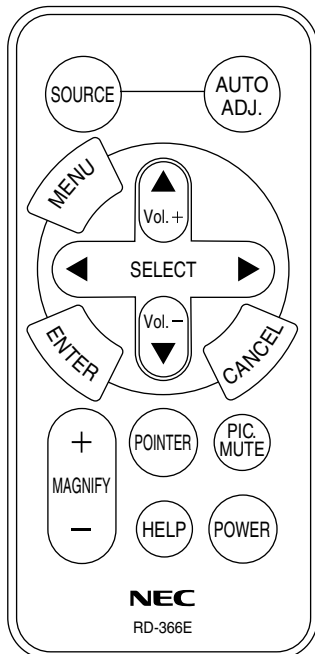
リモコンはプロジェクトのリモコン受光部に向けて操作してください。



ベーシックメニュー	
信号選択	▶
映像調整	
音量	
画像設定	▶
機器設定	▶
ツール	▶
ヘルプ	▶
アドバンストメニューへ	

- 〈MENU〉ボタンを押してから10秒間（工場出荷時）操作をしないとメニューが自動的に消えます。
- 〈MENU〉ボタン、〈ENTER〉ボタン、〈CANCEL〉ボタン、〈SELECT ◀/▶〉ボタンのいずれかを押すと、消える前に表示していた状態のメニューが表示されます。
- 時間は〔機器設定〕→〔メニュー設定〕の設定画面の〔表示時間〕で選択できます。（62ページ参照）

2 メニュー項目を選ぶ



カーソル

ベーシックメニュー	
信号選択	▶
映像調整	
音量	
画像設定	▶
機器設定	▶
ツール	▶
ヘルプ	▶
アドバンストメニューへ	

サブメニュー

台形補正

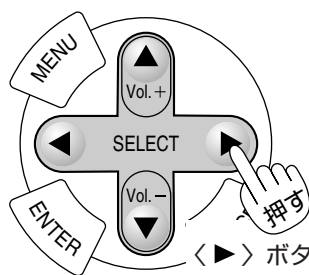
- 〈SELECT ▼/▲〉ボタンを押すとカーソルが出ます。
- 〈SELECT ▼/▲〉ボタンでカーソルを移動してメニュー項目を選択します。

- [▶] のあるメニュー項目はサブメニューがあることを示します。カーソルを合わせるとサブメニューを表示します。
- [▶] の無い項目は〈ENTER〉ボタンを押すと調整画面／設定画面の表示に変わります。（〈SELECT ▶〉ボタンを押しても調整画面／設定画面に変わります。）
- 白文字の項目は選択できません。

お知らせ

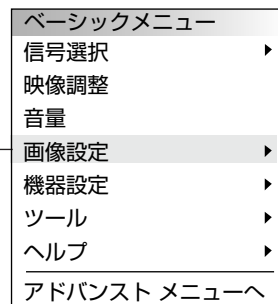
インターレース信号の動画を映しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、画面が乱れる場合があります。

3 サブメニューの項目を選ぶ



サブメニューに移すと
グレイになります。

〈▶〉ボタンを押すとサブメニューの
項目が青色になります。



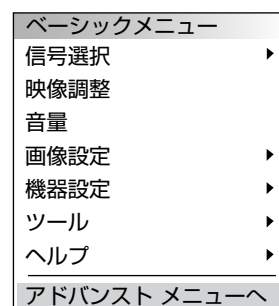
ここが青色のとき選択できます。

台形補正

青色を確認してから〈SELECT▼/▲〉ボタンでサブメニュー項目を選択します。

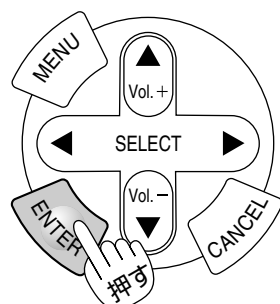
さらに〔▶〕のある項目は第2サブメニューを表示します。

ベーシックメニューをアドバンス
トメニューに変えるには……



〈SELECT▼/▲〉ボタンで [アドバ
ンストメニューへ] を選択してから
〈ENTER〉ボタンを押してください。

4 項目を決定する



【調整表示例】台形補正



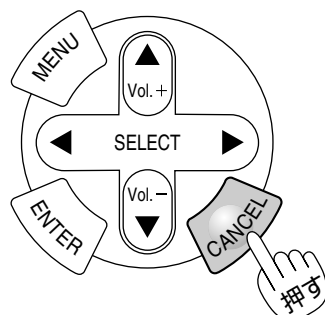
〈ENTER〉ボタンを押すと決定され、目的の設定表示や調整表示に変わります。

- 〈SELECT▶〉ボタンを押しても同じ動作をします。

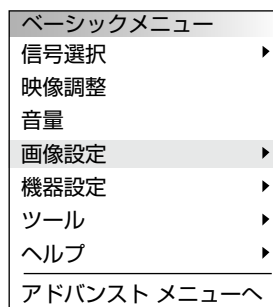
設定表示・調整表示の使いかたは次ページをご覧ください。

5 終了する

設定や調整終了後は、メニュー表示に戻ります。

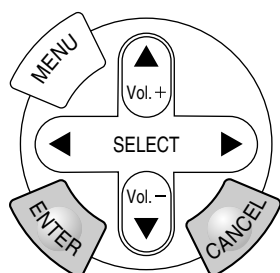


〈CANCEL〉ボタンを押すとメニューが閉じます。
押すごとに、サブメニュー、メニューと閉じます。



台形補正

メニューを表示しているときの〈CANCEL〉ボタンと〈ENTER〉ボタンの働き



〈CANCEL〉ボタン …… メニューを閉じます。

〈ENTER〉ボタン …… 項目を選択します。

■ 設定・調整のしかた

【調整表示例】

いくつも項目のある調整表示での項目の選択は〈SELECT ▼／▲〉ボタンで行います。図は「コントラスト」が選択されています。

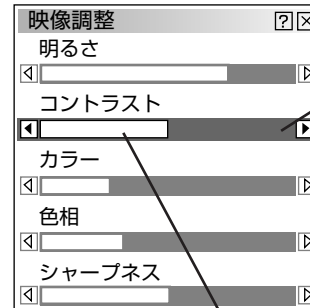
〈SELECT ◀／▶〉ボタンで調整します。

「コントラスト」調整表示例では

〈SELECT ◀〉ボタンを押し続けると映像が淡くなります（調整バーが短くなります）。

〈SELECT ▶〉ボタンを押し続けると映像が濃くなります（調整バーが長くなります）。

【調整表示例】



標準調整の位置のときのみ緑色になります。

※映像調整表示項目は、入力の信号によって異なります。（52ページ参照）

調整バー

【設定表示例 1】

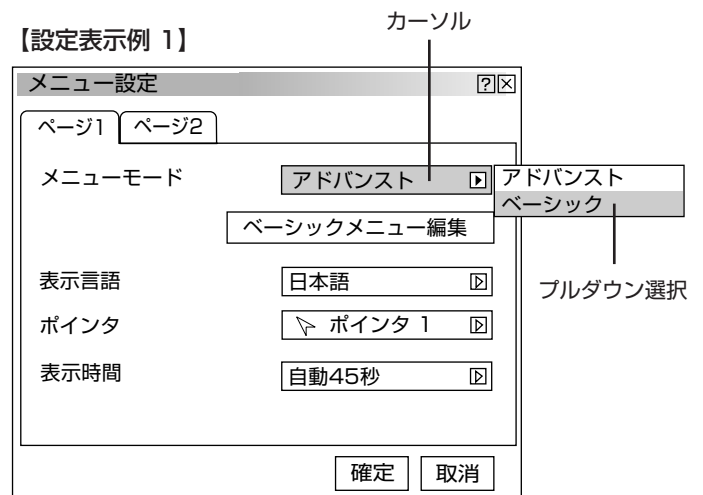
項目の選択は〈SELECT ▼／▲〉ボタンで行います。押すごとにカーソルが次の項目に移ります。

プルダウン選択

〈SELECT ▶〉ボタンを押すとプルダウンリストを表示します。

〈SELECT ▼／▲〉ボタンで内容を選択し〈ENTER〉ボタンを押します。

【設定表示例 1】



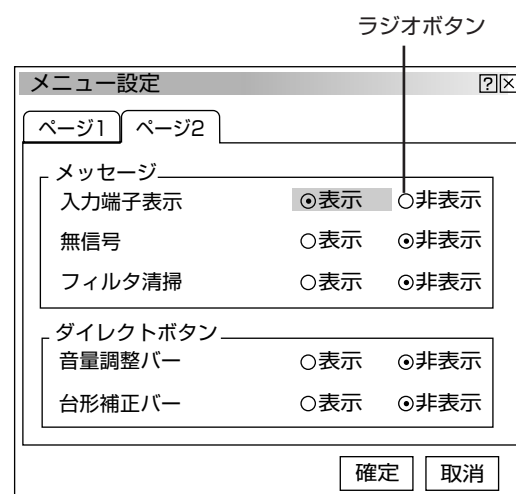
カーソル

プルダウン選択

ラジオボタンの選択

どれか1つが選択できる設定がラジオボタン (●) です。カーソルがラジオボタン選択の項目に移ると現在設定されている内容にカーソルが移動します。

〈SELECT ◀／▶〉ボタンで目的の内容にカーソルを合わせると同時に (●) のラジオボタンが付きます。



ラジオボタン

【設定表示例 2】

ページタブ

数ページの設定項目がある場合に表示されます。

〈SELECT▼／▲〉ボタンを数回押してページタブにカーソルを合わせます。

〈SELECT◀／▶〉ボタンで目的のページにカーソルを合わせるとページが切り換わります。

チェックボタン

いくつも選択できる設定がチェックボタン（✓）です。

〈SELECT▼／▲〉ボタンを押してチェック項目にカーソルを合わせます。設定したい箇所まで〈ENTER〉ボタンを押すとチェックマークが入ります（チェックマークが入っている場合は消えます）。

設定ボタン

ボタンにカーソルを合わせて〈ENTER〉ボタンを押すとさらに設定表示が出ます。

〈SELECT▼／▲〉ボタンで項目を選択します。

確定ボタン

設定内容を確定する場合に使います。

〈SELECT▼／▲〉ボタンを数回押してカーソルを「確定」に合わせ、〈ENTER〉ボタンを押すと設定内容を確定し、メニュー表示に戻ります。

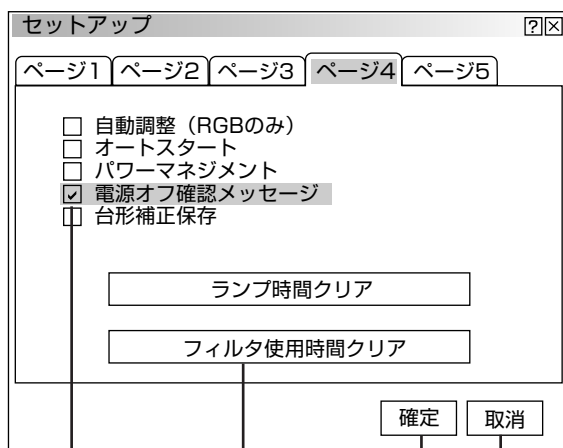
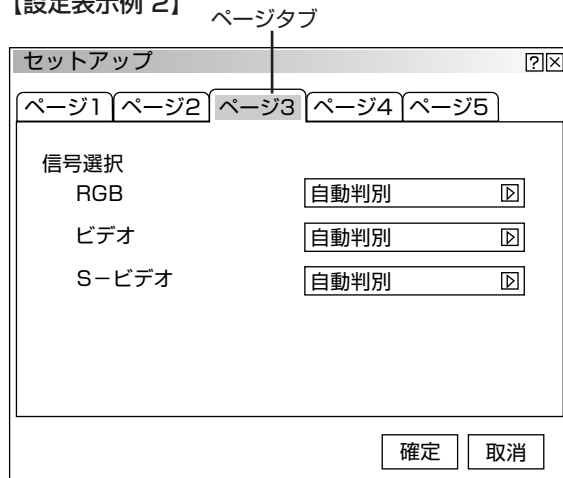
取消ボタン

設定内容を取り消す場合に使います。

〈SELECT▼／▲〉ボタンを数回押してカーソルを「取消」に合わせ、〈ENTER〉ボタンを押すと設定内容を取り消しメニュー表示に戻ります。

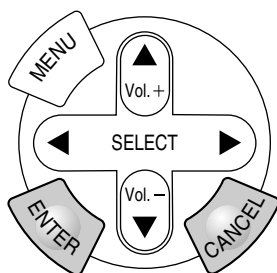
〈CANCEL〉ボタンを押しても同じ動作をします。

【設定表示例 2】



チェックボタン 設定ボタン 確定ボタン 取消ボタン

調整／設定画面を表示しているときの〈CANCEL〉ボタンと〈ENTER〉ボタンの動き



〈CANCEL〉ボタン

調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

〈ENTER〉ボタン

調整値／設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

オンスクリーンメニュー一覧

オンスクリーンメニューのアドバンストメニュー内容の一覧です。

信号によっては調整できない項目があります。その場合は白文字で表示されます。

アドバンストメニュー	
信号選択	▶
映像調整	—
音量	—
画像設定	▶
カラーマネージメント	▶
機器設定	▶
ツール	▶
ヘルプ	▶

(50ページ参照)

☒ RGB
 ビデオ
 S-ビデオ
 ビューワ

台形補正 —
 ランプモード —
 詳細設定 ▶
 データリセット —

ガンマ補正 —
 カラーマトリクス —
 ホワイトバランス —

メニュー設定 —
 セットアップ —

キャプチャ
 ファイル選択
 チョークボード

目次 —
 情報 —

は調整表示や設定表示の内容を示します。

(明るさ/コントラスト/カラー/色相/シャープネス) 調整表示 (52ページ参照)
入力信号 (RGB,コンポーネント,ビデオ) により表示が異なります。

音量調整表示 (52ページ参照)

台形補正 調整表示 (53ページ参照)

ノーマルモード/エコモード (53ページ参照)

アスペクト	ノーマル/ズーム/ワイドズーム/シネマ	(54ページ参照)
ノイズリダクション	オフ/弱/中/強	(54ページ参照)
位置・周波数	(水平/垂直/クロック周波数/位相) 調整表示	(55ページ参照)
解像度	フル/リアル	(56ページ参照)
ビデオ帯域フィルタ	動作/非動作	(56ページ参照)

全データ/表示中の信号 (57ページ参照)

ノーマル/ナチュラル1/ナチュラル2 (58ページ参照)

マトリクス選択 (HDTV/SDTV) (58ページ参照)

マトリクスタイプ (B-Y/R-Y/Cb/Cr/Pb/Pr)

(明るさR/明るさG/明るさB/コントラストR/コントラストG/コントラストB) 調整表示 (58ページ参照)

ページ1	メニューモード (アドバンスト/ベーシック)	(59ページ参照)
	ベーシックメニュー編集	(59ページ参照)
	表示言語 (English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語)	(61ページ参照)
	ポインタ (ポインタ1 / / ポインタ8)	(61ページ参照)
	表示時間 (手動/自動5秒/自動15秒/自動45秒)	(62ページ参照)
ページ2	メッセージ	入力端子表示 (表示/非表示)、無信号 (表示/非表示) (62ページ参照)
		フィルタ清掃 (表示/非表示) (63ページ参照)
	ダイレクトボタン	音量調整バー (表示/非表示)、台形補正バー (表示/非表示) (63ページ参照)
ページ1	投写方法 (デスク/フロント / 天吊り/リア / デスク/リア / 天吊り/フロント)	(64ページ参照)
	シネマポジション (上端/中央/下端)	(64ページ参照)
	バックグラウンド (ブルーバック/ブラックバック/ロゴ)	(64ページ参照)
	マウス設定	ボタン設定 (右手用/左手用) (65ページ参照)
		スピード設定 (高速/標準/低速) (65ページ参照)
ページ2	ビューワオプション	フォルダー覧 (On/Off) (65ページ参照)
		自動再生/手動再生 (66ページ参照)
		間隔 (5~300秒) (66ページ参照)
	キャプチャオプション (高品質/標準/高圧縮)	(66ページ参照)
ページ3	信号選択 RGB (自動判別/RGB/コンポーネント)	(67ページ参照)
		ビデオ (自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL60/SECAM) (67ページ参照)
		S-ビデオ (自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL60/SECAM) (67ページ参照)
ページ4	自動調整 (RGBのみ) (On/Off)	(68ページ参照)
	オートスタート (On/Off)	(68ページ参照)
	パワーマネージメント (On/Off)	(68ページ参照)
	電源オフ確認メッセージ (On/Off)	(69ページ参照)
	台形補正保存 (On/Off)	(69ページ参照)
	ランプ時間クリア	(70ページ参照)
	フィルタ使用时间クリア	(70ページ参照)
ページ5	通信速度 (4800 / 9600 / 19200 / 38400)	(71ページ参照)
	初期入力選択 (ラスト/自動/指定)	(71ページ参照)
		(RGB/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ)
	本体キーロック (有効/無効)	(72ページ参照)

ヘルプの目次表示 (77ページ参照)

ページ1 信号名・入力端子・水平同期周波数・垂直同期周波数・同期極性 (78ページ参照)

ページ2 信号形式・ビデオ標準・同期形態・インターレース・解像度

ページ3 アスペクト・ガンマ補正・ノイズリダクション・カラーマトリクス・マトリクスタイプ

ページ4 ランプ残量・ランプ使用时间・フィルタ使用时间・機器使用时间

入力選択

調整するときは、目的のパソコンの画像やビデオデッキの映像をプロジェクタに映した状態で行ってください。

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

✓ RGB

ビデオ

S-ビデオ

ビューフ

■入力信号の選択【RGB／ビデオ／S-ビデオ／ビューフ】

プロジェクタの入力端子を選択します。

- 現在選択されている入力端子には✓マークを表示します。
- ビューフの使いかたは82ページをご覧ください。

RGB

RGB INPUT 端子に接続している機器の映像を映します。
この端子と接続しているコンポーネント入力信号もRGBを選択してください。(67ページ参照)

ビデオ

VIDEO端子に接続している機器の映像を映します。

S-ビデオ

S-VIDEO端子に接続している機器の映像を映します。

ビューフ

ビューフのスライドを映します。(87ページ参照)

✓ RGB

ビデオ

S-ビデオ

ビューフ

■ビューフツールバーの名称とはたらき

【ビューフ】を選択するとビューフを表示します。(ビューフツールバーを表示するには、リモコンでは〈MENU〉ボタン、USBマウスでは右クリックボタンを押します。)

お知らせ

- 【ビューフ】選択後の動作は【セットアップ】の設定画面の【ページ2】のビューフオプションで設定されている内容で動作します。(65ページ参照)
- ビューフで再生できる画像は、ビューフ専用ソフトウェア「PC Card Viewer Utility 1.0」で作成されたスライド(.idx)、本機でキャプチャした画像、デジタルカメラで撮影された画像(対応フォーマットはJPEG, BMP)です。

ビューフツールバー



カーソル

ビューフツールバーの選択

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで目的のアイコンにカーソルを合わせ、〈ENTER〉ボタンを押します。

USBマウス使用時は左クリックで動作します。

アイコンのはたらき

プレゼンテーションリモコンのボタンでの操作は、ビューフの使いかたをご覧ください。
リモコンから直接操作できます。



移動

USBマウス接続時には青色の所を左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できます。(リモコンでは移動できません。)



逆送り

再生画面／スライド一覧／フォルダー一覧画面が前に戻ります。



順送り

再生画面／スライド一覧／フォルダー一覧画面が次に進みます。



再生

ビューワオプションの自動再生／手動再生の設定により再生を行います。
手動再生の場合は次の画面に進みます。
スライド一覧画面の場合は、選択しているスライドから、フォルダー一覧画面の場合は選択しているフォルダの始めから再生します。



停止

自動再生の場合は再生を強制的に停止します。



スライド一覧

再生画面のときは、1つのフォルダのスライドを縮小して一覧表示します。
フォルダー一覧画面のときは、選択されているフォルダのスライドを縮小して一覧表示します。

【例】Aフォルダ内のスライドを表示
(最大12スライドを表示)

A-1	A-2	A-3	A-4
A-5	A-6	A-7	A-8
A-9	A-10	A-11	A-12
01:0001/0012			

インデックス表示

インデックス表示の意味

選択しているスライド番号

01:0001/0012



フォルダー一覧

フォルダインデックスの一覧を表示します。
フォルダインデックスの最初のスライドを縮小して一覧表示します。

【例】コンパクトフラッシュカード
内のフォルダを表示
(最大12フォルダを表示)

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
I-1	J-1	K-1	L-1
01:0001/0012			

選択しているスライドが入っているフォルダ番号

フォルダ内の全スライド数



設定

ビューワオプションの設定画面を表示します。
ビューワ再生時の設定を変える場合に使います。設定のしかたは65ページをご覧ください。

セッティング

ページ1

ページ2

ページ3

ページ4

ページ5

ビューワオプション

☐ フォルダ一覧

☐ 自動再生

☒ 手動再生

間隔

☐ 15 秒

キャプチャオプション

高品質

確定

取消



削除

キャプチャ専用フォルダの画像が削除できます。
スライド一覧画面時…選択している画面を削除します。
フォルダー一覧画面時…キャプチャ専用フォルダ内の全画像を削除します。



表示

ビューワツールバーを閉じます。
リモコンの〈CANCEL〉ボタンも同じです。
再表示するときはリモコンの〈MENU〉ボタンを押します。
USBマウス使用時は、右クリックで再表示します。



ビューワツールバーの表示中にメニューを表示させる場合

- ビューワツールバー表示中に〈MENU〉ボタンを押すと、ビューワツールバー表示を閉じてメニューを表示します。再び〈MENU〉ボタンを押すとビューワツールバー表示に戻ります。
- ビューワの使用をやめるには、〈SOURCE〉ボタンまたはメニューより他の入力を選んでください。

映像調整・音量調整

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■映像の調整【明るさ・コントラスト・カラー・色相・シャープネス】

調整は目的の映像を映してから行ってください。現在の入力選択で調整できる項目を表示します。

入力信号（RGB、コンポーネント、ビデオ）により表示が異なります。（調整できない項目は白文字になります。）

【例 コントラスト選択】



標準調整位置は緑色に変わります。

調整バーの長さが変わります。

映像調整項目は〈SELECT▲／▼〉で選択します。選択された項目は明るくなります。

〈SELECT◀／▶〉ボタンで調整します。

明るさ 〈SELECT▶〉ボタンを押すと明るくなります。
〈SELECT◀〉ボタンを押すと暗くなります。

コントラスト 〈SELECT▶〉ボタンを押すと映像が濃くなります。
〈SELECT◀〉ボタンを押すと映像が淡くなります。

カラー 〈SELECT▶〉ボタンを押すと色が濃くなります。
〈SELECT◀〉ボタンを押すと色が淡くなります。

色相 〈SELECT▶〉ボタンを押すと緑みがかかります。
〈SELECT◀〉ボタンを押すと赤みがかかります。

シャープネス 〈SELECT▶〉ボタンを押すとくっきりした映像になります。
〈SELECT◀〉ボタンを押すと柔らかい映像になります。

■音量の調整【音量】

プロジェクタの内蔵スピーカの音量調整です。プロジェクタのAUDIO端子に接続している音声入力の音量調整ができます。



調整バーの長さが変わります。

〈SELECT◀／▶〉ボタンで音量調整ができます。

〈SELECT▶〉ボタンを押すと音が大きくなります。

〈SELECT◀〉ボタンを押すと音が小さくなります。

- 入力端子ごとに調整できます。
- 工場出荷時は最小に設定されています。
- 音量調整バーは、〈SELECT▲／▼〉ボタンで直接表示させることもできます。（63ページ参照）



内蔵スピーカの音声について

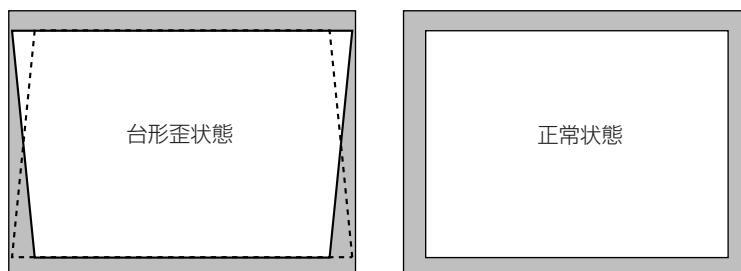
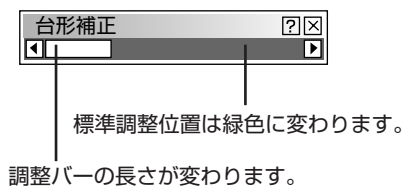
- 入力を切り換えてもAUDIO端子（IN）に接続されている機器の音声が出ます。

調整するときは、目的のパソコンの画像やビデオデッキの映像をプロジェクタに映した状態で行ってください。

■上下方向台形歪みの調整【台形補正】

プロジェクタ設置時にプロジェクタとスクリーンが斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが生じます。この歪み調整に台形補正を使います。

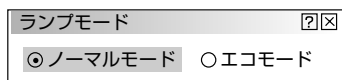
〈SELECT ◀/▶〉ボタンで左右が平行になるように調整します。



- 台形歪補正值を保存しておくことができます。（69ページ参照）
- プロジェクタを水平な面に置いた状態で、-20度から+40度までの範囲で台形補正できます。（投写角を中心として、デジタル補正±30度）
ただし、本機の表示画素数より上の解像度の信号を表示した場合、補正可能範囲が狭くなることがあります。

■ランプモードの選択【ランプモード】

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや暗い室内で映す場合に使います。



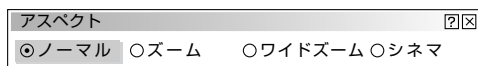
〈SELECT ◀/▶〉ボタンでノーマルモードまたはエコモードを選択します。

- ノーマルモード …ランプの輝度が100%になります。
明るい画面になります。
- エコモード ………ランプの輝度が約80%になります。
ランプ寿命がのびます。

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

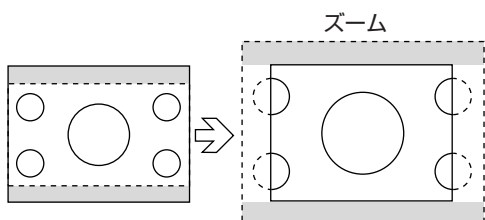
■表示モードの選択【アスペクト】

画面サイズの設定です。

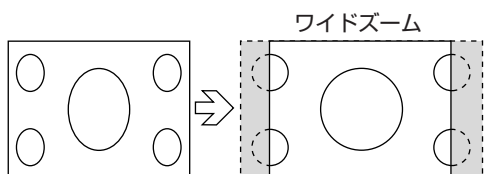


〈SELECT ◀/▶〉ボタンで目的のアスペクトを選択します。

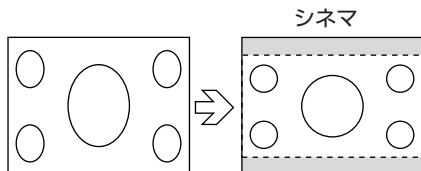
- **ノーマル** ……通常の画面サイズです。(4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映します。)



- **ズーム** ……画面サイズを広げます。(16：9のレターボックス信号入力時、水平・垂直方向を4：3の画面サイズに広げて映します。)



- **ワイドズーム** ……水平振幅を広げます。(16：9のスクイーズ信号入力時、水平方向を4：3の画面サイズに広げて映します。)

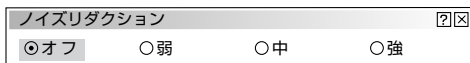


- **シネマ** ……垂直振幅を縮めます。(16：9のスクイーズ信号入力時、16：9の画面サイズに圧縮して映します。)

■ノイズを低減する【ノイズリダクション】

映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで目的の設定を選択します。



- **オフ** ……ノイズリダクションを切ります。

- **弱** ……
- **中** ……輝度信号のノイズリダクションの強さを3段階から選択します。
- **強** ……

■画像の表示位置と周波数の調整【位置・周波数】

画面の表示位置とRGB信号の画素ズレを調整します。

RGB入力の場合、[自動調整]を設定していると白文字になり選択できません。
手動に切り換えてください。(68ページ参照)

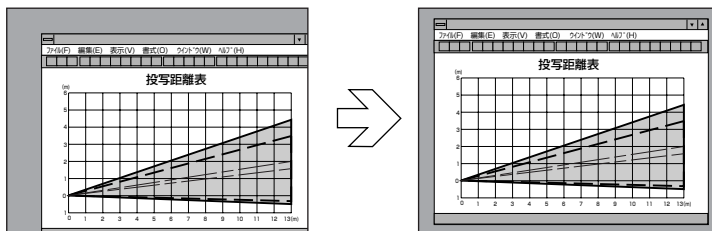
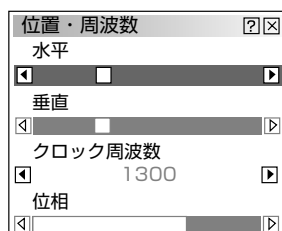
〈SELECT▲／▼〉ボタンで調整する項目を選択します。選択すると調整バーが
明るくなります。

〈SELECT◀／▶〉ボタンで調整します。

画面表示位置の調整

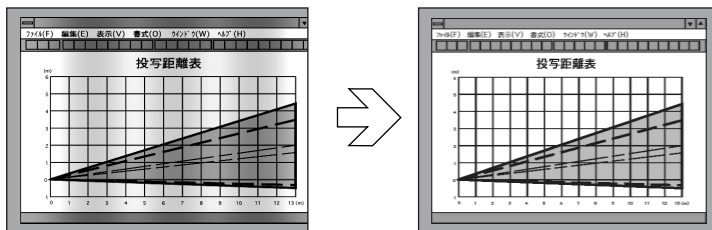
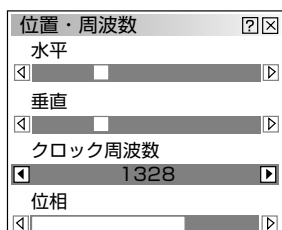
〈SELECT◀／▶〉ボタンを押して画面の中心に移動させます。

[水平] は画面が水平方向に移動します。[垂直] は画面が垂直方向に移動します。



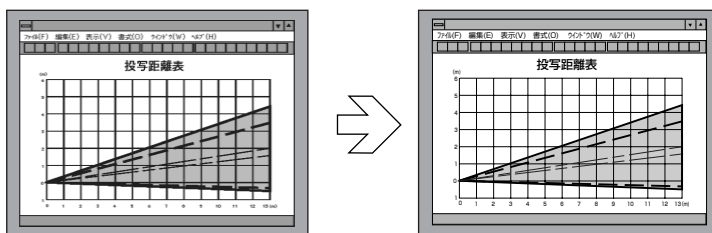
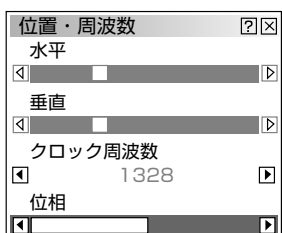
クロック周波数の調整

〈SELECT◀／▶〉ボタンを押して画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が
出なくなる）ところが最適な調整です。



位相の調整

〈SELECT◀／▶〉ボタンを押して画面の色ズレ、ちらつきの最小になるところが
最適な調整です。



- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■アドバンスド・アキュブレンドの選択【解像度】

本機でのRGB信号の表示画素数は、1024×768ドットです。
この表示画素数以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。アドバンスド・アキュブレンド機能で補正します。
この機能のON/OFFの選択です。

RGB入力の場合、[自動調整]を設定していると白文字になり選択できません。
手動に切り換えてください。(68ページ参照)

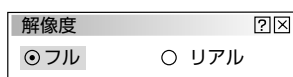
〈SELECT ◀/▶〉ボタンでフルまたはリアルを選択します。

- ◎ **フル**……………アドバンスド・アキュブレンド機能を入れます。
投写中の信号（VGA, SVGA, XGA, SXGA, UXGA）によらず、プロジェクタが自動的に拡大・縮小してフル画面で表示します。

- ◎ **リアル**……………アドバンスド・アキュブレンド機能を切ります。
投写中の信号解像度がプロジェクタの表示画素数より下の解像度（VGA／SVGAなど）の場合、オリジナルサイズで縮小表示されます。



本機の表示画素数より上の解像度（SXGA/UXGA など）の信号を表示した場合は、[リアル]を選択してもフル（表示画素数）で表示されます。



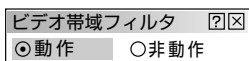
■映像フィルタの設定【ビデオ帯域フィルタ】

映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減させます。
工場設定では、あらかじめ信号毎に適した状態に設定されています。
信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

RGB入力の場合、[自動調整]を設定していると白文字になり選択できません。
手動に切り換えてください。(68ページ参照)

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで選択します。

- ◎ **動作** ……………フィルタがかかります。
- ◎ **非動作** ……………フィルタが切れます。

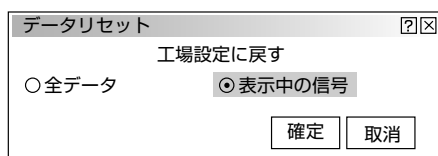


■調整データのリセット【データリセット】

プロジェクトに記録された全調整・設定値または表示中の信号について調整した調整値を初期値に戻します。

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで全データまたは表示中の信号を選択し、〈SELECT ▲/▼〉ボタンでカーソルを〔確定〕に合わせて〈ENTER〉ボタンを押します。リセットの動作中は  アイコンを表示します。

- ◎ **全データ**…………… 表示中以外の信号を含め、各信号ごとに調整・設定した全ての調整・設定値が工場設定値になります。



リセットされるデータ

〔表示言語〕・〔通信速度〕・〔ランプ残量〕・〔ランプ使用時間〕・〔フィルタ使用時間〕・〔機器使用時間〕以外の全ての調整・設定値（ランプ使用時間をクリアするには70ページをご覧ください）

- ◎ **表示中の信号**… 表示中の信号について調整した調整値が工場設定値になります。

リセットされるデータ

明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス／アスペクト／ノイズリダクション／水平位置／垂直位置／クロック周波数／位相／解像度／ビデオ帯域フィルタ／ガンマ補正／カラーマトリクス／ホワイトバランス

取り止めるとき

〈SELECT ▲/▼〉ボタンでカーソルを〔取消〕に合わせて〈ENTER〉ボタンを押してください。リモコンの〈CANCEL〉ボタンでも取り消すことができます。

カラーマネージメント

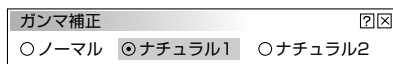
プロジェクト投写映像の基本のカラー調整を行います。

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■ガンマ補正の選択【ガンマ補正】

映像の黒い部分の階調の選択です。これにより暗い部分も鮮明に表現します。

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで目的のガンマ補正を選択します。



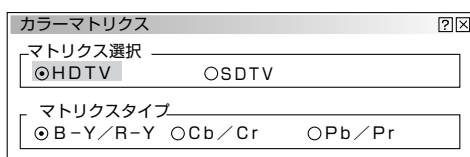
- **ノーマル** ……標準的な設定です。
- **ナチュラル1** ……自然な色あいを重視します。
テレビ番組や一般的な映像ソースを見るのに適しています。
- **ナチュラル2** ……信号の暗い部分が鮮明になります。
映画を見るのに適しています。

■カラーマトリクスを選択【カラーマトリクス】

マトリクス選択とマトリクスタイプは〈SELECT ▲/▼〉ボタンで選択します。
〈SELECT ◀/▶〉ボタンで内容を選択します。

マトリクス選択

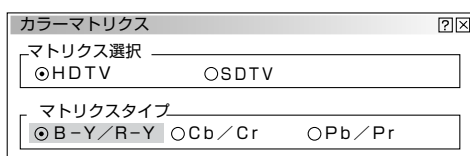
ハイビジョン放送仕様かデジタル放送仕様のカラーマトリクスかの設定です。
入力信号のカラーマトリクスタイプを選択します。



- **HDTV** ……ハイビジョン放送仕様のカラーマトリクスです。
- **SDTV** ……デジタル放送仕様のカラーマトリクスです。

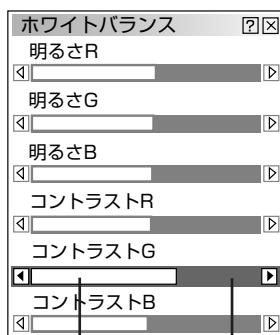
マトリクスタイプ

映像複合信号をRGB信号に分離する形式の選択です。入力信号のカラーマトリクスタイプに合わせます。



- **B-Y/R-Y** ……B-Y/R-Y のマトリクスタイプ
- **Cb/Cr** ……Cb/Cr のマトリクスタイプ
- **Pb/Pr** ……Pb/Pr のマトリクスタイプ

【例 コントラストGを選択】



標準調整位置は緑色に変わります。

調整バーの長さが変わります。

■ホワイトバランスの調整【ホワイトバランス】

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

ホワイトバランス調整項目は〈SELECT ▲/▼〉で選択します。選択された項目は明るくなります。

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで調整します。

[明るさR]・[明るさG]・[明るさB] で画像の黒色を調整します。

[コントラストR]・[コントラストG]・[コントラストB] で画像の白色を調整します。

メニュー設定

画面に表示させるメニューや入力端子表示、メニューの表示言語などの設定です。

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

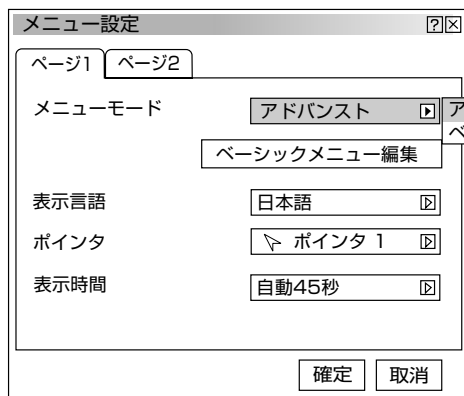
ビューワを使う

お知らせとお願い

■表示させるメニューモードの選択 [メニューモード]

メニュー表示は、全てのメニュー項目を表示するアドバンスメニューとお客様独自に登録したメニュー項目のみを表示するベーシックメニューがあります。表示させたいメニューを選択します。

工場出荷時は基本的なメニュー項目に登録したベーシックメニューに設定しています。登録内容を変えるには [ベーシックメニュー編集] を行ってください。

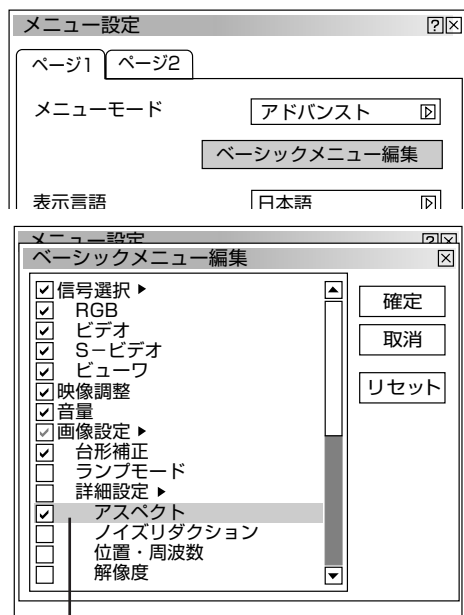
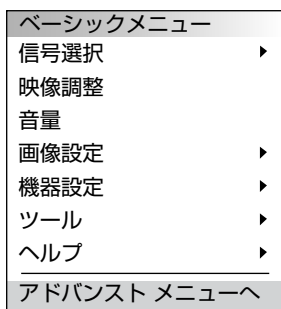


- 1 〈SELECT▲/▼〉 ボタンでメニューモードを選択します。
- 2 〈SELECT▶〉 ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 3 〈SELECT▲/▼〉 ボタンで目的のモードを選択し、〈ENTER〉 ボタンを押します。
- 4 よければ 〈SELECT▲/▼〉 ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

ベーシックメニュー表示のとき一時的にアドバンスメニューを表示させる場合

ベーシックメニューに登録していない項目の調整・設定を行う場合は、〈SELECT▲/▼〉 ボタンで [アドバンスメニューへ] を選択して〈ENTER〉 ボタンを押します。一時的にアドバンスメニュー表示に変わります。再び 〈MENU〉 ボタンを押したときはベーシックメニュー表示に戻ります。



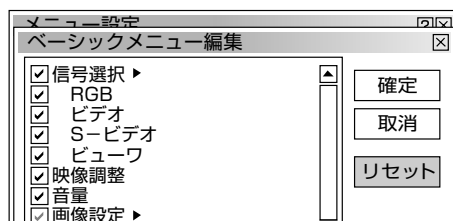
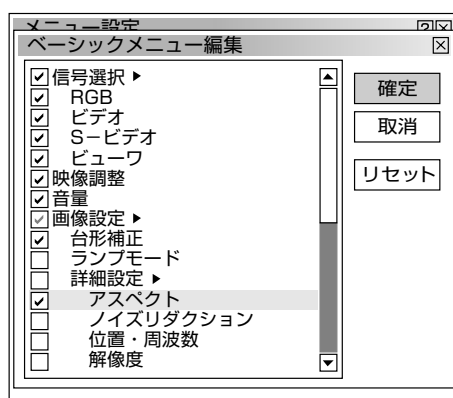
カーソル

■ベーシックメニューを編集する [ベーシックメニュー編集]

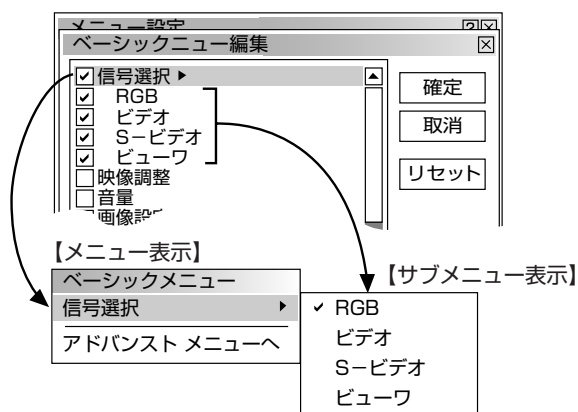
ベーシックメニューに表示させるメニュー項目の登録/解除を行います。

- 1 〈SELECT▲/▼〉 ボタンで [ベーシックメニュー編集] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押します。ベーシックメニュー編集表示が開きます。
 - 2 〈SELECT▲/▼〉 ボタンで登録または解除するメニュー項目にカーソルを合わせます。
 - 3 〈ENTER〉 ボタンを押して登録 (チェックが入る) または、解除 (チェックが消える) を選択します。
 - ☒ チェックを入れる ……登録されます。
 - ☐ チェックを入れない ……登録が解除されます。
- 同様に他のメニュー項目も選択します。
 - カーソルを表示範囲の一番下へ移動させ、さらに 〈SELECT ▼〉 ボタンを押すと1つずつスクロールし次のメニュー項目が出ます。

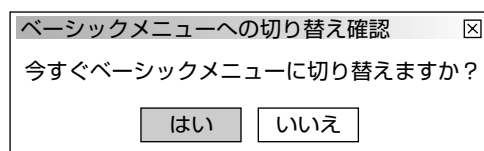
次ページに続きます



信号選択や画像設定など ▶ が付いている項目を登録するとメニュー表示時にサブメニューで表示します。またこの項目の選択だけでサブメニュー全部の登録ができます。サブメニューの項目中1つ以上を解除に設定すると ▶ が付いている項目名のチェックがグレーになります。



メニューモードが [アドバンストメニュー] に設定された状態でベーシックメニュー編集を [確定] すると、ベーシックメニューへの切り換え確認表示が出ます。[はい] を選択すると、開いている画面が全て閉じてベーシックメニューが表示されます。[いいえ] を選択すると、メニューはアドバンストメニューのままで、ベーシックメニュー編集の設定が保存されます。ベーシックメニューを表示するには、メニューモードで [ベーシックメニュー] を選択します。



4 よければ <SELECT ▶> ボタンで [確定] を選択し、<ENTER> ボタンを押します。ベーシックメニュー編集表示が閉じてメニュー設定画面に戻ります。



確定をするとメニュー設定での [取消] はできません。

取り消す場合

<SELECT ▼> ボタンで [取消] を選択し、<ENTER> ボタンを押します。編集前の状態に戻してメニュー設定画面に戻ります。

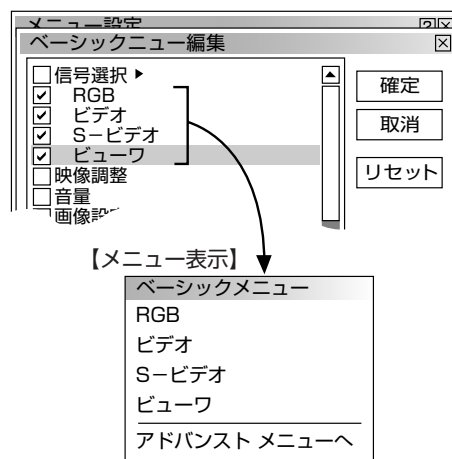
登録を工場設定に戻す場合

<SELECT ▼> ボタンで [リセット] を選択し、<ENTER> ボタンを押します。メニュー項目のチェックが工場設定に戻ります。

<SELECT ◀> ボタンを押して青色のカーソルを項目選択へ戻し、3 から操作してください。

メニュー表示のときサブメニューを表示しない様にするには ▶ が付いている項目名のチェックを外して、個々にチェックを入れてください。

サブメニューを表示しない方法では最大12項目が登録できます。(サブメニュー表示と非表示の組み合わせでも最大12項目となります。)



工場設定時のベーシックメニュー項目

以下の項目にチェックが付いています。

信号選択 (RGB、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ)

映像調整

音量

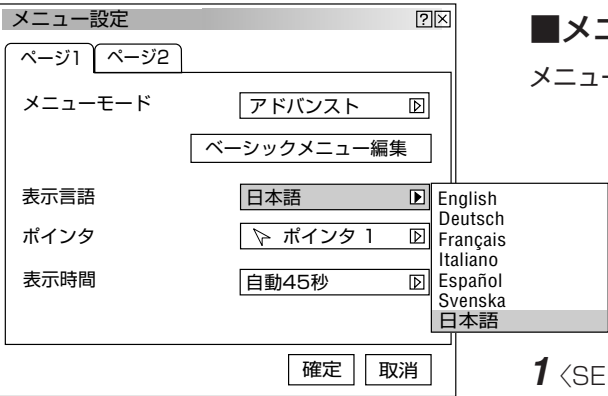
画像設定 (台形補正)

機器設定 (メニュー設定、セットアップ)

ツール (キャプチャ、ファイル選択、チョークボード)

ヘルプ (目次、情報)

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。



■メニューの表示言語を選択【表示言語】

メニューに表示される言語の設定です。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで表示言語を選択します。
- 2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の言語を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。
- 4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■ポインタの種類を選択【ポインタ】

投写画面の説明したいところを指すときにポインタを使います（42ページ参照）。このポインタ形状の設定です。



- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでポインタを選択します。
- 2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のポインタを選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。
- 4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



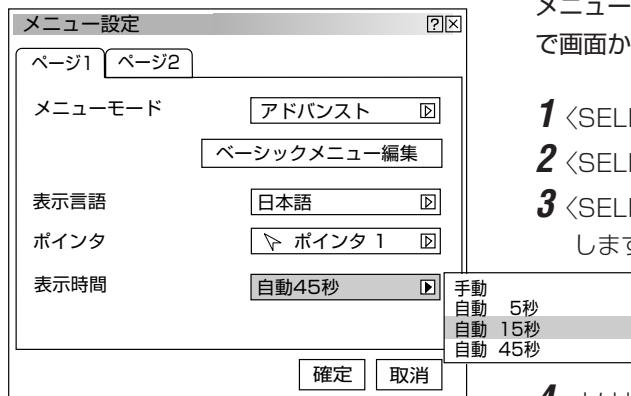
TVゲームなど（15kHzのノンインターレース信号）を表示する場合、ポインタ機能が使用できない場合があります。

はじめに
目次
接続とセッティング
基本操作
メニュー操作
ビューワを使う
お知らせとお願い

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■メニューの表示時間の選択【表示時間】

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で画面から消去する時間の選択です。



- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで表示時間を選択します。
- 2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の時間を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

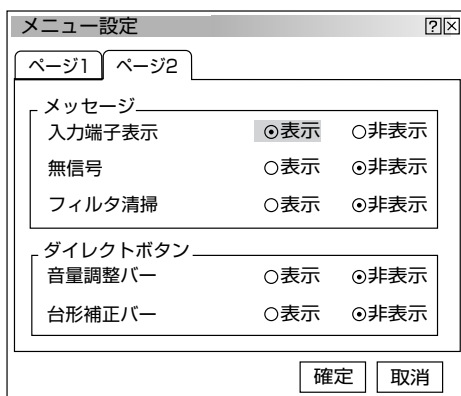
- 4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

- メニューが自動的に画面から消えた後に〈MENU〉ボタン、〈ENTER〉ボタン、〈CANCEL〉ボタン、〈SELECT◀／▶〉ボタンのいずれかを押すと、消える前に表示していた状態のメニューが表示されます。
- ただし、メニューが消えている間に入力信号を切り換えた場合は、消える前に表示していたメニューは表示されず、通常のメニュー操作と同様になります。

■入力端子表示のOn/Off【入力端子表示】

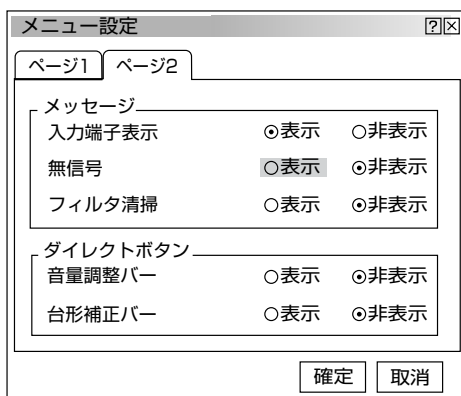
入力信号を切り換えたときの入力選択表示をする／しないの設定です。



- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで入力端子表示を選択します。
- 2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■無信号表示のOn/Off【無信号】

信号が入力されていないとき、画面上に無信号であることを表示する／しないの設定です。



- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで無信号を選択します。
- 2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定 [?] [X]

ページ1 ページ2

メッセージ

入力端子表示	☒ 表示	☐ 非表示
無信号	☐ 表示	☒ 非表示
フィルタ清掃	☒ 表示	☐ 非表示

ダイレクトボタン

音量調整バー	☐ 表示	☒ 非表示
台形補正バー	☐ 表示	☒ 非表示

確定 取消

■フィルタ清掃時間の表示選択【フィルタ清掃】

フィルタの使用時間が100時間を越えると、電源を入れたときにフィルタを掃除するようメッセージが表示されます。そのメッセージを表示する／しないの設定です。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでフィルタ清掃を選択します。
- 2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔確定〕を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

フィルタ清掃をした後は、フィルタ使用時間をリセットしてください。
[セットアップ] → [ページ4] → [フィルタ使用時間クリア] でリセットできます。(70ページ参照)

メニュー設定 [?] [X]

ページ1 ページ2

メッセージ

入力端子表示	☒ 表示	☐ 非表示
無信号	☐ 表示	☒ 非表示
フィルタ清掃	☐ 表示	☒ 非表示

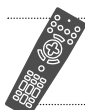
ダイレクトボタン

音量調整バー	☒ 表示	☐ 非表示
台形補正バー	☐ 表示	☒ 非表示

確定 取消

■音量調整表示のOn/Off【音量調整バー】

メニューやポインタを表示していないときに〈SELECT▲／▼〉ボタンで音量調整をする場合に音量調整バーを表示する／しないの設定です。音量調整をしたときのみ表示します。



〈VOLUME〉ボタンはメニューやポインタの表示が出ていても音量調整ができます。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで音量調整バーを選択します。
- 2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔確定〕を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定 [?] [X]

ページ1 ページ2

メッセージ

入力端子表示	☒ 表示	☐ 非表示
無信号	☐ 表示	☒ 非表示
フィルタ清掃	☐ 表示	☒ 非表示

ダイレクトボタン

音量調整バー	☐ 表示	☒ 非表示
台形補正バー	☒ 表示	☐ 非表示

確定 取消



■台形補正表示のOn/Off【台形補正バー】

〈KEYSTONE +/−〉ボタンで台形補正調整する場合に台形補正調整バーを表示する／しないの設定です。台形補正を調整したときのみ表示します。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで台形補正バーを選択します。
- 2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔確定〕を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

セットアップ

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■プロジェクタの投写方法を選択【投写方法】

使用状況に合わせて選択してください。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで投写方法を選択します。

2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

デスク／フロント ……テーブルに設置して前面から投写

天吊り／リア ……天井に設置して背面から投写

デスク／リア ……テーブルに設置して背面から投写

天吊り／フロント ……天井に設置して前面から投写

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の投写方法を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■シネマモード時の画面位置を選択【シネマポジション】

アスペクトでシネマモードに設定したとき、画面の垂直位置を選択します。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでシネマポジションを選択します。

2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

上端 ……下端に黒い部分が出ます。

中央 ……上端と下端に黒い部分が出ます。

下端 ……上端に黒い部分が出ます。

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のシネマポジションを選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■無信号時の背景色を選択【バックグラウンド】

入力信号が無いときの背景色の設定です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでバックグラウンドを選択します。

2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

ブルーバック ……背景色が青色

ブラックバック ……背景色が黒

ロゴ ……背景に画像を表示

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のバックグラウンドを選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

- ロゴを選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、75ページ「バックグラウンドロゴ変更のしかた」をご覧ください。

■マウスの設定【マウス設定】

市販のUSB対応マウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。このときのマウスの設定です。

マウスボタン設定

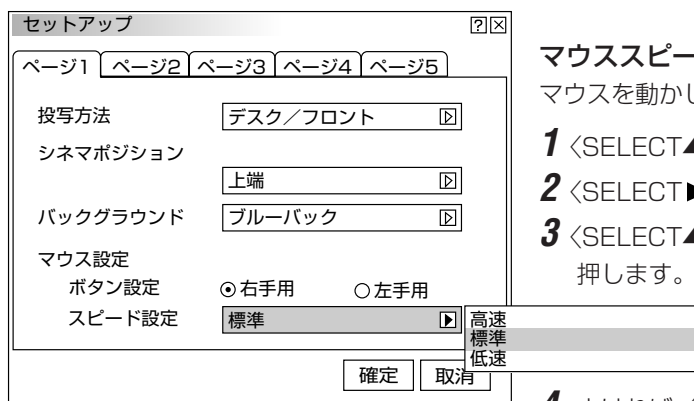
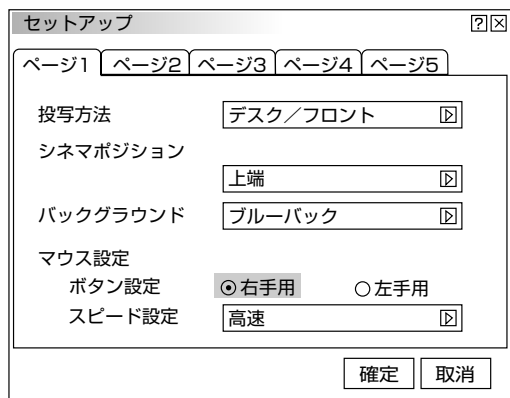
マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでボタン設定を選択します。
- 2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで内容を選択します。
 - 右手用 ……マウスボタンが右手用の動作をします。
 - 左手用 ……マウスボタンが左手用の動作をします。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔確定〕を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

マウススピード設定

マウスを動かしたときのポインタの速度を選択します。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでスピード設定を選択します。
- 2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のスピード選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。
- 4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔確定〕を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



■ビューワ機能を設定する【ビューワオプション】

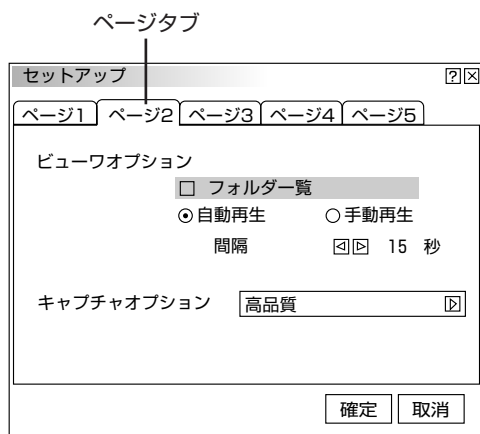
ビューワ再生時の初期設定です。ビューワの使いかたは82ページをご覧ください。

- ※ 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
 〈SELECT◀／▶〉ボタンで〔ページ2〕を選択します。

フォルダー一覧表示の設定

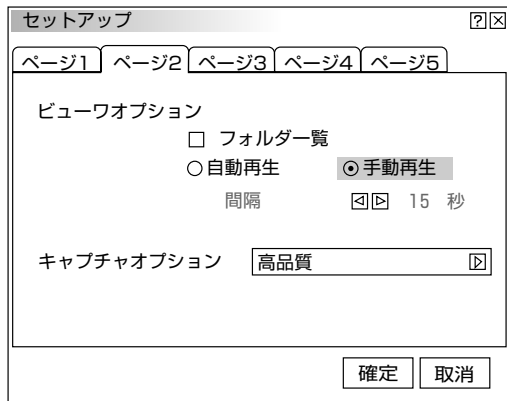
ビューワ入力を選択したときのスタートの状態を設定します。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔フォルダー一覧〕を選択します。
- 2 〈ENTER〉ボタンを押してチェックを入れる／入れないを選択します。
 - ☑ チェックを入れる ……フォルダー一覧が表示されます。
 - ☐ チェックを入れない ……スライド画面が映ります。
- 3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで〔確定〕を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



セットアップ

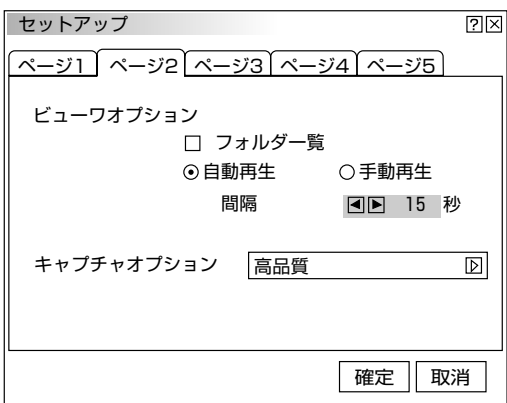
- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。



自動再生／手動再生の設定

ビューワツールバーの再生 [▶] アイコンの動作の設定です。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「自動再生／手動再生」を選択します。
- 2 〈SELECT ◀／▶〉ボタンで選択します。
 - 自動再生 … スライドを自動で再生します。
 - 手動再生 … スライドを手動で再生します。
- 3 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



自動再生の間隔設定

自動再生時のスライド送り時間の設定です。

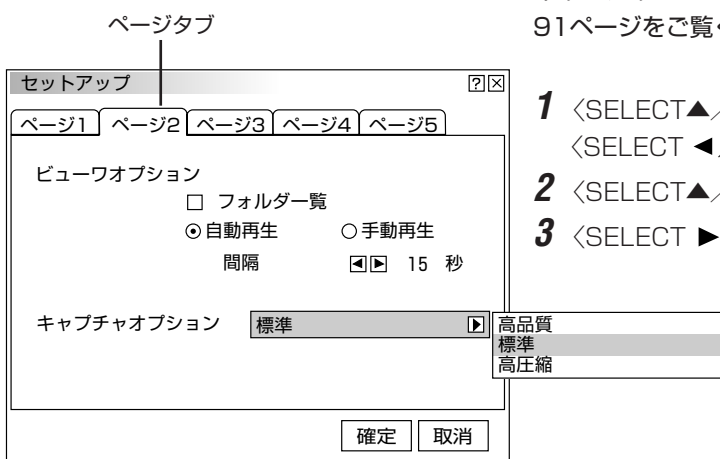
- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「間隔」を選択します。
- 2 〈SELECT ◀／▶〉ボタンで間隔時間を設定します。
5～300秒まで1秒刻みで設定できます。
- 3 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

ビューワ専用ソフトウェアでスライドを作成し、再生間隔を設定している場合は、その時間が有効になります。

■キャプチャの画像圧縮度を設定する【キャプチャオプション】

キャプチャ機能により取り込んだデータを圧縮（少なく）する設定です。キャプチャはJPEG形式で圧縮して保存されます。キャプチャの使いかたは91ページをご覧ください。



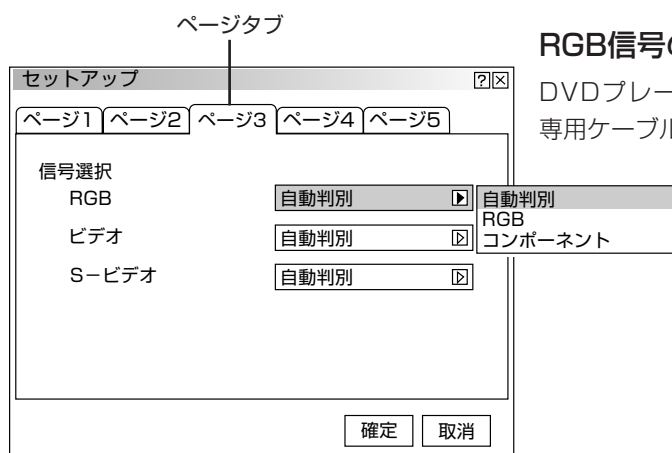
- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT ◀／▶〉ボタンで「ページ2」を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「キャプチャオプション」を選択します。
- 3 〈SELECT ▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
 - 高品質 …… 画質を優先します。
画像データ量は大きくなります。
 - 標準 …… 標準で圧縮します。
 - 高圧縮 …… 多少画質は劣化しますが、画像データ量が少なくなります。
- 4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで画像圧縮度を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。
- 5 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■信号モードの選択【信号選択】

RGB入力端子、VIDEO入力端子、S-VIDEO入力端子の信号モードの選択です。通常は自動判別を選択しておきます。

自動判別できない場合はプロジェクトに接続している出力機器の信号モードに合わせてください。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで [ページ3] を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の入力端子を選択します。
- 3 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の信号を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。
- 5 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



RGB信号の選択【RGB】

DVDプレーヤなどのコンポーネント出力を本機のRGB INPUT端子と専用ケーブルで接続している場合などに設定します。

自動判別 ……自動でRGBとコンポーネント信号を判断して切り換えます。

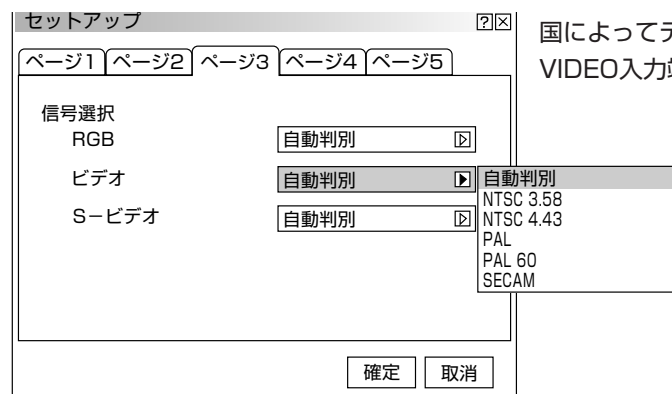
RGB ……アナログRGB信号になります。

コンポーネント ……コンポーネント信号になります。

映像信号の選択【ビデオ／S-ビデオ】

国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。

VIDEO入力端子、S-VIDEO入力端子の入力信号の設定ができます。



自動判別 ……自動で入力信号を判断して切り換えます。

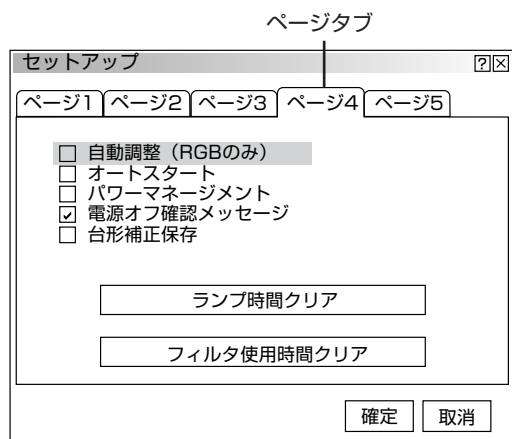
NTSC3.58 ……NTSC 3.58 モードになります。

NTSC4.43 ……NTSC 4.43 モードになります。

PAL ……PAL モードになります。

PAL60 ……PAL60 モードになります。

SECAM ……SECAM モードになります。



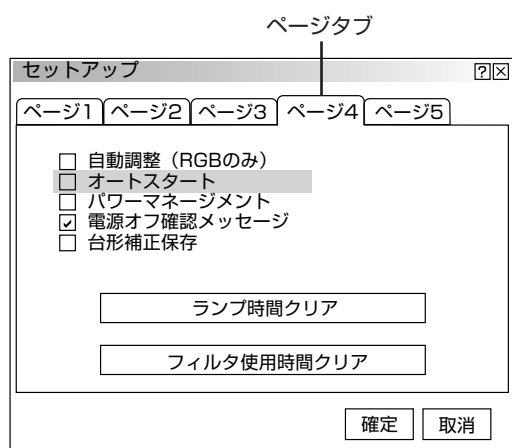
■画像の自動調整【自動調整】

RGB信号の表示位置と画素のズレの調整を自動で行うか、手動で行うかの設定です。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで [ページ4] を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで自動調整 (RGBのみ) を選択します。
- 3 〈ENTER〉ボタンでチェックを入れる／入れないを選択します。
☒ **チェックを入れる** ……表示位置と画素調整を自動で行います。
☐ **チェックを入れない** ……手動で調整できます。(55ページ参照)
- 4 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

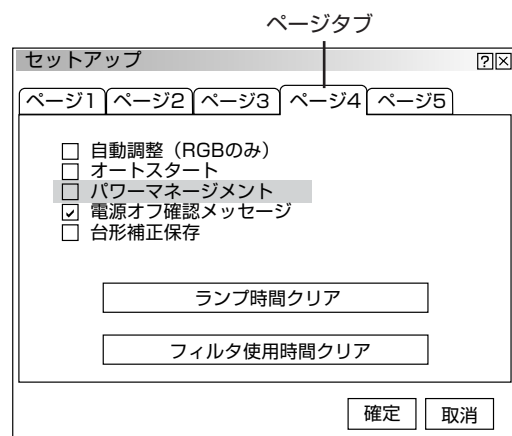
- 画像によっては正しく調整できない場合や、信号を切り換えたとき調整までに時間がかかる場合があります。このような場合は手動で行ってください。



■自動で立ち上げる【オートスタート】

電源プラグに電源が供給されると自動的にプロジェクトが立ち上がります。プロジェクトを制御卓などでコントロールする場合に使用します。

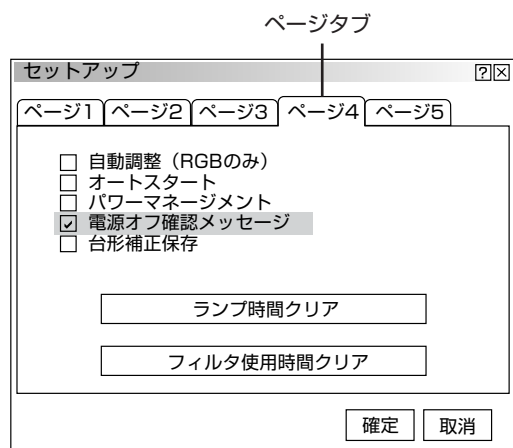
- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで [ページ4] を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでオートスタートを選択します。
- 3 〈ENTER〉ボタンでチェックを入れる／入れないを選択します。
☒ **チェックを入れる** ……オートスタートが動作しプロジェクトが立ち上がります。
☐ **チェックを入れない** ……スタンバイ状態になります。
- 4 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



■RGB入力端子無信号時に電源を切る【パワーマネージメント】

5分以上信号入力がないと自動的に電源を切りスタンバイ状態にします。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで [ページ4] を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでパワーマネージメントを選択します。
- 3 〈ENTER〉ボタンでチェックを入れる／入れないを選択します。
☒ **チェックを入れる** ……自動的にスタンバイ状態になります。
☐ **チェックを入れない** ……パワーマネージメント機能は動きません。
- 4 よければ 〈SELECT▲／▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

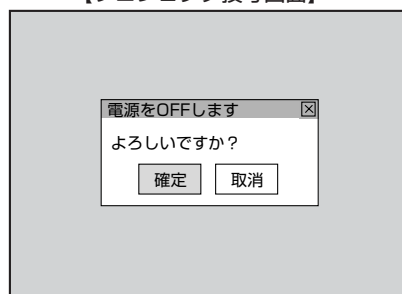


■電源を切るとき確認表示を出す【電源オフ確認メッセージ】

電源をOFFにすると確認表示を出します。

- 1 〈SELECT▲/▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀/▶〉ボタンで [ページ4] を選択します。
- 2 〈SELECT▲/▼〉ボタンで電源オフ確認メッセージを選択します。
- 3 〈SELECT◀/▶〉ボタンでチェックを入れる／入れないを選択します。
☒ チェックを入れる………確認メッセージを表示します。
☐ チェックを入れない………確認メッセージがでません。
- 4 よければ〈SELECT▲/▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

【プロジェクタ投写画面】

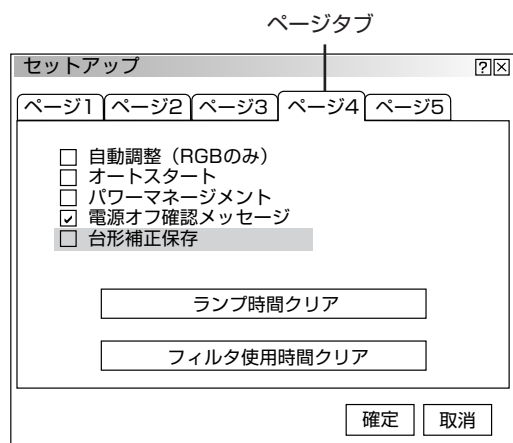


設定を有効にしたとき (チェックを入れたとき)

プロジェクタの電源を切るときに確認表示が出ます。

よければ〈ENTER〉ボタンを押してください。確認表示が閉じてスタンバイ状態になります。

取り消すときは〈SELECT▶〉ボタンで [取消] にカーソルを合わせて〈ENTER〉ボタンを押します。



■台形補正データを保存する【台形補正保存】

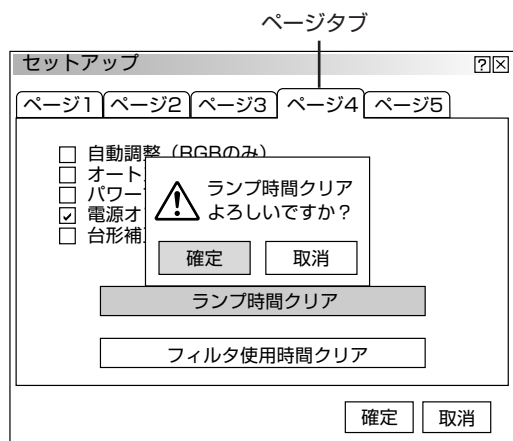
[台形補正] で調整した調整値を保存します。電源を切ってもデータは失われません。

- 1 〈SELECT▲/▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀/▶〉ボタンで [ページ4] を選択します。
- 2 〈SELECT▲/▼〉ボタンで台形補正保存を選択します。
- 3 〈ENTER〉ボタンでチェックを入れる／入れないを選択します。
☒ チェックを入れる………調整値を上書き保存します。
☐ チェックを入れない………調整値を保存しません。
- 4 よければ〈SELECT▲/▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■ランプ使用時間をクリアする【ランプ時間クリア】

ランプ交換を行ったときに【ランプ残量】と【ランプ使用時間】をクリアします。



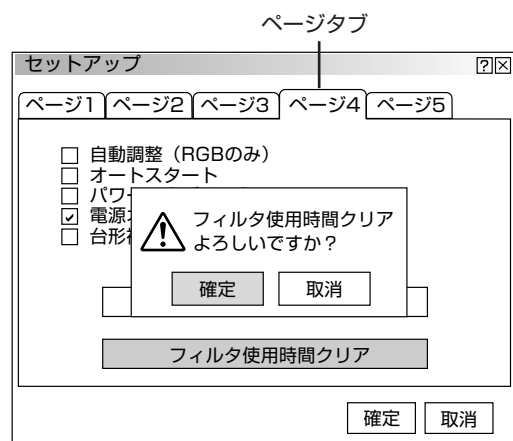
- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで【ページ4】を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでランプ時間クリアを選択し、〈ENTER〉ボタンを押して確認表示を出します。
- 3 よければ〈SELECT◀〉ボタンで【確定】にカーソルを合わせて
〈ENTER〉ボタンを押してください。確認表示が閉じます。
取り消すときは、【取消】にカーソルが合った状態で〈ENTER〉ボタンを押します。
- 4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで【確定】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



- 確定をするとセットアップでの【取消】はできません。
- 【画像設定】の【データリセット】ではクリアされません。

■フィルタ使用時間をクリアする【フィルタ使用時間クリア】

フィルタの掃除または交換を行ったときに【フィルタ使用時間】をクリアします。



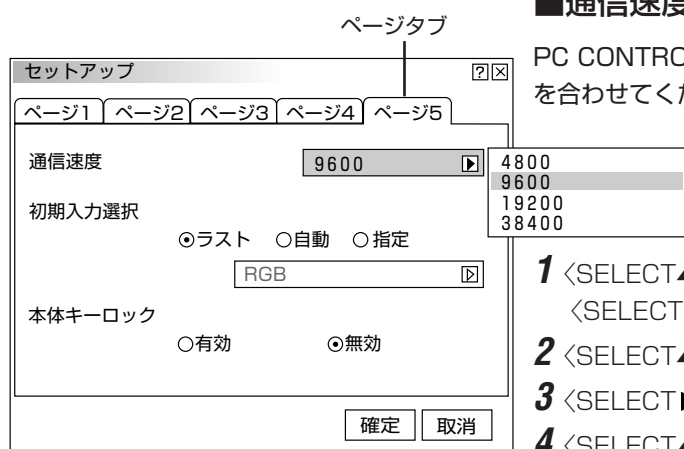
- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで【ページ4】を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでフィルタ使用時間クリアを選択し、〈ENTER〉ボタンを押して確認表示を出します。
- 3 よければ〈SELECT◀〉ボタンで【確定】にカーソルを合わせて
〈ENTER〉ボタンを押してください。確認表示が閉じます。
取り消すときは、【取消】にカーソルが合った状態で〈ENTER〉ボタンを押します。
- 4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで【確定】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



- 確定をするとセットアップでの【取消】はできません。
- 【画像設定】の【データリセット】ではクリアされません。

■通信速度の設定【通信速度】

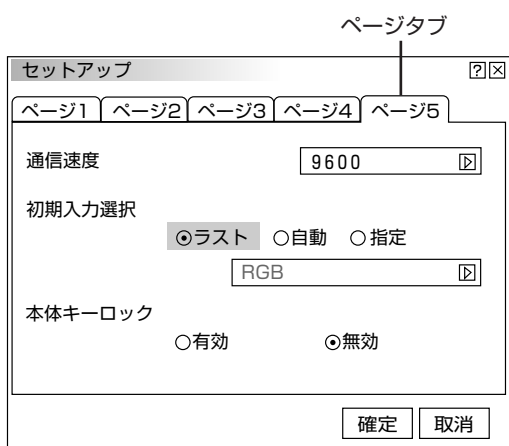
PC CONTROL端子のデータ転送速度の設定です。接続する機器と転送速度を合わせてください。



- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで [ページ5] を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで通信速度を選択します。
- 3 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
- 4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の通信速度を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。
- 5 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■初期入力の設定【初期入力選択】

プロジェクトを立ち上げたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定です。

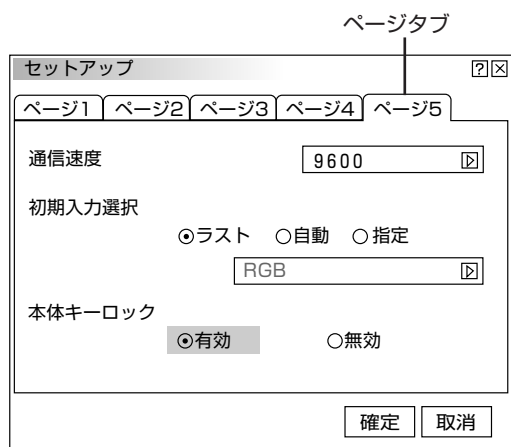


- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで [ページ5] を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで初期入力選択を選択します。
- 3 〈SELECT◀／▶〉ボタンで内容を選択します。
 - ラスト……最後に映した入力信号を映します。
 - 自動………入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を映します。
 - 指定………設定した入力信号を映します。



指定を選択した場合
 〈SELECT▼〉ボタンで指定項目にカーソルを移動し、
 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
 〈SELECT▼〉ボタンで目的の入力信号を選択して
 〈ENTER〉ボタンを押します。
 [指定] 以外のときは指定項目がグレイ表示になり選択できません。

- 4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。



■本体操作ボタンをロックする【本体キーロック】

プロジェクタ本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

- 1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで「ページ5」を選択します。
- 2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで本体キーロックを選択します。
- 3 〈SELECT◀／▶〉ボタンで内容を選択します。
 - 有効……………本体操作部のボタンが利かなくなります。
 - 無効……………本体操作部のボタンがはたらきます。
- 4 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで「確定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

- 本体操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体操作ボタンがロックされているときに、本体の〈CANCEL〉ボタンを10秒間押すとロックが解除されます。

ツールの機能

ビューワ機能を使うときのツールです。

映している画像を保存する（キャプチャ）、パソコンで作成した資料をプロジェクトに表示する（ファイル選択）、プロジェクトの画面に描画する（チョークボード）ことができます。

著作権について

キャプチャ機能を使用して映像・写真・イラストなどを取り込んだり、取り込んだものを加工または編集する場合、著作者の目的となっている著作物は、個人で使用する以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

ビューワを使う

お知らせとお願い

キャプチャ
ファイル選択
チョークボード

■キャプチャ機能【キャプチャ】

映している画像をコンパクトフラッシュカードのキャプチャ専用フォルダに保存します。キャプチャの使いかたは91ページをご覧ください。



- 本機の表示画素数を超える解像度のキャプチャ画像は、正しく表示されません。
- コンパクトフラッシュカードをセットしていないと選択できません（白文字）。
- キャプチャを開いているときは同時にチョークボードツールバーの表示はできません。（チョークボードを選択するとキャプチャツールバーは閉じます。）
- 画像フォーマットはJPEG形式でファイル名は自動的に付きます。

キャプチャツールバー



カーソル

キャプチャツールバーの選択

キャプチャツールバーは画面左下に表示されます。

〈SELECT ◀▶〉ボタンで目的のアイコンにカーソル（青色枠）を合わせ、〈ENTER〉ボタンを押します。

USBマウス使用時は左クリックで動作します。

アイコンのはたらき



移動

USBマウス接続時には左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できます。（リモコンでは移動できません。）



キャプチャ

画像の保存を開始します。キャプチャ中はキャプチャが行われていることを示すため アイコンを表示します。このときコンパクトフラッシュカードを取り出したり、プロジェクト本体の電源を切ったりしないでください。コンパクトフラッシュカードが破損します。また、キャプチャが終了するまではキャプチャツールバーの操作はできません。



静止画

ビデオ映像やパソコンの動画を静止画メモリに入れて表示します。目的のキャプチャ場面を探すときに使います。

静止画アイコンを選択すると静止画になり、もう一度選択すると動画になります。



終了

キャプチャツールバーを閉じます。

キャプチャ
ファイル選択
チョークボード

■PCファイルを映す【ファイル選択】

ファイル選択はビューワソフトウェアを使って編集保存したスライドではなく、お手持ちのソフトウェアで作成した資料を映す場合に使います。

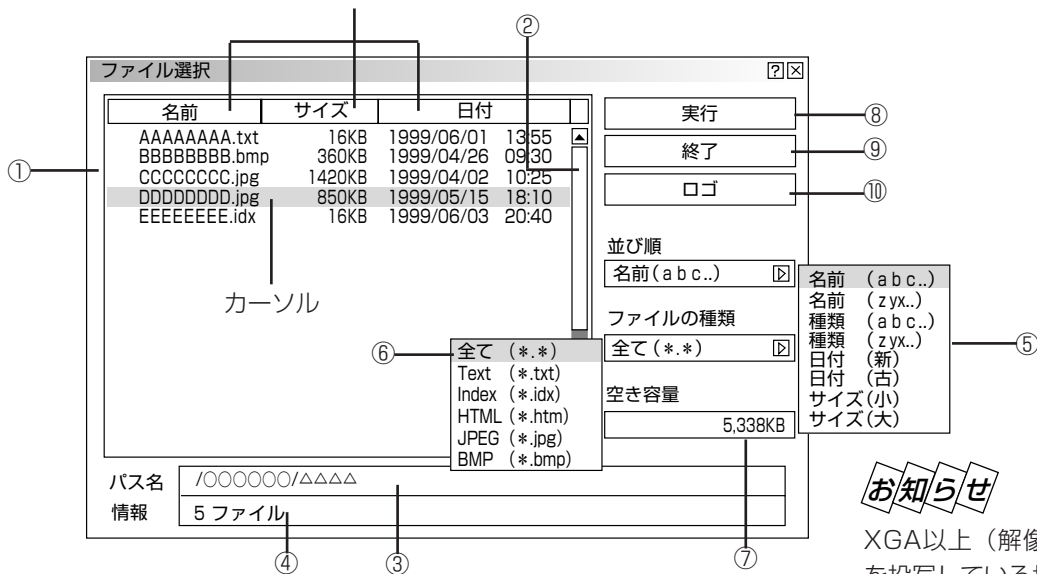
使いかたは95ページをご覧ください。

- コンパクトフラッシュカードをセットしていないと選択できません（白文字）。
- 実行可能なファイル形式は下記のとおりです。

.txt	テキストファイル
.idx	Index ファイル
.htm	HTML ファイル
.jpg	JPEG形式の画像ファイル
.bmp	BMP形式の画像ファイル

これ以外の形式は、[全て] を選択していればファイルリストには表示されますが、実行してもファイルは開きません。

USBマウス使用時はクリックすると名前・サイズ・日付の並び順を逆にすることができます。



XGA以上（解像度1024×768以上）の信号を投写している場合、「ファイル選択」画面が正常に表示されないことがあります。

選択のしかた

ファイルリストは〈SELECT ▼／▲〉ボタンでファイルを選択します。

ファイルリストから右側を操作するときは、〈SELECT ►〉ボタンを押して〔実行〕にカーソル（青色）を移動させます。

〈SELECT ▼／▲〉ボタンで目的の項目を選択します。

ファイルリストに戻るには、カーソルを〔実行〕に戻してから〈SELECT ◀〉ボタンを押します。

プルダウンリストは〈SELECT ►〉ボタンでリストがでます。〈SELECT ▼／▲〉ボタンで選択し、〈ENTER〉ボタンを押すと選択されます。

USBマウスはクリックで動作します。使いかたは79ページをご覧ください。

各部のはたらき

- ①ファイルリスト コンパクトフラッシュカードに記録されているファイルのリストを表示します。
リストにはファイル名（拡張子）・サイズ（キロバイト単位）・日付（西暦 24時間表示）を表示します。
- ②スクロールバー USBマウスは〔▲〕または〔▼〕をクリックしてファイルリストをスクロールします。
カーソルがファイルリストの下または上にあるとき〈SELECT ▼／▲〉ボタンを押すごとにスクロールします。（スクロールバーはファイルリスト表示範囲を越えたファイル数の場合にのみ表示されます。）
- ③パス名 選択ファイルのパス名を表示します。
- ④情報 ファイルリストの総ファイル数を表示します。
- ⑤並び順 ファイルの名前／種類／日付／サイズを昇順または降順にファイルリストを並び替えます。
〈SELECT ►〉ボタンを押すとプルダウンリストを表示します。
- ⑥ファイルの種類 全て／.txt／.idx／.htm／.jpg／.bmpの中から選択した種類のファイルをファイルリストに表示します。
〈SELECT ►〉ボタンを押すとプルダウンリストを表示します。
〔全て〕を選択した場合は開けないファイルでもファイルリストには表示します。
- ⑦空き容量 コンパクトフラッシュカードの空き容量をキロバイト単位で表示します。
- ⑧実行 選択されたファイルを映します。
ファイル形式JPEG、BMPの画像を実行するとビューワ入力に切り換わります。
画面左下に表示されたツールバーの〔戻る〕アイコンを選択するとファイル選択画面に戻ります。
アイコンのはたらきは次ページをご覧ください。
- ⑨終了 ファイル選択を終了し、メニュー表示に戻ります。
- ⑩ロゴ パソコンで作成したバックグラウンドのロゴ（背景）を取り込む場合に選択します。

画像ファイル選択時（ビューフ画面）に表示されるツールバーアイコンのはたらき



カーソル

ツールバーの選択

〈SELECT ◀/▶〉ボタンでカーソル（青色枠）を合わせ、〈ENTER〉ボタンを押します。
USBマウス使用時は左クリックで動作します。



移動

USBマウス接続時には左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できます。（リモコンでは移動できません。）



戻る

ファイル選択画面に戻ります。

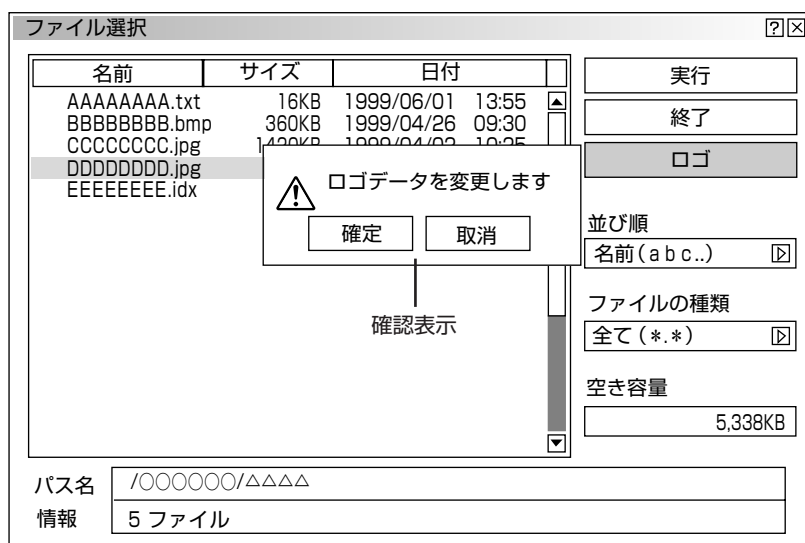


終了

ツールバーを閉じます。

■バックグラウンドロゴ変更のしかた

無信号時の背景（バックグラウンド）を自作することができます。パソコンで作成して、コンパクトフラッシュカードに保存してください。



- 画像のファイル形式はJPGまたはBMP、ファイルサイズは64KB以下で作成してください。
- ロゴデータを変更すると、データリセットをしても元には戻りません。

- 1 PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入します。
- 2 メニューから「ファイル選択」を選択しファイル選択表示を出します。
- 3 〈SELECT ▲/▼〉ボタンで作成したロゴを選択します。
- 4 〈SELECT ▶〉ボタンを押します。[実行] にカーソルが移動します。
- 5 〈SELECT ▲/▼〉ボタンで [ロゴ] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押すと確認表示が出ます。
- 6 〈SELECT ◀/▶〉ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。ロゴが変更されます。

※ 変更したロゴを確認するには、バックグラウンドをロゴに設定して（64ページ参照）、本機を無信号状態にします（接続機器の電源を切るなど）。



工場設定のNECロゴに戻すには

添付のCD-ROMに収録されているNECロゴ（¥logo¥nec_b_x.jpg）をコンパクトフラッシュカードにコピーし、上記の手順でロゴを変更してください。

- メニューの操作方法については、44・45ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と46・47ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

キャプチャ
ファイル選択
チョークボード



■チョークボードの選択

USBマウスを使ってフリーハンド（自由曲線）の描画ができます。
プレゼンテーション時に便利です。使いかたは80ページをご覧ください。

お知らせ

- チョークボードはUSBマウスを接続しないと選択できません（白文字）。
- ビューワツールバーを表示しているときも選択できます。チョークボードでの描画をキャプチャすることはできません。
- チョークボードツールバーを表示しているときは右クリックをしてもメインメニューは表示されません。チョークボード機能を終了させてください。
- 〈SOURCE〉ボタンで入力を切り換えたり、入力信号が切り換えられたときは、強制終了します。
- キャプチャツールバーを表示しているときにチョークボードを選択すると、キャプチャ機能は終了します。
- ビューワ機能を使用しているときにスライド切換などの操作を行うと描画はクリアされます。

チョークボードツールバー



チョークボードツールバーの選択

USBマウスの矢印を目的のアイコンに合わせて左クリックして選択します。

アイコンのはたらき



移動

左クリックしてドラッグすることにより表示位置を移動できます。



ペン

左クリックをすると描画になります。マウスの移動に合わせて描画されます。

ペン線種の選択

左クリックをすると線種一覧を表示します。

目的の線種を左クリックすると決定され線種一覧が閉じます。



カラー

ペンの色を選択します。左クリックするとカラー一覧を表示します。

目的のカラーを左クリックすると決定されカラー一覧が閉じます。



消しゴム

左クリックをすると消しゴムになります。マウスの移動に合わせて線を消します。

消しゴム線種の選択

左クリックをすると線種一覧を表示します。

目的の線種を左クリックすると決定され線種一覧が閉じます。



クリア

左クリックすると全画面が消去されます。



非表示

左クリックすると一時的にチョークボードツールバーを閉じます。

画面上を右クリックすると再び表示します。



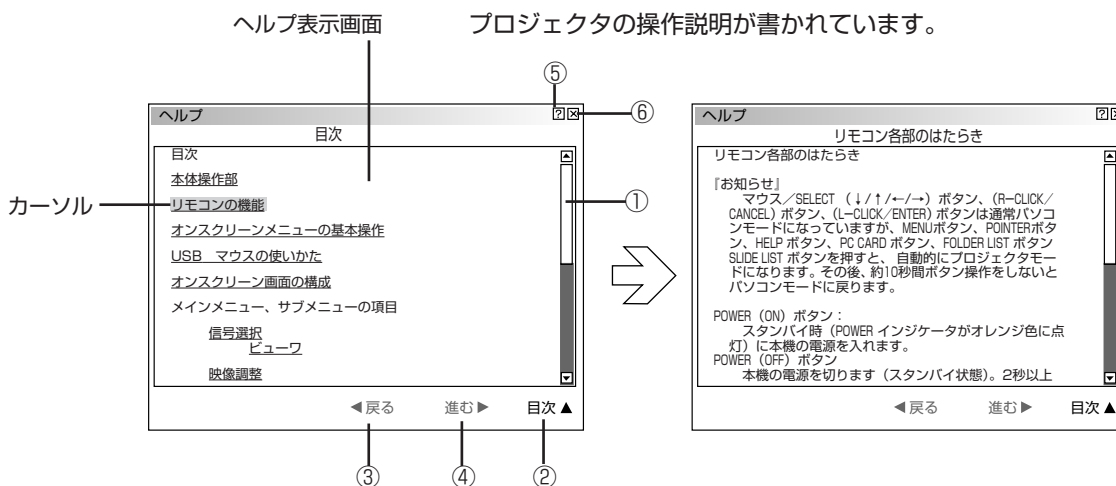
終了

左クリックすると全画面を消去し、チョークボード機能を終了します。

プロジェクトの使いかたや現在入力中の信号情報を知りたいとき、ランプ使用時間を知りたいときに使います。

■ヘルプを見る【目次】

プロジェクトの操作説明が書かれています。



リモコンでの操作

〈SELECT▲／▼〉ボタンを押すとカーソルが関連ある項目へ移動します。

下線のある単語や文にカーソルを合わせ〈ENTER〉ボタンを押すと青色の文字は関連ある項目のページに、緑色の文字は調整表示に変わります。

スクロールするとき

画面内に関連ある項目が無い場合は〈SELECT▲／▼〉ボタンを押すと次の関連ある項目まで画面がスクロールします。

戻るとき／進めるとき

戻る／進むは、たどってきたページに戻したり、進めたりする機能です。(1ページずつ進めたり、戻したりするものではありません。)

たどって来た前のページに戻るときは〈SELECT◀〉ボタンを押します。戻る前に表示していたページを再び表示するときは〈SELECT▶〉ボタンを押します。

終わるときは

〈CANCEL〉ボタンを押します。



USBマウスでの操作

下線のある単語や文をクリックすると青色の文字は関連ある項目のページに、緑色の文字は調整表示に変わります。

①スクロール

表示されていない部分はページを移動して表示させます。この移動をスクロールといいます。

▲は上にスクロール、▼は下にスクロールします。

②目次

他のページを見ているとき、[目次]をクリックすると目次ページに戻ります。

③[戻る]，④[進む]

はたどってきたページに戻したり、進めたりする機能です。(1ページずつ進めたり、戻したりするものではありません。)

たどって来た前のページに戻るときは[戻る]をクリックします。戻る前に表示していたページを再び表示するときは[進む]をクリックします。

⑤ヘルプ

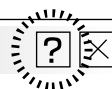
クリックするとヘルプの説明ページに移動します。

⑥終了

クリックするとヘルプ画面が閉じます。



ヘルプは〈HELP〉ボタンを押して直接開くことができます。開いた後は〈SELECT▼▲◀▶〉で見ることができます。

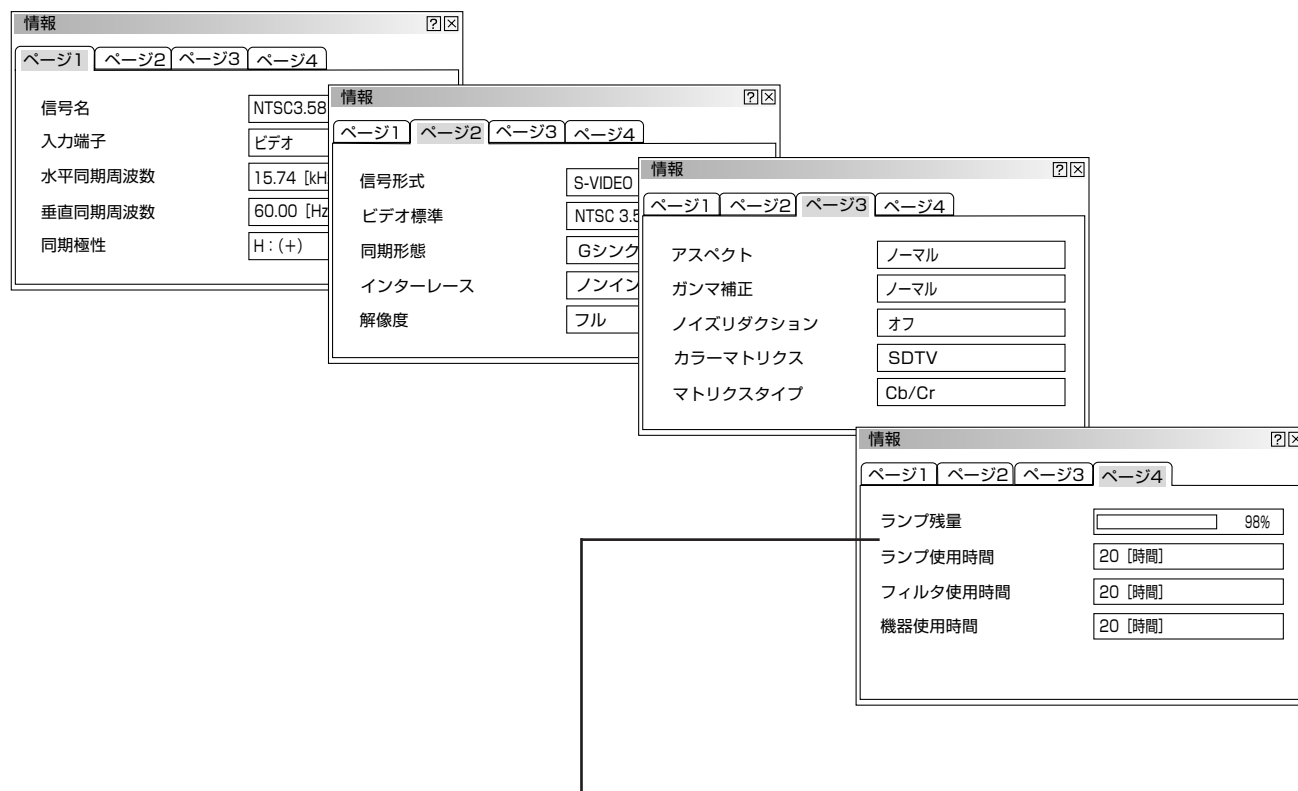


調整・設定画面のヘルプアイコンをUSBマウスでクリックするとその項目の操作説明が書かれたヘルプページを開きます。

■入力信号情報と機器情報を見る【情報】

入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間を表示します。

〈SELECT ◀/▶〉ボタンでページを選択します。



ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。
[ランプ使用時間] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「**ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。**」のメッセージが表示されます。(メッセージは、投写中ずっと表示されます。)新しいランプと交換してください。交換のしかたは「ランプ交換のしかた」97ページをご覧ください。
- ランプ寿命に到達（ランプ残量0%）後、[ランプ残量] 表示は赤色の時間表示に変わります。ランプモードの設定にかかわらず、さらに100時間使用した場合、電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードのみ使用 (最小)	エコモードのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ寿命	1500時間	2500時間	0%

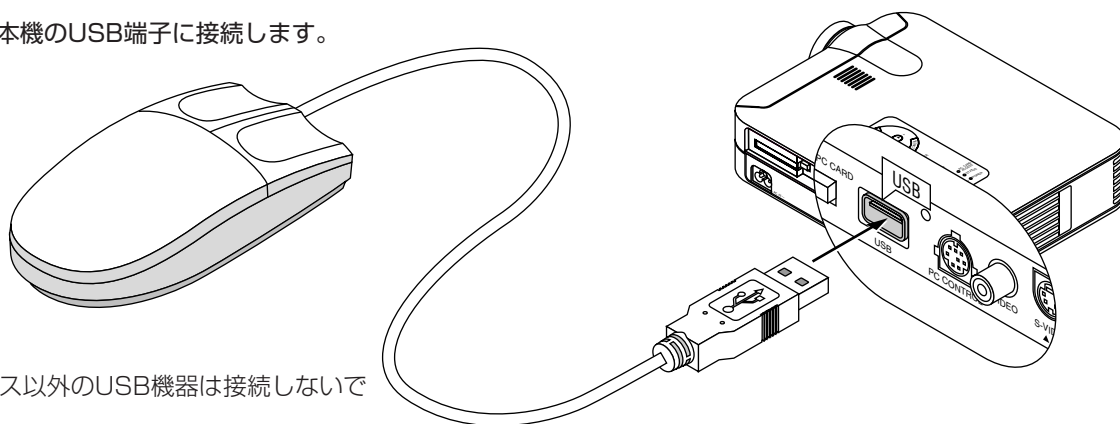
USBマウスの使いかた

本機のUSB端子に市販のUSB対応マウスを接続すると、本機のメニュー操作やチョークボード機能が使えます。チョークボードツールバーの機能説明は76ページ、チョークボードの使いかたは80ページをご覧ください。



USBマウスの接続

マウスのUSB端子を本機のUSB端子に接続します。



お願い

- USB端子にはマウス以外のUSB機器は接続しないでください。



USBマウスでメニューを操作する

■マウスカーソルの表示と非表示について

USBマウスを接続するとマウスカーソルが表示されます。マウス操作を一定時間行わないと非表示になります（約10秒）。再びマウス操作をすると、自動的にマウスカーソルが表示されます。



ベーシックメニュー

- 信号選択
- 映像調整
- 音量
- 画像設定
- 機器設定
- ツール
- ヘルプ
- アドバンスドメニューへ

- ✓ RGB
- ビデオ
- S-ビデオ
- ビューワ

■メニューの表示と非表示について

画面上ををクリックするとマウスカーソル位置にメニューを表示します。メニュー項目に合わせるだけで▶のある項目はサブメニューを表示します。メニューを閉じるにはメニュー以外の位置でクリックします。

■調整・設定表示の操作について

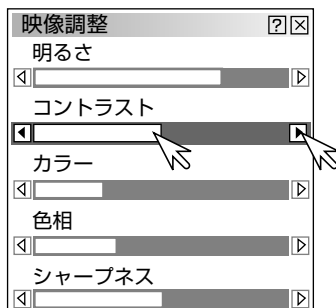
メニュー項目を選択してクリックすると調整表示や設定表示がでます。

操作例

調整表示は◀または▶をクリック（または押し続ける）して調整します。調整バーをクリックしたまま、左右にドラッグ（移動）して調整することもできます。

確定は⌂をクリックします。調整表示が閉じてメニュー表示に戻ります。調整・設定表示が出ているときに表示以外の所をクリックするとカーソル位置にメニューを表示します。複数の調整表示を出して調整できます。

ⓘをクリックするとその項目のヘルプ表示がでます。ヘルプの使いかたは77ページをご覧ください。



お知らせ

- メニューや調整・設定表示のタイトルバーの部分をクリックしてドラッグすることにより、位置を移動できます。
- USBマウスによっては使用できないものもあります。



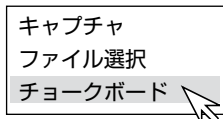
チョークボードの使いかた

USBマウスを使ってフリーハンドの文字や図形が描けます。プレゼンテーションにお使いください。
チョークボードツールバーの機能説明は76ページをご覧ください。

お知らせ

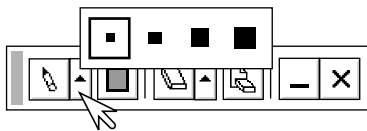
- チョークボードで描いた文字や図形をキャプチャ保存することはできません。
- チョークボードツールバーを表示しているとき／非表示アイコンで閉じているときは、メニュー選択はできません。
- 〈SOURCE〉 ボタンで入力を切り換えたり、入力信号が切り換えられたときは、強制終了します。
- キャプチャツールバーを表示しているときにチョークボードを選択すると、キャプチャ機能は終了します
- ビューワ機能を使用しているときにチョークボード機能は使用できますが、スライド切替などの操作を行うと描画はクリアされます。

準備： USBマウスを接続してください。しばらくするとマウスカーソルを表示します。



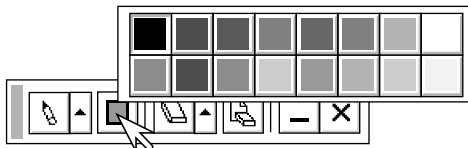
1 チョークボードツールバーを表示させる

マウスをクリックしてメニューを表示させ、[チョークボード] をクリックして選択します。チョークボードツールバーの表示に変わります。



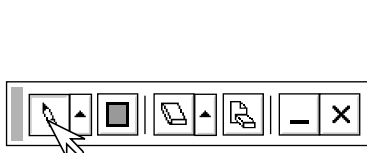
2 ペンの種類を選択する

[ペン] アイコンの▲を左クリックして線種一覧表示を出し、目的の線を左クリックして選択します。線種一覧表示が閉じます。



3 ペンの色を選択する

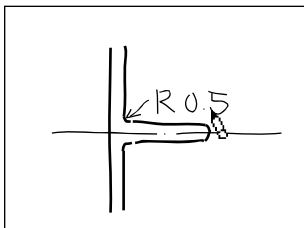
[カラー] アイコンを左クリックしてカラー一覧表示を出し、目的の色を左クリックして選択します。カラー一覧表示が閉じます。



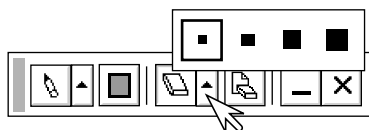
4 マウスを使って図形を描く

[ペン] アイコンを左クリックします。アイコンが凹んで描画モードに入ります。

左ボタンを押したまま移動させるとマウスの軌跡通り画面に描かれます。

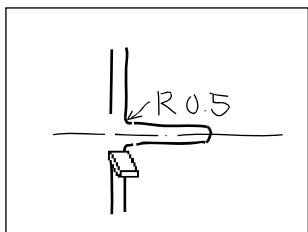


チョークボードツールバーを一時閉じておく場合は
[非表示] アイコンを左クリックします。
再び開くには右クリックします。



5 ある部分の線を消す

〔消しゴム〕アイコンの▲を左クリックして消しゴム線種一覧表示を出し、目的の太さを左クリックして選択します。消しゴム線種一覧表示が閉じます。



〔消しゴム〕アイコンを左クリックしてから、左ボタンを押したまま消したい部分をなぞります。



画面全体をクリアする場合

〔クリア〕アイコンを左クリックします。
全画面が消去されます。



6 チョークボードを終了する

〔終了〕アイコンを左クリックすると、全画面消去して終了します。

ビューワを使う前に

コンパクトフラッシュカードに保存したスライドを映し出すことができます。しかも、その場にパソコンが無くてもプロジェクタ単独でプレゼンテーションが可能です。会議やオフィスでのプレゼンテーション、デジタルカメラで撮影した画像の再生などに便利です。

こんなことができます

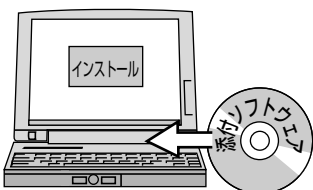
- パソコンを持ち運ばなくてもコンパクトフラッシュカードに資料を保存しておけばOK。
- 添付ソフトウェアを使ってスライドを簡単に作成。
- USBマウスを使えば投映画像に直接赤線などやフリーハンド図形を描いて説明できます。(チョークボード)
- 店頭での使用に便利な自動スライド切り換え機能があります。
- 目的のスライドを探するとき、縮小画面の中から選んでワンタッチ表示。
- ワードプロソフトや表計算ソフトの画面およびビデオ映像などをキャプチャしてスライドが作れます。(映像信号により上下方向に伸びることがあります)
- コンパクトフラッシュカード内のJPEG, BMP形式の画像やテキストまたはHTMLファイルを映すなど便利なファイル選択。
- デジタルカメラで撮影したコンパクトフラッシュカードも再生。(MS-DOSフォーマット形式のJPEG, BMPのみ)
- 1024×768ドットの高精細表示可能

ビューワで映るようになるには

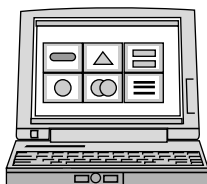
PCカードスロットのないパソコンは使用できません。



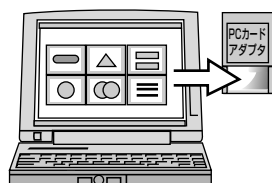
- 1 プロジェクタで映す資料をパソコンで作成する**
PowerPoint や文書作成ソフト、画像ソフトなどで資料を作成します。



- 2 添付ソフトウェアをパソコンにインストールする**
添付のCD-ROMの中にあります。(85ページ参照)

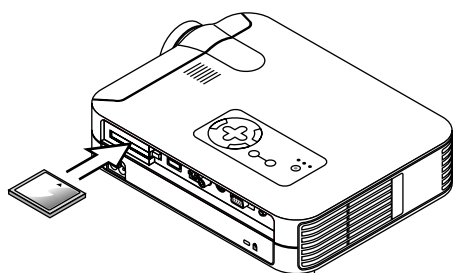


- 3 作成資料を編集しインデックス形式に変換する**
ビューワ専用ソフトウェアを使って作成した資料を取り込んだり、また、画像としてキャプチャして取り込み、再生順や画像サイズなどを調整してビューワで再生できるインデックス形式に変換します。
PowerPoint で作成した資料はPowerPoint変換ソフトウェアでインデックス形式に変換できます。
ソフトウェアの使いかたは各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。



4 コンパクトフラッシュカードに保存する

ビューワ専用ソフトウェアやPowerPoint変換ソフトウェアを使ってコンパクトフラッシュカードに保存します。

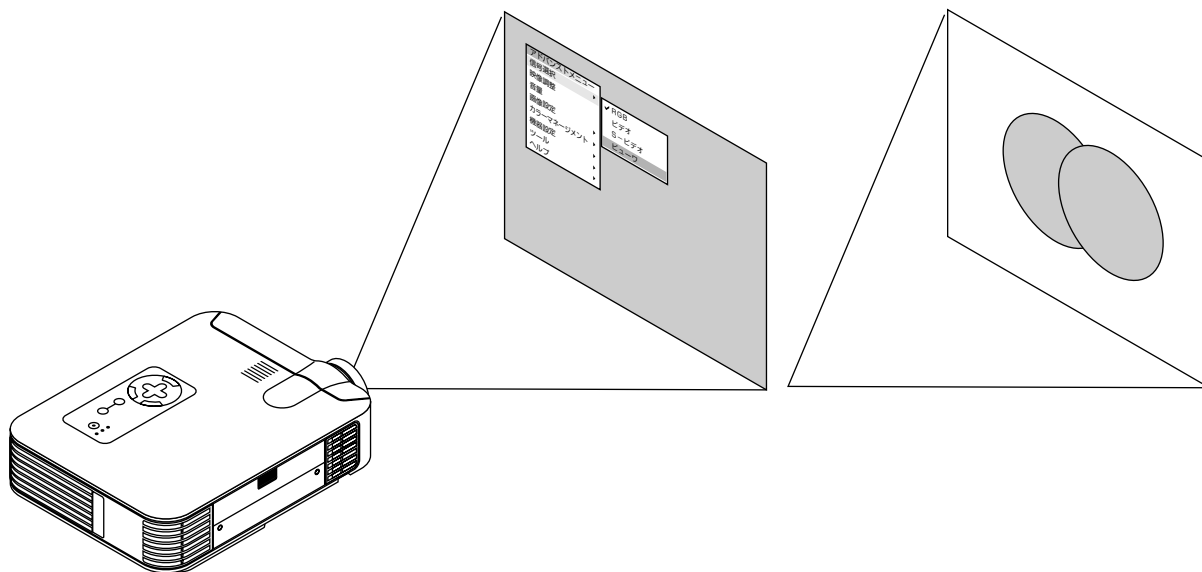


5 コンパクトフラッシュカードをプロジェクタにセットする

(84ページ参照)

6 スライドを映す

〈SOURCE〉ボタンまたはメニューより「ビューワ」入力を選択します。スライドが表示されます。(87ページ参照)

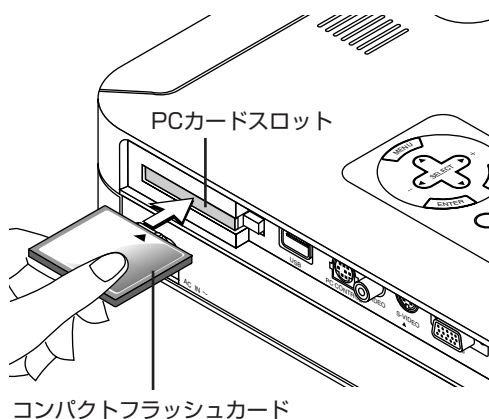


コンパクトフラッシュカードの出し入れ

コンパクトフラッシュカードは、パソコンで作成したプレゼンテーション資料のデータ保存やプロジェクタで映している画像（画像キャプチャ）の保存と再生に使います。

コンパクトフラッシュカードを挿入する向きについて

コンパクトフラッシュカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。必ずラベル面を上に向けて挿入してください。



■入れかた

表面を上にしてPCカードスロットに水平にゆっくり差し込みます。

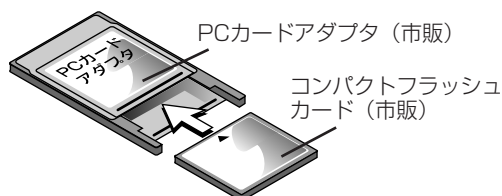
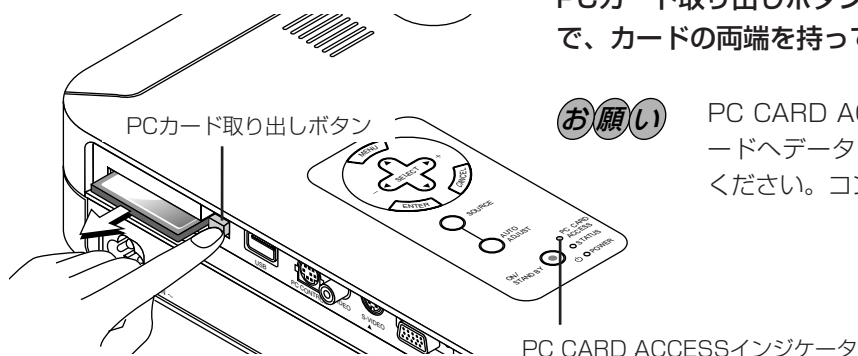
- 完全に差し込まれると、PCカード取り出しボタンが飛び出します。完全に差し込まれたことを確認してください。

お願い 挿入しづらい場合は無理に押し込まないでください。

■出しかた

PCカード取り出しボタンを押すとカードが少し飛び出しますので、カードの両端を持って取り出します。

お願い PC CARD ACCESSインジケータが点灯しているとき（カードへデータをアクセスしているとき）は取り出さないでください。コンパクトフラッシュカードが破損します。



パソコンのPCカードスロットに入れるとき

PCカードアダプタにコンパクトフラッシュカードを取り付けてください。

- コンパクトフラッシュカードを図のように正しい向きにして、PCカードアダプタにしっかり差し込みます。

お知らせ

コンパクトフラッシュカードについて

本機で利用できるメモ리카ードはCFA仕様のコンパクトフラッシュカードです。

NECの製品では以下のカードがご使用いただけますのでお買い求めください。

コンパクトフラッシュカード：PC-FH4S, PC-FH15S

添付ソフトウェアのインストール



プレゼンテーションを行うときに必要な資料はパソコンを使用してインデックス形式にし、コンパクトフラッシュカードに保存してから本機で再生します。

インデックス形式にするソフトウェアが添付のCD-ROMの中にありますのでWindows95/98/Me/NT4.0 (SP3 以降) /2000対応パソコンにインストールしてください。



注意



添付のCD-ROMはパーソナルコンピュータ専用です。パーソナルコンピュータ以外のCDプレーヤーでは再生しないでください。誤って再生すると、大音量で再生され耳やスピーカ等が損傷することがあります。

■インストールをする

準備：Windows がすでに起動している場合は、起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。終了させないと、インストールが正常終了しない場合があります。

また、添付ソフトウェアのインストール操作の途中で、中止したいときは「終了」をクリックして、ダイアログボックスの指示にしたがってください。

1 Windows を起動する

2 CD-ROMドライブ装置へ添付のCD-ROMディスクを挿入する

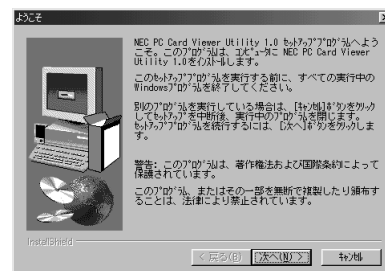
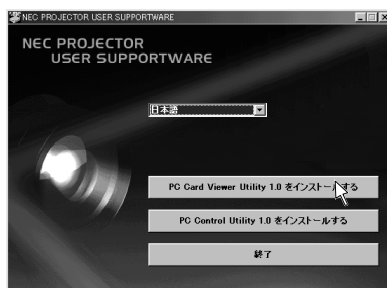
CD自動再生機能の働きで、自動的にCD-ROMのプログラムが起動し、目次画面が表示されます。

※ CD自動再生機能は、Windowsのコントロールパネルの「システム」→「デバイスマネージャ」→「CD-ROM」→「プロパティ」で「挿入の自動通知」がチェックされている場合に動作します。(初期設定はチェックされています。)

3 [PC Card Viewer Utility 1.0をインストールする] をクリックする

セットアップダイアログに変わります。

ダイアログの説明に従って操作をすすめてください。



■添付ソフトウェアの内容

PC Card Viewer Utility 1.0

ビューワスライド作成専用ソフトウェアです。

PC Card Viewer PPT Converter 1.0

Microsoft PowerPoint 95/97/2000で作成したファイルをビューワで直接再生できるようにインデックス変換するソフトウェアです。

PC Card Viewer Utility 1.0をインストールすると、同時にインストールされます。

PC Control Utility 1.0

パソコンからプロジェクタを直接制御することができます。

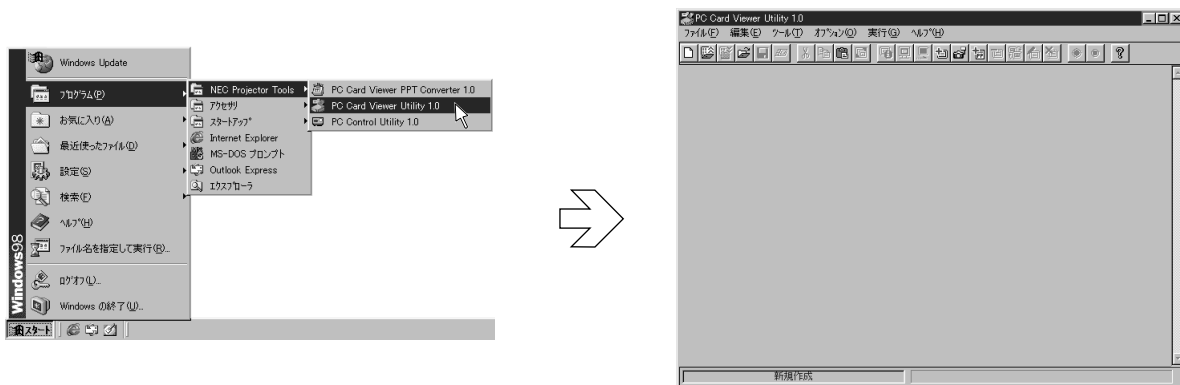
添付ソフトウェアの起動



パソコンでプレゼンテーション資料の編集をしてプロジェクタのビューワで映るようにインデックス形式に変えるためにはビューワ専用ソフトウェアを使います。PowerPointで作成した資料をそのままインデックス形式に変えるにはPowerPoint変換ソフトウェアを使います。ここでは、起動方法を説明します。各々使用方法につきましては、オンラインヘルプをご覧ください。

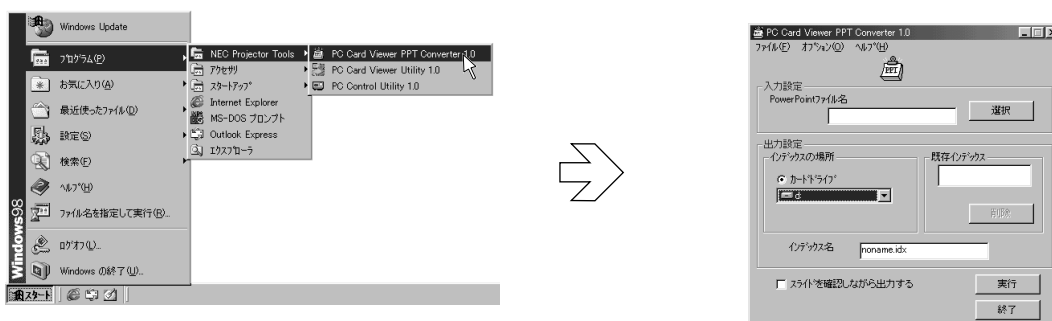
■ビューワ専用ソフトウェア [PC Card Viewer Utility 1.0] の起動

【スタート】メニューの【プログラム】の中にある【NEC Projector Tools】から【PC Card Viewer Utility 1.0】をクリックします。



■PowerPoint 変換ソフトウェア [PC Card Viewer PPT Converter 1.0] の起動

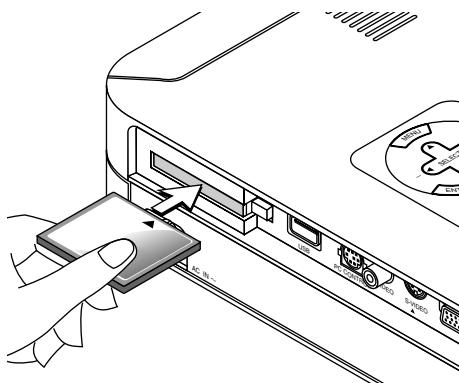
【スタート】メニューの【プログラム】の中にある【NEC Projector Tools】から【PC Card Viewer PPT Converter 1.0】をクリックします。



ビューワを使う

添付ソフトウェアを使って作成したプレゼンテーション資料のスライドを、プロジェクタで映すときの操作のしかたです。

スライドを映す



■スライドを映す基本操作

ビューワオプションが工場出荷時状態（手動再生）に設定されているときのスライドの映しかたで説明します。

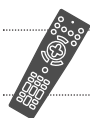
お知らせ

- コンパクトフラッシュカード内のフォルダに複数のスライドが保存されているとします。
- ビューワツールバーはビューワを選択したときは非表示になりますので、非表示の場合の説明です。ビューワツールバーでの操作は次ページをご覧ください。

1 PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入する

2 ビューワ入力を選択する

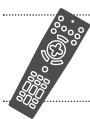
〈SOURCE〉ボタンまたはメニューより [ビューワ] を選択します。スライドが表示されます。



〈PC CARD〉ボタンを押すと、スライドが表示されます。

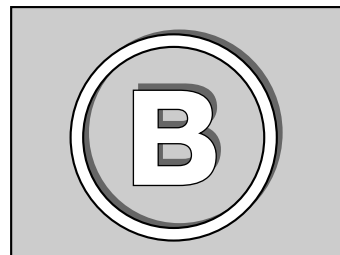
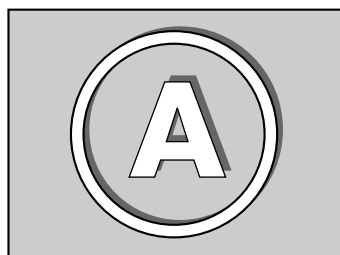
3 スライドを切り換える

〈SELECT ◀/▶〉ボタンを押すとスライドが逆送り／順送りと切り換わります。



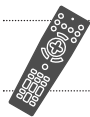
〈SLIDE + / -〉ボタンを押すとスライドが順送り／逆送りと切り換わります。

【スライド画面】



4 他の入力に切り換えるとき

〈SOURCE〉ボタンまたはメニューより他の入力を選択します。再び、ビューワ入力に切り換えると3で選択しているスライドが映ります。



〈VIDEO〉, 〈S-VIDEO〉, 〈RGB1〉ボタンで入力を選択します。

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

ビューワを使う

お知らせとお願い

■ ビューワツールバーを使って操作する

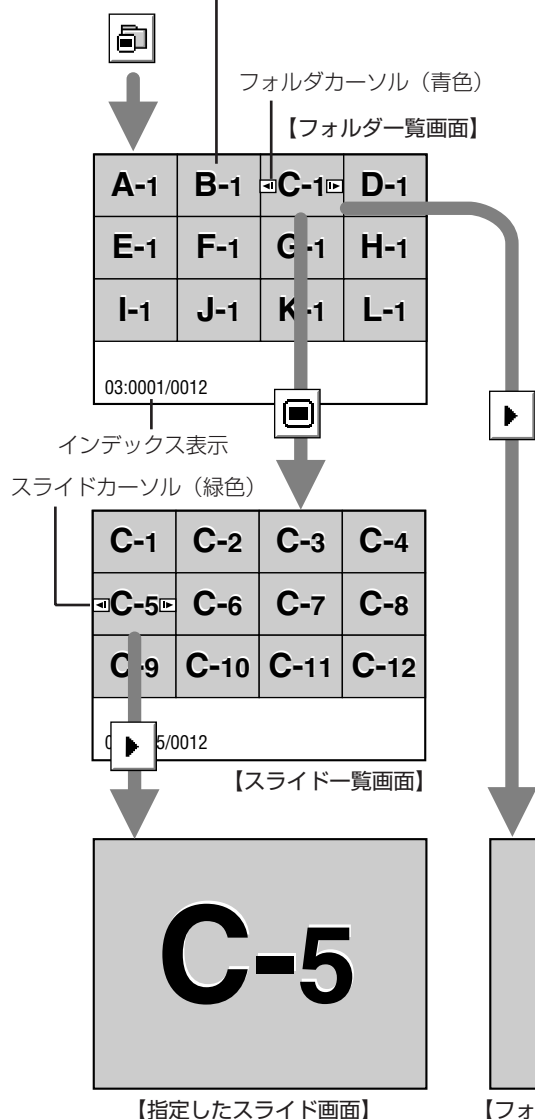
準備：PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入して、[ビューワ] 入力を選択します。

ビューワツールバーが表示されていない場合は、〈MENU〉ボタンを押して表示させてください。(画面左下に表示されます。)



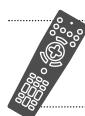
カーソル

このサムネイル（縮小）表示はフォルダインデックスの最初のスライドが表示されます。



【アイコンの選択と実行のしかた】

〈SELECT ◀▶〉ボタンで目的のアイコンにカーソルを合わせ、〈ENTER〉ボタンを押すと実行されます。以下“〇〇アイコンを選択”とご説明します。各アイコンの機能は50ページをご覧ください。



プロジェクタモードになっていないと操作できません。

〈PJ〉ボタンを押してボタンを光らせます。

フォルダー一覧からスライドを映す場合

1 フォルダ一覧を表示させる

フォルダ一覧 [📁] アイコンを選択します。

ビューワオプションで「フォルダ一覧表示」をONに設定している場合は、ビューワ入力を選択した時にフォルダ一覧を表示します。

2 表示したいフォルダを選択する

逆送り／順送り [◀▶] アイコンでフォルダカーソル（青色）を目的のフォルダに合わせます。（フォルダカーソルは選択するごとに移動します。）

フォルダの始めのスライドから再生する場合は、再生 [▶] アイコンを選択してください。スライド画面に変わります。

目的のスライドを探す場合は、スライド一覧 [📄] アイコンを選択します。スライド一覧表示に変わります。

3 表示したいスライドを指定する

逆送り／順送り [◀▶] アイコンでスライドカーソルを目的のスライドに合わせ再生 [▶] アイコンを選択します。指定したスライドが表示されます。

●スライドの切換操作は89, 90ページをご覧ください。

インデックス表示の意味

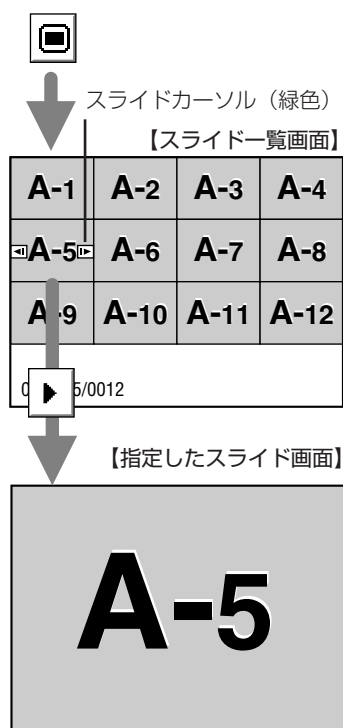
選択しているスライド番号
(例：C-1～C-12のうちの1枚目)

03:0001/0012

選択しているスライドが入っているフォルダ番号 フォルダ内の全スライド数
(例：A～Lの中の3番目) (例：C-1～C-12 12枚)

お知らせ

フォルダ一覧に表示できるのは、最大12個までのフォルダです。右下に表示されたフォルダは常にキャプチャ専用フォルダとなっています。ただし、キャプチャが行われている場合のみ表示されます。コンパクトフラッシュカードに13個以上のフォルダを保存して、フォルダ一覧で表示を行いたい場合は、ビューワ専用ソフトウェアの「ファイル」メニューの「フォルダインデックスの編集」で、表示したいフォルダをフォルダインデックスの先頭から12番目以内に移動してください。フォルダインデックスについて詳しくはビューワ専用ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



スライド一覧画面から目的のスライドを映す場合

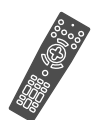
1 スライド一覧画面を表示させる

スライド一覧 [] アイコンを選択してください。

2 表示したいスライドを指定する

逆送り／順送り [◀/▶] アイコンでスライドカーソル（緑色）を目的のスライドに合わせます。（スライドカーソルは選択することによって移動します。）

次に、再生 [▶] アイコンを選択します。指定したスライドが表示されます。



〈FOLDER LIST〉 ボタンを押すとフォルダー一覧画面を表示します。

〈SLIDE LIST〉 ボタンを押すとスライド一覧画面を表示します。

〈SLIDE +／-〉 ボタンを押すとスライドが切り換わります。

■ 自動再生でスライドを切り換える

ビューワオプションで [自動再生] をONに設定している場合、[自動再生間隔] で設定されている時間で自動的にスライドが切り換わります。



設定のしかたは65ページをご覧ください。

ビューワ専用ソフトウェアでスライドを作成し、再生間隔を設定している場合はその時間が有効になります。



再生 [▶] アイコンを選択すると自動で再生が始まります。



- ビューワオプションで [フォルダー一覧表示] をONに設定している場合やフォルダー一覧 [] アイコンを選択した場合は、表示したいフォルダを選択した後に自動再生を開始します。
- スライド一覧 [] アイコンを選択した場合は、選択したスライドから自動再生を開始します。
- 他の入力に切り換えて再びビューワに戻ったときは、続きから自動再生を開始します。

自動再生を停止するとき

停止 [■] アイコンを選択します。

逆送り／順送り [◀/▶] アイコンを選択しても自動再生は停止します。



ビューワオプションの設定を変えたい場合



設定アイコンを選択するとビューワオプションの設定表示が開きます。設定のしかたは65ページをご覧ください。フォルダー一覧表示のON/OFF、自動再生／手動再生の設定、自動再生間隔の設定変更ができます。

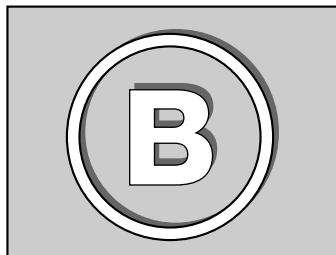
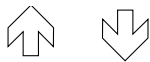
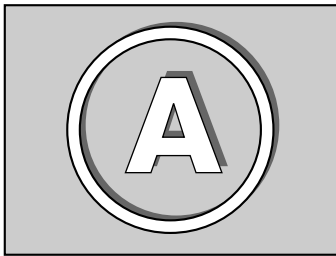
■ 手動再生でスライドを切り換える

ビューワオプションで「手動再生」を設定している場合、手動でスライドを切り換えます。

設定のしかたは65ページをご覧ください。



【スライド画面】



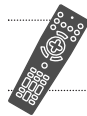
再生 [▶] アイコンを選択するとスライドが映ります。



- ビューワオプションの「フォルダー一覧表示」をONに設定している場合やフォルダー一覧 [📁] アイコンを選択した場合は、表示したいフォルダを選択した後に画面いっぱいに映ります。
- ビューワオプションの「フォルダー一覧表示」をOFFに設定している場合は、始めのフォルダのスライドが画面いっぱいに映ります。

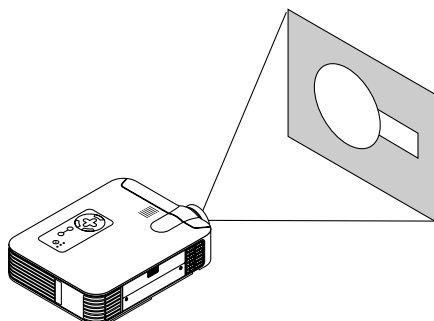
スライドの切換

逆送り／順送り [◀/▶] アイコンで切り換わります。



〈SLIDE +／-〉ボタンでスライドを切り換えます。

プロジェクタの表示画像をキャプチャ(保存)する



■表示画像をコンパクトフラッシュカードに保存する

1 PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入する

2 保存したい画像をプロジェクタで映す

3 キャプチャツールバーを表示する

メニューの[キャプチャ]を選択し〈ENTER〉ボタンを押します。メニュー表示が閉じキャプチャツールバーが左下に表示されます。

【アイコンの選択と実行のしかた】

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで目的のアイコンにカーソルを合わせ、〈ENTER〉ボタンを押すと実行されます。以下“〇〇アイコンを選択”とご説明します。各アイコンの機能は73ページをご覧ください。



プロジェクタモードになっていないと操作できません。
〈PJ〉ボタンを押してボタンを光らせます。

カーソル



4 キャプチャを開始する

キャプチャ [] アイコンを選択すると [] アイコンを画面中央に表示し、キャプチャを開始します。



[] アイコンを表示中は、コンパクトフラッシュカードを取り出した
り、プロジェクタ本体の電源を切ったりしないでください。コンパク
トフラッシュカードが破損します。

- 保存が完了すると [] アイコンが消えます。
(5～10秒かかります。解像度や絵柄によりさらに時間がかかる場合があります。)
- 保存ができなかったり、空き容量がないときは[カードエラー]を表示します。

ビデオ映像や動画のキャプチャは、静止画 [] アイコンを使用して目的の場
面を静止画にしてから、キャプチャ操作をすると便利です。

お知らせ

- キャプチャされた画像ファイルのサイズは入力信号の解像度により異なります。
- キャプチャした画像ファイルをビューワ機能で表示する場合、信号によっては画像サイズが異なる場合があります。
- JPEG形式で画像データを圧縮しておりますので、多少画質が劣化します。
- 画像の削除は、ビューワツールバーの[削除]アイコンで行います。(51ページ参照)
- 本機の表示画素数を超える解像度のキャプチャ画像は、正しく表示されません。

■キャプチャされた画像を見る

1 ビューワを選択する

〈SOURCE〉ボタンまたはメニューの「ビューワ」を選択します。
ビューワツールバーが表示されていない場合は、〈MENU〉ボタンを押してビューワツールバーを表示します。

【アイコンの選択と実行のしかた】

〈SELECT ◀/▶〉ボタンで目的のアイコンにカーソルを合わせ、〈ENTER〉ボタンを押すと実行されます。以下「〇〇アイコンを選択」とご説明します。各アイコンの機能は50ページをご覧ください。



カーソル

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
フォルダカーソル 09 : 0001 / 0006			
			Cap 1

キャプチャ専用フォルダサムネイル(縮小画面)には最初にキャプチャした画面が表示されます



プロジェクタモードになっていないと操作できません。
〈PJ〉ボタンを押してボタンを光らせます。

2 フォルダ一覧画像を映し、右下のフォルダを選択する

右下のフォルダがキャプチャ専用フォルダです。
フォルダ一覧 [] アイコンを選択するとフォルダ一覧画面を表示します。
順送り [▶] アイコンを選択して最後のフォルダにフォルダカーソルを合わせます。
(ビューワオプションの「フォルダ一覧表示」を設定している場合は、ビューワ入力を選択した時に表示します。)

3 キャプチャ画像を映す (ただし、キャプチャ画像がある場合)

キャプチャ画像のスライドを始めから再生する場合
再生 [▶] アイコンを選択します。

目的のキャプチャ画像を再生する場合

スライド一覧 [] アイコンを選択し、逆送り/順送り [◀/▶] アイコンでスライドカーソルを目的のスライドに合わせます。
次に、再生 [▶] アイコンを選択します。

指定したキャプチャ画像が映ります。

●逆送り/順送り [◀/▶] アイコンの選択でスライドが切り換わります。

スライドカーソル

Cap 1	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5	Cap 6		
スライドカーソル 09 : 0001 / 0006			



フォルダ一覧に表示の右下のフォルダは常にキャプチャ専用フォルダとなっています。
コンパクトフラッシュカードに13個以上のインデックスを保存して、フォルダ一覧で表示を行いたい場合は、ビューワ専用ソフトウェアの「ファイル」メニューの「フォルダインデックスの編集」で、表示したいインデックスをフォルダインデックスの先頭から12番目以内に移動してください。インデックスについて詳しくはビューワ専用ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

■キャプチャされた画像を削除する

削除にはキャプチャ専用フォルダ内の全削除と1つのスライドの削除があります。ビューワ専用ソフトウェアで作成・編集されたスライドやパソコンのソフトで作成されたスライドの削除はできません。

フォルダの削除

準備：「キャプチャされた画像を見る」の操作をしてフォルダー一覧画面を表示します。

- 1 右下のキャプチャ専用フォルダを選択する
順送り [▶] アイコンを選択して画面のフォルダカーソルをキャプチャ専用フォルダに合わせます。
- 2 [削除] アイコンを選択する
削除 [🗑️] アイコンを選択します。
これでキャプチャフォルダが削除されました。



カーソル

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
フォルダカーソル			
09 : 0001 / 0006			

1つのキャプチャファイルの削除

準備：「キャプチャされた画像を見る」の操作をしてフォルダー一覧画面を表示します。

- 1 右下のキャプチャ専用フォルダを選択する
順送り [▶] アイコンを選択して画面のフォルダカーソルをキャプチャ専用フォルダに合わせ、スライド一覧 [📄] アイコンを選択します。
キャプチャ画像のスライド一覧が表示されます。
- 2 削除するスライドを選択する
逆送り／順送り [◀/▶] アイコンを選んで、削除するスライドに画面のスライドカーソルを合わせます。
- 3 [削除] アイコンを選択する
削除 [🗑️] アイコンを選択します。
これで1つのキャプチャ画像が削除されました。



カーソル

スライドカーソル

◀	Cap 1	▶	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5		Cap 6			

09 : 0001 / 0006



■キャプチャされた画像をパソコンで削除・保存する

キャプチャされた画像はパソコンで削除したりパソコンに保存することができます。

(パソコンでの削除はキャプチャされた画像全てを一括して消去します。)



コンパクトフラッシュカードはPCカードアダプタに取り付けてからパソコンのPCカードスロットに挿入してください。

画像フォルダを削除する

- 1 画像がキャプチャされたコンパクトフラッシュカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。
- 2 エクスプローラ等で、そのコンパクトフラッシュカード内のフォルダを表示させてください。
- 3 「[_cap_]」というフォルダがありますので、そのフォルダを削除します。

画像をパソコンに保存するとき

- 1 キャプチャ画像を保存したコンパクトフラッシュカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。
- 2 エクスプローラ等で、そのコンパクトフラッシュカード内の「[_cap_]」フォルダを開きます。
- 3 ○○○○.jpg (○○○○は任意の数字 .jpg はJPEGフォーマット形式を示す拡張子) としてファイル名が表示されますので、必要なファイルをハードディスクに保存してください。

- ハードディスクなどに保存した画像ファイルは、ビューワ専用ソフトウェア PC Card Viewer Utility 1.0 にて呼び出しプレゼンテーション資料として、再びコンパクトフラッシュカードに保存することができます。



デジタルカメラで撮影した画像を見る

以下の条件に合う場合には、ビューワでの再生が可能です。

- 画像をMS-DOSフォーマットのコンパクトフラッシュカードに保存できる。
- 本機に対応している形式(以下の条件)の画像で保存できる。
ビューワでは、カード上でのディレクトリを検索しその中に存在するJPEGまたはBMP形式の画像をスライドとして認識します。
表示の対象となるディレクトリはルートディレクトリから2階層かつ最初から12個以内です。



- スライドとして認識する画像は1つのディレクトリにつき128枚までです。
- 編集を行うには添付の専用ソフトウェアでコンパクトフラッシュカードから画像を読み込んで編集し、別のコンパクトフラッシュカードに画像を保存してください。

キャプチャした画像およびデジタルカメラで撮影した画像を見るには

〈SOURCE〉ボタンまたはメニューより「ビューワ」を選んで手動または自動で再生します。

ファイル選択のしかた

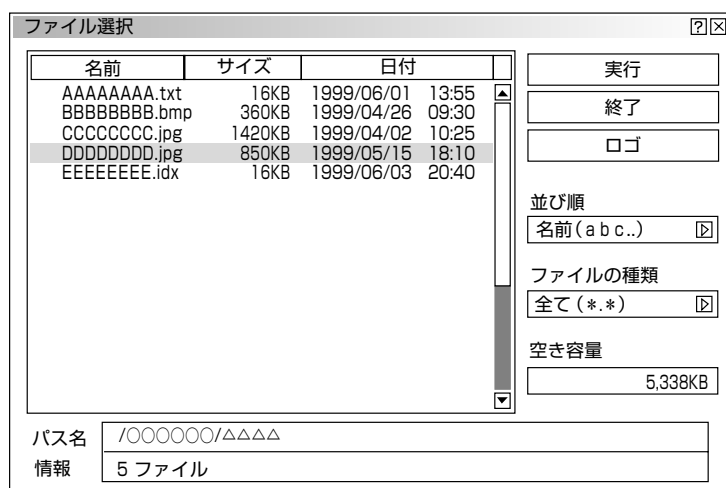
パソコンのお手持ちのソフトウェアで作成した資料をコンパクトフラッシュカードに保存してプロジェクタに映すことができます。ファイル選択は目的のファイルを早く見つけることができます。

ここでは、使いかた例を説明します。各項目の機能説明は74ページをご覧ください。

1 PCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入する

2 [ファイル選択] 表示を出す

メニューの「ファイル選択」を選択するとファイル選択画面が表示されます。ファイルリストにコンパクトフラッシュカードのファイル名などが表示されます。



例：昇順（a→zの順）にファイル名を並び替えます。

3 [並び順] を選択する

ファイルリストにカーソルがある場合は、〈SELECT▶〉ボタンを押してください。[実行] にカーソルが移動します。

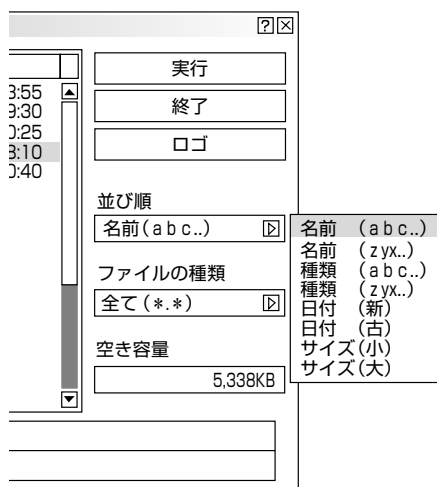
〈SELECT▲/▼〉ボタンを押してカーソルを「並び順」に合わせ

〈SELECT▶〉ボタン押してプルダウンリストを出します。

〈SELECT▲/▼〉ボタンを押してカーソルを「名前 (abc..)」に合わせ

〈ENTER〉ボタンを押すとファイルリストの並び替えが実行されます。

- ファイルの種類で「全て」を選択するとカード内の全てのファイルリストが表示されますが、[実行] して表示できるファイル形式は JPEG, BMP, TEXT, HTML, INDEX の5種類です。
(JPEG, BMPのファイル形式は「実行」して表示させるとビューフ入力に切り換わります。)



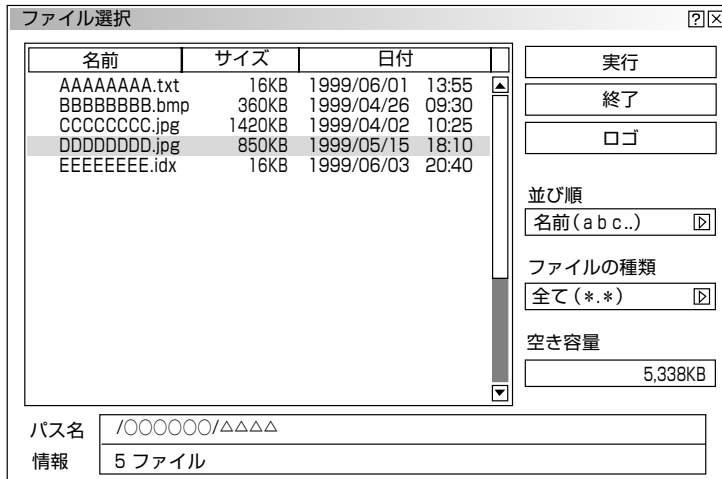
次ページに続きます

4 ファイルを選択する

〈SELECT▲〉ボタンを押して「実行」にカーソルを合わせます。

〈SELECT ◀〉ボタンを押してカーソルをファイルリストに移動します。

〈SELECT▲/▼〉ボタンを押してカーソルを目的のファイルに合わせます。



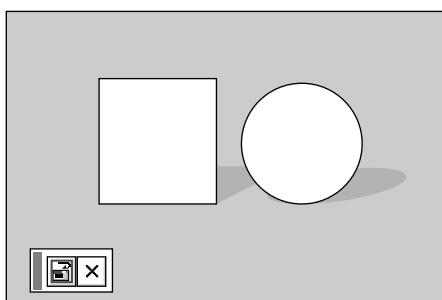
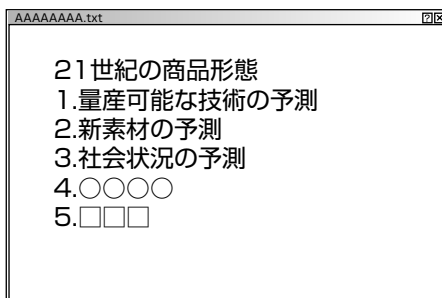
5 ファイルを映す

〈SELECT ▶〉ボタンを押してカーソルを「実行」に合わせます。

〈ENTER〉ボタンを押すと選択したファイルが映ります。

JPEG, BMP以外のファイルを選択した場合は、ウインドウが画面いっぱいに表示されます。

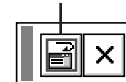
〈CANCEL〉ボタンを押すとファイル選択画面に戻ります。



JPEG, BMPファイルを選択した場合は、自動的にビューワ入力に切り換わります。

画面左下に表示されたツールバーの「戻る」アイコンを選択すると、ファイル選択画面に戻ります。

戻るアイコン



他のファイルを映す場合は**2**の操作から行ってください。

6 終了する

カーソルを「終了」に合わせて 〈ENTER〉ボタンを押すとファイル選択画面が閉じます。

ランプ交換のしかた

光源につかわれているランプの使用時間が1500時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えるとSTATUSインジケータが赤点灯し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。従ってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安は78ページをご覧ください。

- 交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際は交換用ランプキット型名LT57LPとご指定ください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスがついています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れる時には、小さな破裂音が発生し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、当社指定のサービス拠点または販売店に交換を依頼してください。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。
- フィルタの交換も同時に行ってください。（99ページ参照）



注意

ランプの交換は、電源を切り1分間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

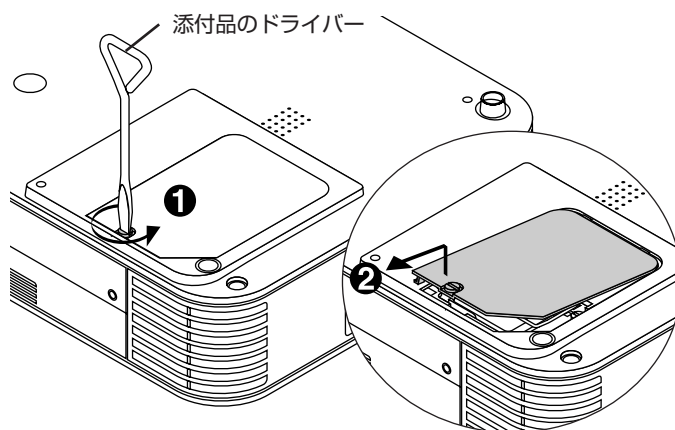
ランプキットにはマイナスドライバーを添付しております。ランプカバーやランプハウスの取り外しにお使いください。

1 プロジェクタを裏返しにします

傷つかないように、柔らかい布などを敷いた上に静かに置いてください。

2 ランプカバーを外す

- ① ランプカバーのネジを左に空転するまでゆるめます。ネジは外れません。
- ② ランプカバーのネジ側を持ち上げ、引いて外します。

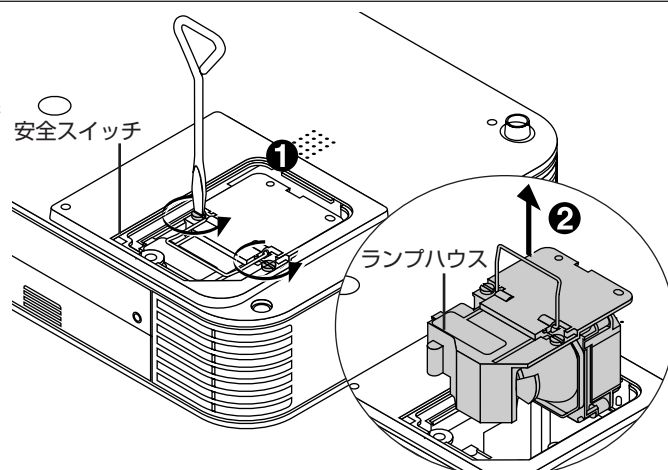


3 ランプハウスを外す

- ① ランプハウス固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめます。ネジは外れません。
- ② ランプハウスの取っ手を持って引きます。



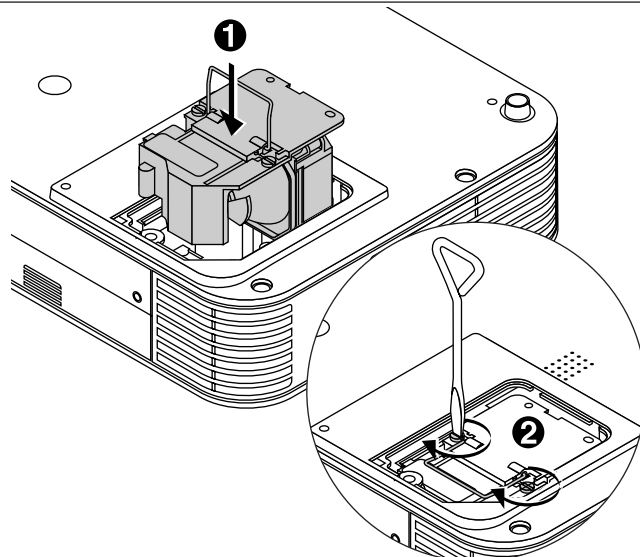
本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



4 新しいランプハウスを取り付ける

- ❶ ランプハウスを静かに入れます。
- ❷ ランプハウス固定のネジ（2箇所）を右に回してしめます。
ランプハウスの取っ手を倒してください。

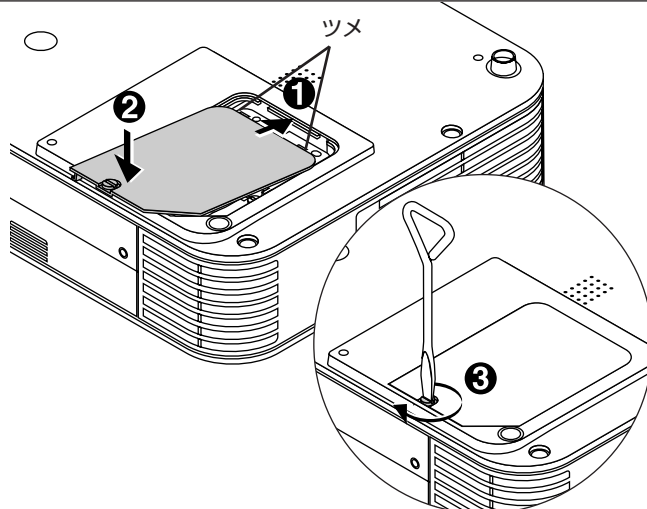
ネジは確実にしめてください。



5 ランプカバーを取り付ける

- ❶ ランプカバーのツメを本体の穴に入れます。
- ❷ ランプカバーを閉めます。
- ❸ ランプカバーのネジを右に回してしめます。

ネジは確実にしめてください。



6 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする

電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてから行います。
メニューの [セットアップ] → [ページ4] の [ランプ時間クリア] を選択して、[確定] を選択してください。
(70ページ参照)

これで、ランプ交換が終わりました。

お知らせ

ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると電源が入らなくなります。そのような場合は、スタンバイ状態でリモコンの〈HELP〉ボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、STATUSインジケータが消灯することで確認できます。

フィルタの交換と清掃

- 吸気孔のフィルタはプロジェクタ内部をほこりや汚れから守っています。
フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
[メニュー設定] → [ページ2] の [メッセージ・フィルタ清掃] を [表示] に設定すると100時間ごとにメッセージが表示されます。(63ページ参照)
- フィルタの清掃または交換が終了したら、フィルタ使用時間をリセットしてください。
電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。
メニューの [セットアップ] → [ページ4] の [フィルタ使用時間クリア] を選択し、[確定] を選択して、フィルタ使用時間をリセットしてください。(70ページ参照)
- 交換用ランプキット型名LT57LPを購入しますと、フィルタ付カバーが添付されていますので、ランプ交換の際は同時にフィルタも交換してください。

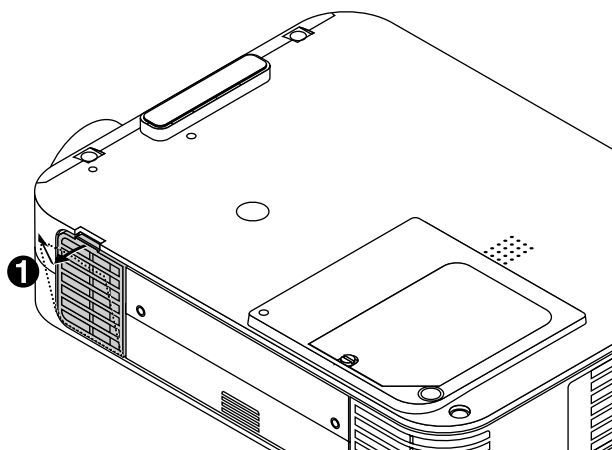
■フィルタの交換

交換の際のご注意

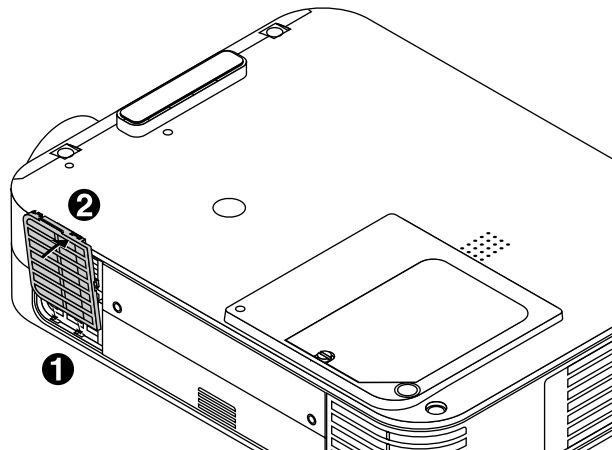
- フィルタを交換するときは、プロジェクタ本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクタは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタカバーからスポンジをはがさないでください。また、スポンジを水洗いしないでください。目づまりの原因となります。
- 必ずフィルタカバーを正しく取り付けてください。カバーを正しく取り付けていないとプロジェクタの電源が入りません。

ランプの交換がすみましたら続けて、下記のようにフィルタを交換します。

1 フィルタカバーを引いて**①** 外します。



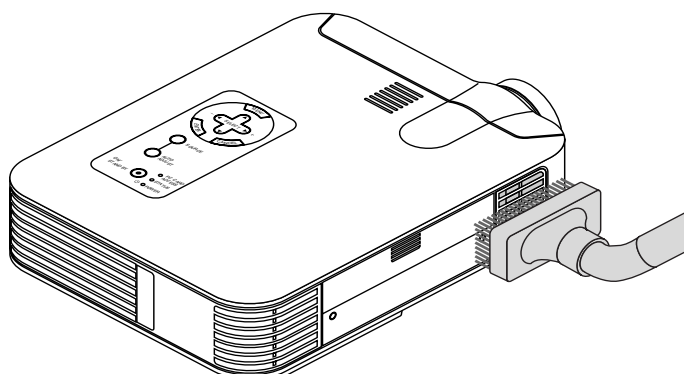
2 新しいフィルタカバーの**①** ツメを本体に入れ
② カバーを閉めます。



■フィルタの清掃

フィルタは本体側面にあります。

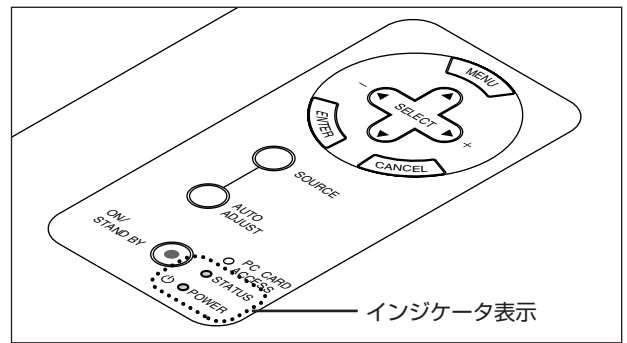
電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。
掃除機でフィルタカバー越しにフィルタの掃除を行ってください。(フィルタカバーをはがす必要はありません。)



インジケータ表示一覧表

本体操作部のインジケータ表示が点灯したり点滅しているときは下記の異常を知らせています。

電源を入れたときも動作状態をインジケータ表示で知らせます（正常状態）。34ページ「2.プロジェクト電源の入/切」をご覧ください。



インジケータ表示	プロジェクトの状態	行なってください
● STATUS 赤点灯 ○ ● POWER 緑点灯	ランプ寿命	● ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。
● STATUS 赤点灯 ○ ● POWER オレンジ点灯	ランプ寿命到達後100時間	● 電源は入りません。新しいランプに交換してください。
● STATUS 赤点滅 (0.5秒点灯/0.5秒消灯) ○ ● POWER オレンジ点灯	カバー異常	● フィルタカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。 ● ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
● STATUS 赤点滅 (2秒点灯/2秒消灯) ○ ● POWER オレンジ点灯	温度異常	● 温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、プロジェクトを涼しい場所へ移動してください。
● STATUS 赤点滅 (4秒点灯/4秒消灯) ○ ● POWER オレンジ点灯	ファン異常	● 冷却ファンの回転が停止しています。販売店またはNECフィールディング株式会社へ修理を依頼してください。
● STATUS 赤点滅 (6秒点灯/6秒消灯) ○ ● POWER オレンジ点灯	ランプ不点灯	● ランプが点灯しません。1分以上待つて再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店またはNECフィールディング株式会社にご相談ください。

インジケータが上記以外の間隔で点滅しているときは、販売店またはNECフィールディング株式会社にご相談ください。

温度プロテクタについて

プロジェクト内部の温度が異常に高くなるとランプが消灯しSTATUSインジケータが点滅（2秒点灯/2秒消灯）します。

同時に温度プロテクタが働いてプロジェクトの電源が切れることがあります。（この場合はインジケータは点灯しません。）このときは、以下のことを行ってください。

1 電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。

2 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。

- 周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- フィルタおよび通風孔にほこりがたまっていたら掃除してください。（99、102ページ参照）

3 プロジェクトの温度が下がるまで、約60分待ってください。

以上のことを行っても解決しないときは、販売店またはNECフィールディング株式会社にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い求めの販売店またはNECフィールディング（株）支店・営業所にお問い合わせください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ● ランプカバーが正しく取り付けられていますか。 ● フィルタカバーが正しく取り付けられていますか。 ● 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	33 98 99 100
映像が出ない	● 接続されている入力を選んでいますか。 ● 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。 ● 画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。 ● ノート型パソコンをご使用の場合、プロジェクタと接続してからパソコンの電源をいれましたか。また、パソコンの設定が外部RGB出力端子へ出力されない設定になっていませんか。 ノート型パソコンは、多くの場合、プロジェクタと接続した状態で電源を入れないと外部RGB出力端子に信号が出力されません。 ● DVDプレーヤをRGB端子と接続しているとき、映像が出ない場合RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。 ● RGB入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。 ● 各設定が正しく調整・設定されていますか。 [データリセット]を行ってください。 ● RGB入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	40・50 28～32 52 39 67 106 57 55
映像が歪む	● 正しく設置されていますか。 台形状に歪む場合は台形歪補正の調整を行ってください。	37 53
映像がぼやける	● レンズのフォーカスは合っていますか。 ● 投写画面とプロジェクタが正しい角度で設置されていますか。 ● 投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。 ● レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	36 37 26・104 —
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	● RGB入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。 ● RGB入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。パソコンの解像度を確認してください。	55 106
RGB入力文字がチラついたり色がずれている場合	● 画像の自動調整をONにしてください。または画像の自動調整がOFF（手動）の場合はクロック周波数と位相を調整してください。	68・55
リモコンで操作できない	● リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 ● リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。 ● リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。 ● リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	18 18 18 18
STATUSインジケータが点滅する	● インジケータ表示一覧表をご覧ください。	100
USBマウスが動作しない	● USBマウスが正しく取り付けられていますか。（マウスによっては使用できないものもあります。）	79

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

ビューワを使う

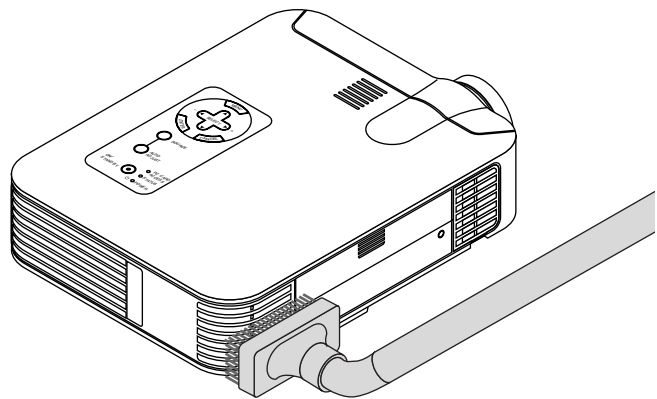
お知らせとお願い

お手入れについて

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットのよごれは……

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。



- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

本体内部の掃除については、お買いあげの販売店またはNECフィールディング（株）支店・営業所にお問い合わせください。

■レンズのよごれは……

- カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

仕 様

形 名			LT157J
方 式			3原色液晶シャッタ投映方式
主要部品仕様	液 晶 パネル	サ イ ズ	0.9型 (MLA付) ×3枚
		駆 動 方 式	TFTアクティブマトリクス
		画 素 数	786,432画素 (1024ドット×768ライン) ×3枚
		配 列	ストライプ
	投 映 レンズ		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス
	光 源		130W NSHランプ (110W エコモード時)
光 学 装 置			ダイクロミックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式
画 面 サ イ ズ			最小 25型 (投写距離 1.2m・テレ時) 最大300型 (投写距離 12.3m・ワイド時)
色 再 現 性			フルカラー 1,677万色
音 声 出 力			0.5W モノラルスピーカ内蔵
走 査 周 波 数	水 平	15 ～100 kHz (RGB入力は24kHz 以上)	
	垂 直	50 ～120 Hz	
調 整 機 能			ズーム、フォーカス (ともにマニュアル) 入力信号切換 (RGB/コンポーネント /S-ビデオ/ビデオ/ビューワ)、画像自動調整、画面拡大、 台形歪補正、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、電源オン/オフ、 オンスクリーン表示/選択 (明るさ、コントラスト、カラー* ¹ 、色相* ¹ 、シャープネス* ² 、音量)
アナログRGB入力	入 力 信 号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ：0.7Vp-p/75Ω
		同期信号	セパレート：TTLレベル (正/負) シンクオングリーン：0.3Vp-p 負 (映像：0.7Vp-p 正)
	入 力 端 子	映 像	RGB ミニD-Sub 15ピン×1 (コンポーネント入力と共用)
最大表示解像度 (横×縦)			1600 × 1200 (アドバンスド・アキュブレンドによる表示)
ビデオ入力	入 力 信 号	信号方式	NTSC 3.58/NTSC 4.43/PAL/PAL60/SECAM
		映像信号	コンポジット：1.0Vp-p/75Ω S映像端子：Y信号 (1.0Vp-p/75Ω)、C信号 (0.28Vp-p/75Ω)
		入 力 端 子	映 像
	音 声	音声信号	
音声入力端子		ミニジャック×1	
水 平 解 像 度			NTSC：500TV本
使 用 環 境			動作温度：5～35℃ 動作湿度：20～80% (ただし結露しないこと) 保存温度：－10～50℃ 保存湿度：20～80% (ただし結露しないこと)
電 源			AC 100V 50/60Hz
最大消費電力			200W* ³
定格入力電流			2.2A
外 形 寸 法			207 (幅) ×63 (高) ×266 (奥行) mm (突起部含まず)
質 量			2.2kg

*1: NTSC/PAL/SECAM/ビデオ/コンポーネント入力時のみ調整可能です。

*2: NTSC/PAL/SECAM/ビデオ入力時のみ調整可能です。

*3: 本製品は経済産業省の「家電汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づいた適合品です。

- USB端子はUSB規格 Ver 1.0 に準拠、ただしUSBマウスのみ対応
- 液晶パネルの有効画素数は99.99%以上です。0.01%以下の点欠陥が生じる場合があります。ご了承ください。
- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

はじめに

目 次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

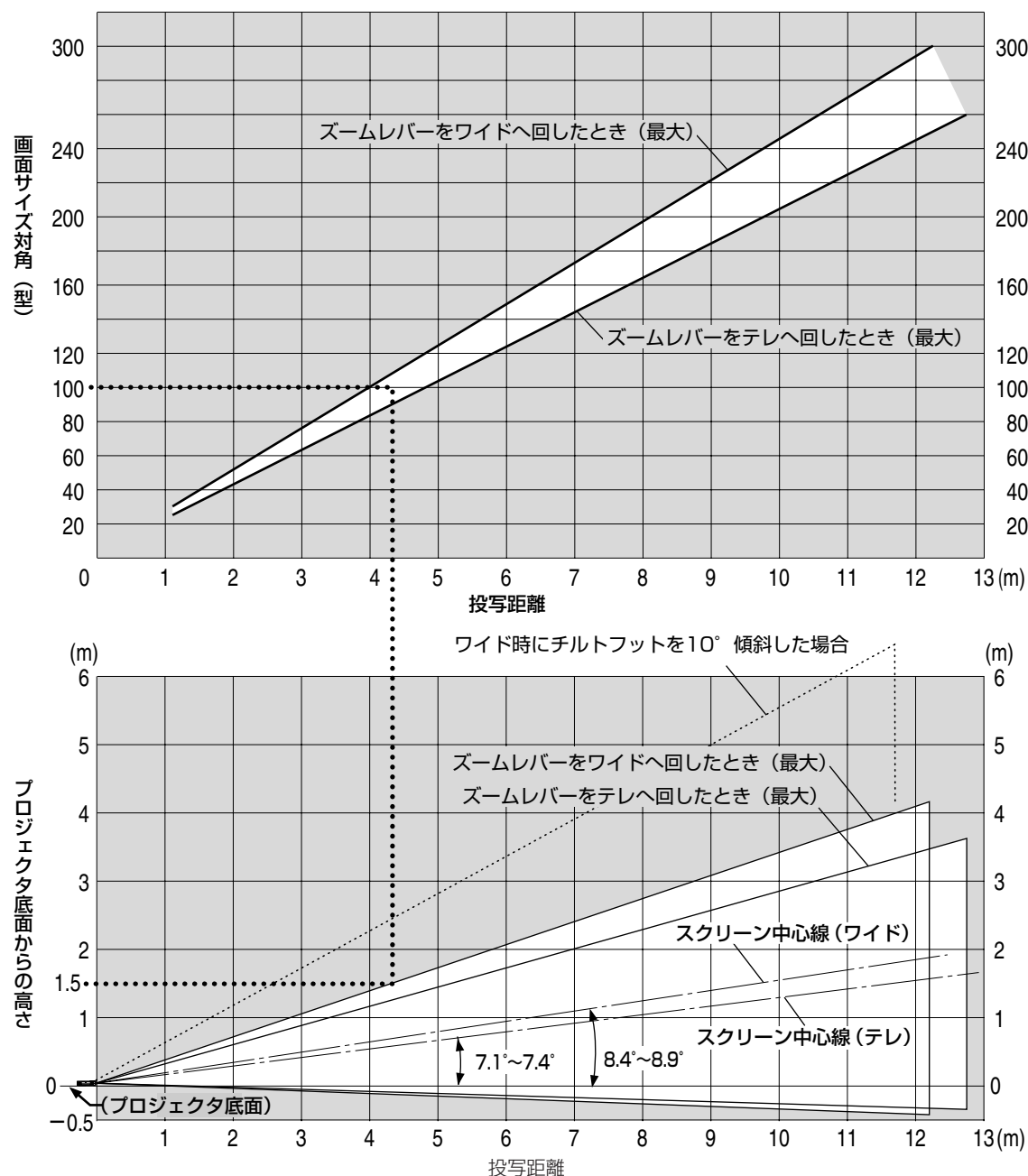
ビューワを使う

お知らせとお願い

投写距離と画面サイズ一覧

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から約1.2m～12.3mです。この範囲で設置してください。

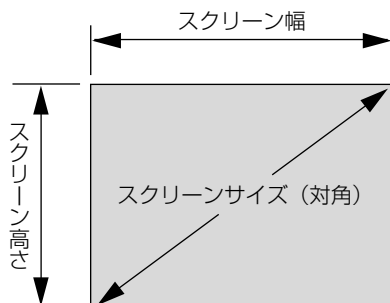


表のみかた

100型スクリーンに映すには表より、4.3m付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクタ底面からスクリーンの上端までが約1.5m必要となりますので、プロジェクタを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。（図はプロジェクタを水平に調整した時）チルトフットにより上へ最大約10° 上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表



スクリーンサイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
300	609.6	457.2
240	487.7	365.8
200	406.4	304.8
150	304.8	228.6
120	243.8	182.9
100	203.2	152.4
80	162.6	121.9
60	121.9	91.4
40	81.3	61.0
25	50.8	38.1

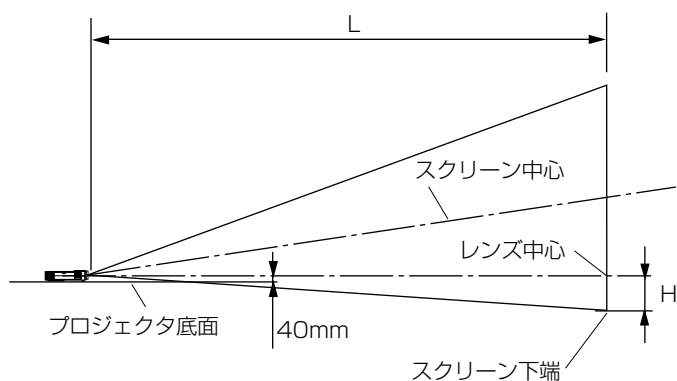
■デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用する例です。

水平投射位置……レンズを中心に左右均等

垂直投射位置……（下表参照）

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	テレ・ワイド時同じ
25	—	1.17	3.9
40	1.58	1.91	6.2
60	2.40	2.89	9.3
80	3.22	3.88	12.4
100	4.04	4.86	15.5
120	4.86	5.85	18.7
150	6.09	7.33	23.3
200	8.15	9.79	31.1
240	9.79	11.76	37.3
300	12.26	—	46.6



H はレンズ中心からスクリーン下端までの寸法です。



設計値のため、±5%の誤差があります。



対応解像度一覧

機 種	解像度	走査周波数		対応状況
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
ビデオ (NTSC)	—	15.734	60.0	◎
ビデオ (PAL/SECAM)	—	15.625	50.0	◎
PC-9800シリーズ	640 × 400	24.8	56.4	◎
	640 × 400	31.5	70.1	◎
	640 × 480	31.5	60.0	◎
	640 × 480	37.5	75.0	◎
	800 × 600	37.9	60.3	◎
	800 × 600	46.9	75.0	◎
	1120 × 750	50.0	60.0	○
	1024 × 768	56.5	70.1	◎
	1024 × 768	60.0	75.0	◎
	1280 × 1024	64.6	59.9	○
PC-98NXシリーズ IBM PC/AT対応機 DOS/V対応機	640 × 350	31.5	70.1	◎
	640 × 350	37.9	85.1	◎
	640 × 400	31.5	70.1	◎
	640 × 400	37.9	85.1	◎
	720 × 350	31.5	70.0	◎
	720 × 400	37.9	85.0	◎
	720 × 400	31.5	70.0	◎
	640 × 480	31.5	60.0	◎
	640 × 480	37.9	72.8	◎
	640 × 480	37.5	75.0	◎
	640 × 480	43.3	85.0	◎
	800 × 600	35.2	56.3	◎
	800 × 600	37.9	60.3	◎
	800 × 600	46.9	75.0	◎
	800 × 600	48.1	72.2	◎
	800 × 600	53.7	85.1	◎
	1024 × 768	48.4	60.0	◎
	1024 × 768	56.5	70.1	◎
	1024 × 768	58.1	72.0	◎
	1024 × 768	60.0	75.0	◎
	1024 × 768	68.7	85.0	◎
	1152 × 864	67.5	75.0	○
	1280 × 1024	64.0	60.0	○
	1280 × 1024	80.0	75.0	○
	1280 × 1024	91.0	85.0	○
	1600 × 1200*	75.0	60.0	○
	1600 × 1200*	81.3	65.0	○
	1600 × 1200*	87.5	70.0	○
	1600 × 1200*	93.8	75.0	○
Apple Macintosh®	640 × 480	35.0	66.7	◎
	832 × 624	49.7	74.6	◎
	1024 × 768	60.2	74.9	◎
	1152 × 870	68.7	75.1	○
	1280 × 1024	69.9	65.2	○
Apple iMac™	640 × 480	—	117.0	◎
	800 × 600	—	95.0	◎
	1024 × 768	—	75.0	◎
EWSシリーズ	1280 × 1024	75.1	71.2	○
HP	1280 × 1024	78.1	72.0	○
SUN	1152 × 900	61.8	66.0	○
	1280 × 1024	81.1	76.1	○
SGI	1024 × 768	49.7	60.4	◎
	1152 × 900	71.7	76.1	○
HDTV (720p, 750p) (1080i, 1125i)	1280 × 720	45.0	60.0	○
	1920 × 1080	33.75	60.0	○
SDTV (480p, 525p) (480i, 525i)	—	31.5	59.9	◎
	—	15.7	59.9	◎
DVD	—	31.5	59.9	◎
	—	15.7	59.9	◎

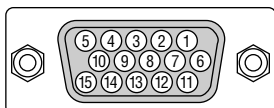
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ワークステーションとの接続に関する詳細は、当社にお問い合わせください。
- コンボジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
- アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になる場合があります。
- * U-XGAはセパレート信号のみ対応です。

◎：リアル表示
○：アドバンスド・アキュブレンド対応

RGB INPUT端子のピン配列と信号名

■ミニD-Sub 15ピン (アナログ) 入力端子

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

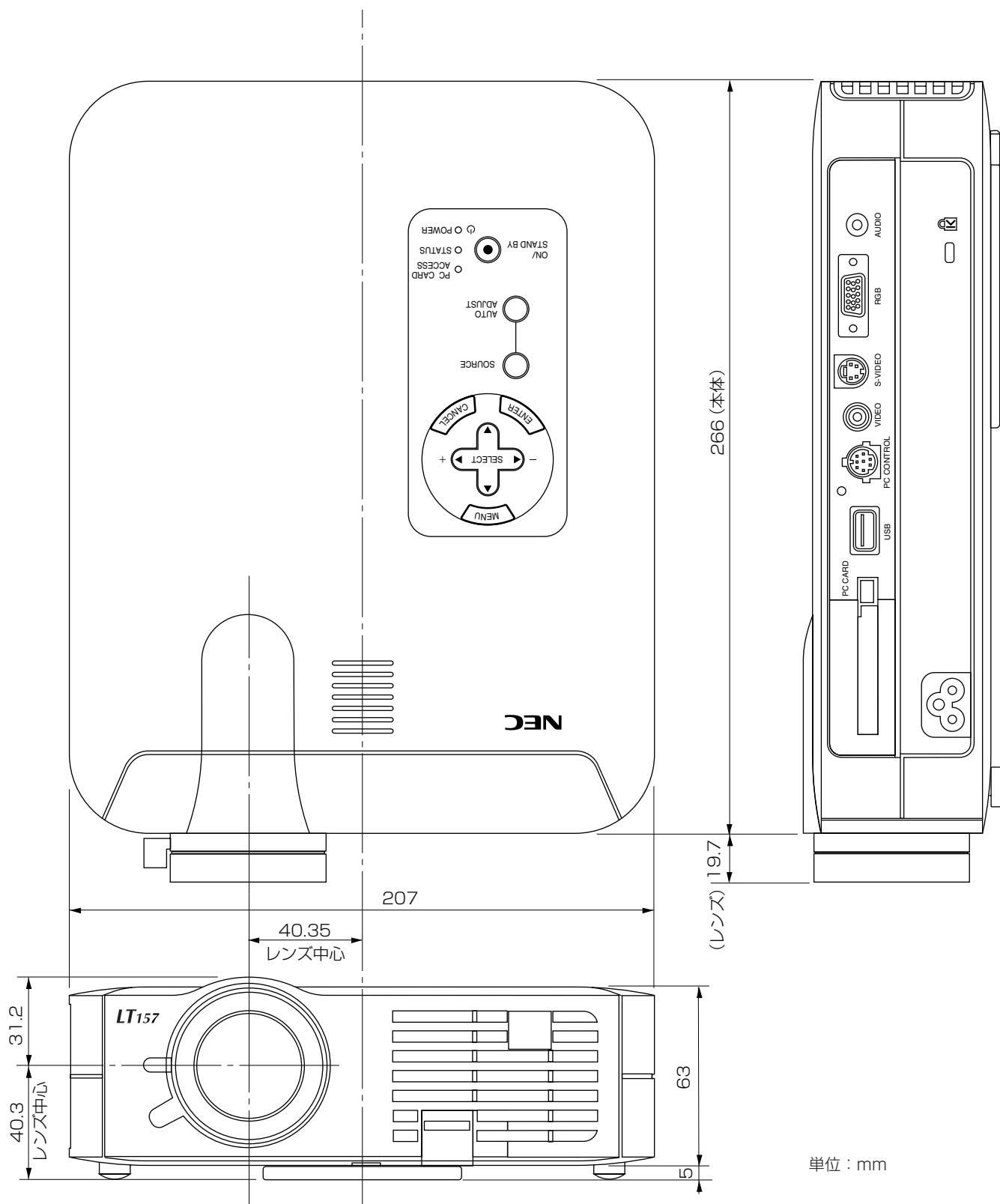
ビデオ信号：0.7Vp-p (アナログ)
同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	接 地	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

関連商品

	商 品 名	型 名
リモコン	プレゼンテーションリモコンキット	PR51KIT
ランプ	交換用ランプキット	LT57LP
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	100型ハイコントラストスクリーンボードタイプ	VL-NS100B
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	80型ハイコントラストスクリーンボードタイプ	VL-NS80B
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	60型ハイコントラストスクリーンボードタイプ	VL-NS60B
	60型/80型ハイコントラストスクリーン用スタンド	VL-NS6080ST
	40型広視野角スクリーン	VL-S40
スイッチャ	RGB信号入力切替ユニット	VL-SW401
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102
書画カメラ	高解像度モニタカメラ	MT/C 850X
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル (2m)	VL-CA02MD
	コンポーネントビデオ接続ケーブル (3m)	VL-CA03V
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1

外観図



保証と修理サービス

(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間

お買いあげ日から1年間です。
ただし、ランプは6ヶ月以内で1500時間までです。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このプロジェクタの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECフィールディング株式会社の支店・営業所をお願いいたします。
各地の支店・営業所については、別紙一覧表をご覧ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(101ページ)に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	投映型フルカラーLCDプロジェクタ
形名	LT157J
お買いあげ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べりりメモ	お買いあげ店名	☎ () -
-------	---------	---------

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクタの点検をぜひ!

熱・湿気・ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像がかけて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

はじめに

目次

接続とセッティング

基本操作

メニュー操作

ビューワを使う

お知らせとお願い

海外でご使用になる場合：トラベルケア (TravelCare) のご紹介

この商品には、NECビューテクノロジーの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国のNECビューテクノロジー指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。

本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話もしくはEメールにてご連絡いただいた後、巻末に添付されている申し込み用紙 "Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入の上、FAXにて送信してください。

各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送期間を除く、実働10日以内に修理してお届けいたします。

保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。

料金：12日間 US\$ 200 -

料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。

代替機は、実働3日以内にお届けいたします。

ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、もしくはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号 (SERIAL NO.) の製造年月より14ヶ月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

- 1) 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号 (SERIAL NO.)、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- 2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
- 4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- 5) 高温・多湿の場所、車輦、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
- 6) 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 7) 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
- 8) ランプ等の消耗品、および添付品、オプション品が故障および損傷した場合。
- 9) その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。

⚠ 注意

海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより100-120V / 200-240V で使用可能です。

使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。

詳細に関しては、ViewLight フリーダイヤル (次ページ参照) までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2001年10月1日現在のものです。

最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページもしくは当社 ViewLight CLUB ホームページ <http://www.nevt.co.jp/vlclub/> をご覧ください。

また、詳細に関しては、ViewLight フリーダイヤルまでお問い合わせください。

ViewLight フリーダイヤル 0120-610-161

(9:00～12:00 13:00～17:00、土・日・祝祭日は除く)

〔欧州〕 In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.

Telephone: +44 (0) 1952 237000

Fax Line: +44 (0) 1952 237006

Email Address: AFR@uk.necur.com

WEB Address: <http://www.necur.com>

(対応地域) <Regions Covered>

EU: Austria*, Belgium*, Denmark*, Finland*, France*, Germany*, Greece*, Ireland*, Italy*, Luxembourg*, The Netherlands*, Portugal*, Spain*, Sweden* and the United Kingdom*

EEA: Norway*, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕 In North America

NEC Technologies, Inc.

Address: 1250 Arlington Heights Road, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.

Telephone: +1 800 836 0655

Fax Line: +1 800 356 2415

Email Address: tech-support@necotech.com

WEB Address: <http://www.necotech.com>

(対応地域) <Regions Covered>

U.S.A.*, Canada*

〔大洋州〕 In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.

Address: 58 Deeds Road, North Plympton SA 5037, Australia

Telephone: +61 13 16 32 (オーストラリア国内からかける場合)

+61 3 9262 1111 (オーストラリア国外からかける場合)

Email Address: lee.gramola@nec.com.au

WEB Address: <http://www.nec.com.au>

(対応地域) <Regions Covered>

Australia*, New Zealand

〔アジア・中近東〕 In Asia and Middle East

NEC Hong Kong Ltd.

Address: 11th Floor, Tower B, New Mandarin Plaza, 14 Science Museum Road, Tsim Sha Tsui East, Kowloon, Hong Kong

Telephone: +852 2369 0335

Fax Line: +852 2724 5733

Email Address: BHO@nechk.nec.com.hk

WEB Address: <http://www.nec.com.hk>

(対応地域) <Regions Covered>

Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.

Address: 8F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 2515 0000
Email Address: weblord@nec.com.tw
WEB Address: <http://www.nec.com.tw>

(対応地域) <Regions Covered>

Taiwan

NEC Singapore Pte. Ltd

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre, Singapore 149598
Telephone: +65 273 8333
Fax Line: +65 274 2226
Email Address: daniel@rsc.necsin.nec.com.sg
WEB Address: <http://www.nec.com.sg>

(対応地域) <Regions Covered>

Singapore

Hyosung Data System, Ltd.

Address: 7th Floor, Cheongdam Building, 52, Cheongdam-Dong, Kangnam-Ku, Seoul, Korea 135-100
Telephone: +82 2 510 0234
Fax Line: +82 2 540 3590
Email Address: hds-ykc@hyosung.com

(対応地域) <Regions Covered>

South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark, Bangkok, Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: <http://www.lenso.com>

(対応地域) <Regions Covered>

Thailand

ABBA Electronics L.L.C.

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates
Telephone: +971 4 371800
Fax Line: +971 4 364283
Email Address: ABBA@emirates.net.ae

(対応地域) <Regions Covered>

United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: valtkes@samir-photo.com

(対応地域) <Regions Covered>

Saudi Arabia

注* : 代替機貸出サービスが受けられます。

Date: / / ,

P-1 / ,

TO: NEC Viewtechnology's Authorized Service Station:

FM:

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.

Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address: Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address: Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address: Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for \$200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Viewtechnology's Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Viewtechnology's Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for U\$200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Viewtechnology's Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Viewtechnology's neglect, or fault including the following without limitation:

- 1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
- 2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
- 3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Viewtechnology or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
- 4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
- 5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Viewtechnology to adjust, modify, repair, install or service the product.
- 6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this "loan" replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is \$200.00 USD for 12 calendar days.

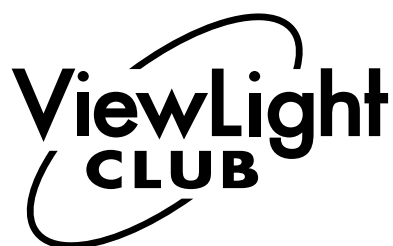
If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Viewtechnology's Authorized Service Stations.

Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the 'loan' unit.

If you return to their country of origin with the 'loan' unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

ビューライトクラブ



インターネット上に **ViewLight CLUB** のホームページを設けています。

<http://www.nevt.co.jp/vlclub/>

お問い合わせは **ViewLight**フリーダイヤル **0120-610-161**
9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝祭日は除く)

NEC

NECビューテクノロジー株式会社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル

営業本部 国内営業部

☎ (03) 5232-6148 (ダイヤルイン)